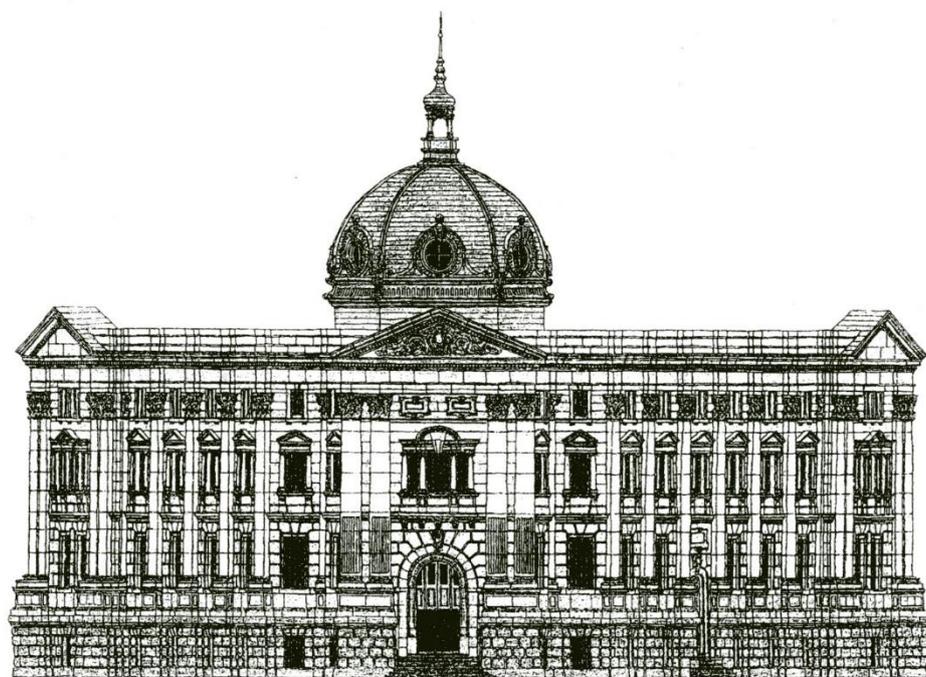


# 神奈川県立歴史博物館年報

令和元年度



神奈川県立歴史博物館

## はじめに

平成31年4月、当館は空調設備等改修工事を経て再開館し2年目を迎えました。そして翌5月には、新元号「令和」へと時代が移り変わりました。

この新時代の幕開けにふさわしく、特別展では横浜開港160年を記念した「横浜浮世絵」展からスタートし、開港当初の横浜の町や外国人の姿などを描いた横浜浮世絵の全貌を紹介しました。続いて「北からの開国」展では、ペリー来航よりも前に開国通商を求めたロシアとの関係や海防態勢の様相を紹介し、開国史の新たな視点を提供しました。年度後半の「真教と時衆」展では、真教上人没後700年の遠忌にあたり、全国各地に継承された真教と時衆美術の優品を紹介し、「井伊直弼と横浜」展では、当館にほど近い掃部山公園に銅像が建立された井伊直弼と開港の町横浜とのつながりを考える展示としました。

4回の特別展のほか、特別陳列「古文書が語る富士山宝永噴火」では、300年以上前の富士山大噴火による地域の深刻な被災状況と復興過程を古文書や絵図により紹介し、過去の大災害を振り返るとともに、コレクション展では、近年修繕が完了した、小田原北条氏に仕えた戦国武士桜井氏の「桜井家文書」を全点公開しました。

常設展では、当館の基本テーマである「かながわの文化と歴史」を軸に当館所蔵の資料を中心に展示を行い、新収蔵資料の古文書「豊臣秀吉朱印状」も初展示しました。

また、各学芸員は、それぞれの専門分野の調査研究活動を着実に進め、その成果を展示に反映させるとともに「神奈川県立博物館研究報告—人文科学—」をはじめ、様々な媒体により発表しました。

学習支援活動では、特別展にあわせた講演会など各種講座や参加体験型行事を開催するとともに、学校からの展示見学学習の受入れや、学芸員が学校に出向いて講義する「出張講座」も引き続き実施しました。ミュージアムライブラリーでは、図書の整備やレファレンス等を通じて情報提供を行い、県民の皆様の生涯学習支援に努めました。

また、当館運営に不可欠となっているボランティアの方々には、多大なご協力をいただき、展示解説や行事補助活動に熱心に取り組んでいただきました。

当該年度は、台風19号の影響により10月中旬に2日間の臨時休館、さらに新型コロナウイルスの影響により2月下旬から各種催し物の中止、3月4日から臨時休館となりました。特に、2月上旬にスタートした「井伊直弼と横浜」展や数多くの関連行事などを中止せざるを得ない状況に至りました。来館を楽しみにされていた皆様、関係者の方々には心苦しい限りです。そこで、臨時休館中には、自宅で楽しんでいただけるようホームページに特設ブログ「Webで直弼展」を開設し、展示資料や献茶の様子を紹介するなど、WEBで展開する新たな取組を進めました。

今後もより一層、皆様の期待に応えられるよう、また、当館を訪れる多くの方々に魅了できるように、館の職員一同、尽力してまいります。

神奈川県立歴史博物館

## 目次

### はじめに

#### 目次

#### 1 沿革・理念

- (1) 沿革…………… 3
- (2) 神奈川県立歴史博物館の理念…………… 4
- (3) 神奈川県立歴史博物館の使命と運営方針…………… 5

#### 2 管理運営

- (1) 組織…………… 6
  - ア 組織及び分掌
  - イ 職員名簿
- (2) 歳入・歳出…………… 7
  - ア 歳入
  - イ 歳出
- (3) 入館者状況…………… 7
  - ア 入館者数
  - イ 有料入館者内訳
  - ウ 無料入館者内訳
  - エ 特別展の入館者状況
- (4) 広報・広聴…………… 9
  - ア 広報実績
  - イ ホームページアクセス件数
  - ウ Twitter ツイート数・フォロワー数
- (5) 事業評価…………… 9
  - ア 各目標値及び評価指標の達成状況
  - イ 総括
- (6) 施設概要……………10
  - ア 概要
  - イ 館内施設
  - ウ 館外施設
  - エ 外部協力
  - オ 平面図

#### 3 調査・研究

- (1) 館独自の研究事業費によるもの…… 15
  - ア 総合研究
  - イ 個別研究
  - ウ グループ研究
  - エ 調査研究成果報告会
- (2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの…………… 15
- (3) その他外部研究資金によるもの…… 18
- (4) 個人研究活動…………… 20
  - ア 研究報告書
  - イ 個人研究活動

#### 4 資料収集・修理・保管・利用

- (1) 考古資料…………… 31
- (2) 歴史資料…………… 31
- (3) 美術資料…………… 35
- (4) 民俗資料…………… 39
- (5) 写真資料…………… 40
- (6) 資料の燻蒸等…………… 40
- (7) その他の資料…………… 40
  - ア 図書
  - イ 写真
  - ウ 情報システム

#### 5 展示・教育普及・学習支援

- (1) 常設展…………… 44
  - (2) 特別展…………… 45
  - (3) コレクション展…………… 62
  - (4) その他の展示…………… 63
  - (5) 教育普及・学習支援事業…………… 72
    - ア 講座
    - イ 特別展等関連行事
    - ウ 学芸員による展示解説
    - エ ミュージアムトーク「今月の逸品」
    - オ その他の行事
    - カ 子ども・青少年向け教育普及事業
    - キ 学校連携事業の状況
  - (6) ミュージアムライブラリー…………… 89
  - (7) 普及印刷物…………… 89
    - ア 図録
    - イ 広報印刷物
    - ウ 神奈川県立歴史博物館だより
  - (8) ボランティアの活動…………… 90
    - ア 活動状況及び実績
    - イ 博物館入門講座
    - ウ 専門研修
    - エ その他の研修
  - (9) 博物館実習生の受け入れ…………… 92
    - ア 見学実習
    - イ 実務実習
- #### 6 資料
- (1) 条例・規則…………… 94
    - ア 神奈川県立の博物館条例
    - イ 神奈川県立の博物館組織規則
    - ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則
  - (2) 利用案内…………… 98

## 1 沿革・理念

### (1) 沿革

- 昭和38年6月 神奈川県教育庁に博物館準備事務室を設置
- 昭和41年11月 神奈川県立博物館条例の制定により、神奈川県立博物館を設置  
神奈川県立博物館組織規則の制定により、庶務部、学芸部の2部を置く
- 昭和42年3月 神奈川県立博物館開館(20日)
- 4月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により神奈川県博物館協議会を設置  
(委員20名)
- 6月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部に庶務課、経理課の2課を置く
- 昭和43年4月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部に学芸課、人文課、自然課の3課を置く
- 昭和44年3月 旧館である旧横浜正金銀行本店が国の重要文化財に指定される
- 7月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部を管理部に、庶務課を管理課に名称変更
- 昭和47年8月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課の名称を廃し、企画調整課、学芸第一課、学芸第二課及び学芸第三課の4課を置く
- 昭和49年8月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部に施設保全課を置く
- 昭和52年5月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課を廃止
- 昭和53年9月 文部省学術研究機関の指定を受ける
- 昭和55年2月 入館者数100万人達成
- 昭和62年4月 第2次新神奈川計画の重点政策「文化施設21世紀構想」の一環として、博物館再編整備事業策定
- 昭和63年12月 神奈川県立博物館整備構想懇談会が「神奈川県立博物館整備構想に関する提言—自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方—」を提出
- 平成2年3月 人文系博物館の整備計画・展示計画策定
- 平成3年3月 博物館総合情報システム整備計画、資料収集計画を策定
- 平成4年3月 展示基本設計
- 平成5年3月 改修工事基本・実施設計、展示工事実施設計
- 4月 県立博物館休館(~7年3月)
- 10月 改修工事及び展示工事開始
- 平成6年11月 改修工事終了
- 平成7年1月 神奈川県立博物館条例改正に伴い「神奈川県立博物館」は「神奈川県立歴史博物館」と名称変更、神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、企画情報部に企画普及課及び情報資料課の1部2課を置き、管理部の施設保全課を廃止
- 3月 展示工事終了、博物館情報システムの一部稼働開始  
神奈川県立歴史博物館開館(18日)
- 6月 国の史跡に指定される
- 平成9年7月 博物館ボランティアが活動を開始
- 平成11年2月 金銅装笈・椿彫木朱漆笈・清拙正澄墨跡・石室善攻墨跡・源頼朝袖判下文・源頼家袖判下文が県の重要文化財に指定される  
神奈川の職人の道具(17職種1,982点)が県の有形民俗文化財に指定される
- 4月 重要文化財の公開承認施設として文化庁から承認される

- 平成 13 年 1 月 三浦市間口洞窟遺跡出土品(450 点)が県の重要文化財に指定される
- 3 月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県博物館協議会を廃止
- 平成 18 年 4 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部管理課と経理課を統合し管理課に改め、企画情報部企画普及課、情報資料課及び学芸部の 2 部 3 課となる
- 平成 19 年 11 月 旧館である旧横浜正金銀行本店が、経済産業省により近代化産業遺産(横浜港周辺の関連建築物群)に認定される
- 平成 21 年 8 月 入館者数 200 万人達成
- 平成 28 年 6 月 空調設備等改修工事のため休館(～平成 30 年 4 月)
- 9 月 事務室を(宇徳ビル 6 階に)移転
- 10 月 空調設備等改修工事開始
- 平成 29 年 12 月 空調設備等改修工事終了
- 平成 30 年 4 月 空調設備等改修工事終了に伴い、博物館業務を再開

## (2) 神奈川県立歴史博物館の理念

神奈川県立歴史博物館の前身は昭和 42 年開館の神奈川県立博物館である。昭和 62 年から自然系と人文系が分離分館する再編整備の検討が行なわれ、平成 7 年のリニューアル開館に至るまで、3 回にわたって博物館活動の理念やテーマが検討・提案された。

### ア 検討・提案の経緯

- (ア) 昭和 63 年 12 月、神奈川県立博物館整備構想懇談会から提出された「神奈川県立博物館整備構想に関する提言－自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方－」(以下「提言」という。)
- (イ) 平成 2 年 3 月に策定された「神奈川県立人文系博物館(仮称)整備計画」(以下「整備計画」という。)
- (ウ) 平成 7 年 3 月の再編整備時に作られた「神奈川県立歴史博物館概要説明」(以下「概要」という。)

### イ 活動理念・テーマ

- (ア) 「提言」における活動理念・テーマ
  - a 人文系博物館の「意義」(「提言」を要約、抜粋)
    - (a) 文化の視点からの未来の探求
    - (b) 考古、歴史、美術、民俗等を統合化した新しい文化史の創造
    - (c) 歴史的、文化的特色による神奈川のアイデンティティーの探求
    - (d) 振幅の大きな神奈川の歴史にみる人々の生き方の探求
    - (e) 神奈川の文化と内外の文化との交流や相互関係の探求
    - (f) 文化史的意義のある資料の集積と後世への継承
  - b 「基本テーマ」等の設定
    - (a) 基本テーマ：「文化の交流と変容」  
上記の意義を踏まえ、また、神奈川の文化と歴史を専門的かつ学際的な観点から総合的にとらえる唯一の博物館として活動していくため、基本テーマが設定された。
    - (b) サブテーマ：「神奈川の文化と歴史を考える」「日本・世界の神奈川を考える」  
空間的、時間的な広がりのある視点や、先人から受け継がれた地域の固有性をとらえる視点に立って 2 つのサブテーマが設定された。
    - (c) 展開の視点

これらの基本テーマ、サブテーマを、展示をはじめとした様々な博物館活動に反映させるため、次のような展開の視点が設けられた。

- [継承] 各時代の文化と時代を超えて継承される文化を歴史の流れの中でとらえる
- [交流] 他の国や他の地域との文化交流を空間的、時間的の広がりの中でとらえる
- [変容] 文化の変容をダイナミックにとらえる
- [風土] 文化の特色を地域風土を通してとらえる

(イ) 「整備計画」における活動理念・テーマ

上記「提言」を受け、平成2年に「整備計画」が策定され、再編整備の具体的な内容がまとめられたが、「提言」における博物館の意義、性格、基本テーマなどは、歴史博物館のあるべき姿を示す目標・指針として継承されることとなった。

(ウ) 「概要」における活動理念・テーマ

平成7年のリニューアル開館に際して作成された「概要」では、当館を「かながわの文化と歴史」を総合的に扱う博物館と位置付けて博物館活動の基本テーマとし、展示テーマを「文化の交流と変容」とすることが示された。

(3) 神奈川県立歴史博物館の使命と運営方針

当館が令和元年度に作成した「神奈川県立歴史博物館評価書（社会教育施設個別評価）」では、当館の使命と運営方針を次のように定めている（事業評価の概要については9ページを参照）。

ア 神奈川県立歴史博物館の使命

神奈川県立歴史博物館は、「かながわの歴史と文化」を通史的・総合的に扱う唯一の博物館として、県民や利用者が「かながわ」への理解を深め、「かながわ」に魅力を感じ、「かながわ」の新たな価値を見出すことができる博物館活動を展開します。

イ 神奈川県立歴史博物館の運営方針

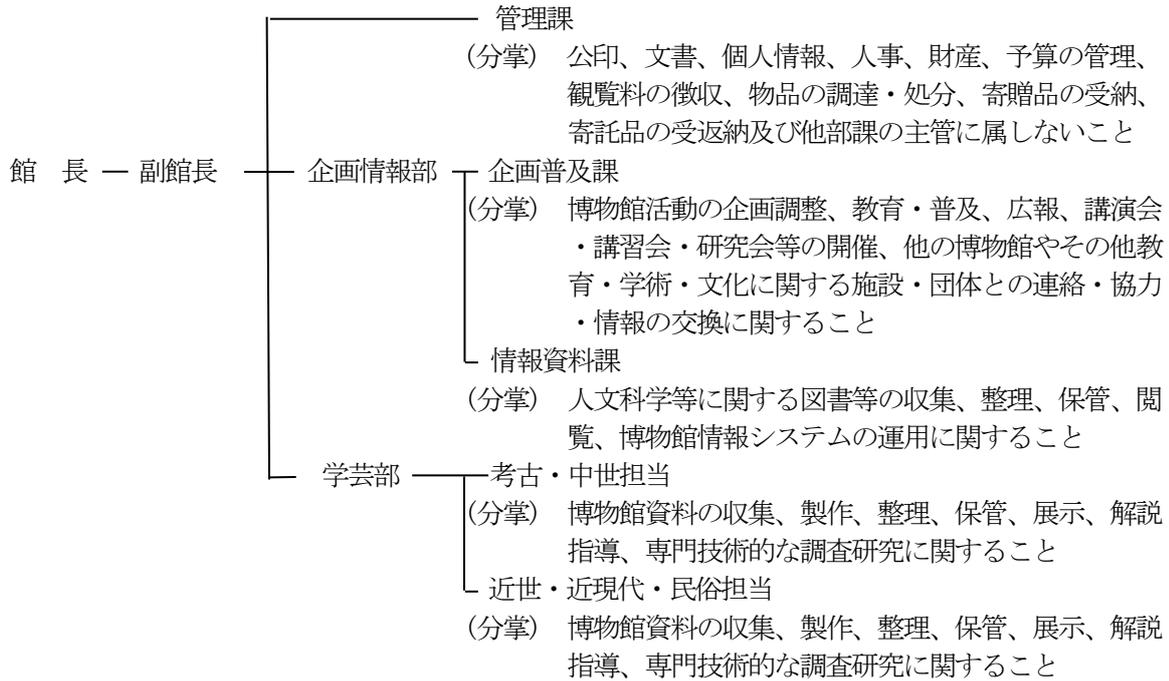
かながわの歴史や文化に関する様々な貴重な資料を適切に保存・活用し、未来につなぐとともに、専門性を発揮した調査研究活動を着実に進め、特色を生かした魅力ある展示や講座等を展開し、地域や関係機関等とも連携しながら、人生100歳時代において生涯にわたる県民の学びを支援します。

2 管理運営

(1) 組織

(令和元年6月1日現在)

ア 組織及び分掌



イ 職員名簿

館長(技術)	薄井 和男	非常勤司書	鈴木 隆雄
副館長(兼務)(～5月)	高梨 信行	非常勤写真職	井上 久美子
副館長(6月～)	天野 勇	非常勤資料整理員	檜皮 千穂
管理課長	岡崎 郁夫	非常勤資料整理員	加茂 たがね
管理課 副主幹	阿部 雅明	非常勤事務補助員	三瓶 裕子
主査	上松 純子	非常勤事務補助員	神津 由紀子
主事	肥田野 希	非常勤事務補助員	泉山 花江
主任専門員	竹内 廣一	学芸部長	望月 一樹
非常勤事務補助員	瀬戸 昇	専門員	新井 実
非常勤事務補助員	西村 純子	非常勤事務補助員	杉山 誠
非常勤事務補助員	沼田 とも子	非常勤資料整理員	吉澤 智恵子
非常勤自動車運転員	大塚 清志	非常勤資料整理員	中村 菜貴
企画情報部長(～5月)	天野 勇	(考古・中世担当)	
企画情報部長(6月～)	小森 晴美	主任学芸員	小井川 理
企画普及課長(兼務)(～5月)	天野 勇	学芸員	千葉 毅
企画普及課長(6月～)	丹治 雄一	学芸員	神野 祐太
企画普及課 主査	大島 理加	学芸員	橋本 遼太
主事	田村 佳大	学芸員	渡邊 浩貴
主任学芸員(兼務)(～5月)	丹治 雄一	学芸員	梯 弘人
学芸員(兼務)(～5月)	神野 祐太	(近世・近現代・民俗担当)	
学芸員(兼務)(6月～)	橋本 遼太	主任学芸員	嶋村 元宏
非常勤教育普及員	中澤 洋	主任学芸員	桑山 童奈
非常勤事務補助員	野島 愛子	主任学芸員	丹治 雄一
非常勤事務補助員	堀越 裕子	主任学芸員	角田 拓朗
非常勤学芸員	濱本 明海	学芸員	新井 裕美
非常勤学芸員	豊田 倫子	学芸員	武田 周一郎
非常勤学芸員	市野 悦子	専門員(学芸員)	古宮 雅明
情報資料課長	宇賀田 信	非常勤学芸員	小松 百華
情報資料課 副主幹(～5月)	伊藤 友久	非常勤学芸員	根本 佐智子
主査(6月～)	小川 和哉	非常勤学芸員	三浦 麻緒
主任専門員	森 由紀		
専門員	黒田 博明		

## (2) 歳入・歳出

## ア 歳入

(単位：千円)

科 目	金 額	内 訳
教育使用料	13,117	観覧料収入、目的外使用許可使用料
財産収入	309	ぐるっとパス清算金
教育事業収入	3,577	図録販売収入
立替収入	327	ミュージアム・ショップ、喫茶等の光熱水費
雑入	4,527	複写代、芸術文化助成
教育受講料収入	245	県立社会教育施設公開講座受講料
合 計	22,102	

## イ 歳出(人件費含まず)

(単位：千円)

事 業 名	金 額	内 訳
維持運営費	82,343	維持管理・事業運営
博物館事業費	29,318	展示事業、調査研究、資料整備、学習支援等
情報システム整備費	49,878	システム運用、データ入力等
県立社会教育施設公開講座事業費	186	講座の開催
教育施設維持修繕費	1,163	施設・設備の修繕
合 計	162,888	

## (3) 入館者状況

## ア 入館者数

(単位：名)

月	展示室入館者			フリーゾーン 利用者	合 計
	有料入館者	無料入館者	小 計		
4	2,701	1,681	4,382	3,176	7,558
5	7,274	7,079	14,353	3,893	18,246
6	6,535	3,323	9,858	2,952	12,810
7	3,259	1,272	4,531	2,830	7,361
8	5,585	2,342	7,927	2,442	10,369
9	1,957	926	2,883	3,511	6,394
10	3,167	3,830	6,997	3,248	10,245
11	2,871	12,180	15,051	3,885	18,936
12	2,648	1,876	4,524	3,741	8,265
1	2,506	1,646	4,152	2,780	6,932
2	2,695	1,079	3,774	2,176	5,950
3	136	56	192	73	265
合計	41,334	37,290	78,624	34,707	113,331

イ 有料入館者内訳

(単位：名)

月	個人				団体(団体扱い含む)				合計
	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	
4	1,092	106	215	651	493	23	0	121	2,701
5	2,028	383	223	2,128	1,332	106	0	1,074	7,274
6	1,966	245	50	2,040	1,162	97	0	975	6,535
7	1,211	123	108	871	578	62	0	306	3,259
8	2,106	247	487	1,008	1,126	106	0	505	5,585
9	1,013	118	36	610	156	4	0	20	1,957
10	939	127	155	1,003	542	37	0	364	3,167
11	952	182	203	986	315	56	0	177	2,871
12	1,260	205	19	1,008	153	3	0	0	2,648
1	1,080	171	17	1,060	176	2	0	0	2,506
2	971	96	28	819	486	27	0	268	2,695
3	33	8	3	46	21	5	0	20	136
合計	14,651	2,011	1,544	12,230	6,540	528	0	3,830	41,334

ウ 無料入館者内訳

(単位：名)

月	条例別表備考欄指定の無料入館者				減免による無料入館者							合計
	未就学 幼児	小学生	中学生	特別 支援 学校	高校生	生徒 引率 者	優待 券	招待券	障が い者	ぐるっ とパス 入場券	その 他	
4	16	324	352	0	552	12	7	186	93	81	58	1,681
5	22	149	974	0	342	17	13	4,829	276	321	136	7,079
6	17	50	955	0	62	16	28	1,646	202	250	97	3,323
7	15	300	182	0	43	23	15	333	109	161	91	1,272
8	44	285	440	0	3	5	19	1,057	136	188	165	2,342
9	29	178	230	17	8	12	3	152	75	173	49	926
10	11	361	58	0	0	28	13	2,899	115	150	195	3,830
11	10	2,126	627	0	247	48	10	8,673	132	195	112	12,180
12	40	349	148	26	51	23	4	876	114	195	50	1,876
1	13	375	758	0	67	29	9	95	102	160	38	1,646
2	13	76	222	13	33	21	26	317	140	128	90	1,079
3	0	3	0	0	0	0	0	28	11	7	7	56
合計	230	4,576	4,946	56	1,408	234	147	21,091	1,505	2,009	1,088	37,290

エ 特別展の入館者状況(前掲表内数)

(単位：名)

特別展名	有料鑑賞者	無料鑑賞者	合計
横浜浮世絵	8,455	7,652	16,107
北からの開国	3,831	3,019	6,850
真教と時衆	2,138	7,740	9,878
井伊直弼と横浜	1,292	795	2,087
合計	15,716	19,206	34,922

(4) 広報・広聴

ア 広報実績

令和元年度の広報実績は次のとおり(館のPR、特別展・テーマ展、催しもの等)。

(単位：件)

媒体別	紙媒体				電波媒体		インターネット	計
	新聞	雑誌	単行書	その他	テレビ	ラジオ		
件数	139	42	1	53	20	9	178	442

イ ホームページアクセス件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
HP	100,240	123,008	114,540	104,793	125,857	93,079	117,728	108,157	103,571	110,981	109,771	92,451	1,304,176

参考(内数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
デジタルミュージアム	1,242	1,446	2,187	1,173	1,235	977	1,052	1,026	1,094	1,123	1,200	864	14,619

ウ Twitter ツイート数・フォロワー数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
Twitter ツイート数	32	33	30	25	29	26	26	33	23	24	28	35	344
Twitter フォロワー数	8,892	8,919	8,957	8,993	9,037	9,029	9,071	9,098	9,130	9,151	9,166	9,179	—

(5) 事業評価

平成30年度から県立社会教育施設(県立図書館、川崎図書館、金沢文庫、近代美術館、生命の星・地球博物館、当館)において、事業評価を実施することとし、全館共通の評価項目による「社会教育施設評価書(目標設定・実施結果)」(以下、全館共通評価)を作成している。

また、令和元年度からは、全館共通評価に加えて、「神奈川県立歴史博物館評価書(社会教育施設個別評価)」(個別評価)を作成し、当館が独自に設定した評価指標による事業評価をあわせて実施している。令和元年度に実施した事業評価の概要は次のとおりである。

ア 各目標値および評価指標の達成状況

	達成 (目標値 ≥ 100%)	ほぼ達成 (目標値 ≥ 80%)	未達 (目標値 < 80%)	—
全館共通項目	6	2	0	4
個別評価項目 (定量評価)	7	1	0	8

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う臨時休館等が達成値へ大きな影響を与えた項目については「達成度」を記載せず「—」とした。

	達成 (チェックリストクリア数 80%以上)	ほぼ達成 (同クリア数 50%以上80% 未満)	未達 (同クリア数 50%未満)
個別評価項目 (定性評価)	14	0	0

イ 総括

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年3月4日より臨時休館を行い、年間の入館者実績は目標値及び前年度実績を下回る結果となった。しかしながら、1月までの入館者実績で比較すると、総入館者数、常設展有料入館者数とも前年度実績を上回っており、特別展等の展示事業に加えて、常設展の積極的な展示替えと特定の小テーマによる「トピック展示」の実施等の取組が、このような「来館者増」につながったものと考えられる。

また、特別展（横浜浮世絵展・北からの開国展・真教と時衆展・井伊直弼と横浜展）・コレクション展（桜井家文書展）・特別陳列（富士山宝永噴火展）は、当館所蔵資料の魅力を広く発信するもの（横浜浮世絵展・桜井家文書展）、長年の継続的な調査研究の成果によるもの（真教と時衆展・富士山宝永噴火展）、従来との異なる視点でのテーマ設定によるもの（北からの開国展・井伊直弼と横浜展）で構成され、従前と同様、当館学芸員の独自企画で、来館者が満足感を得られる質の高い展示を行うことができた。新型コロナウイルス感染症による臨時休館の影響は、特別展の会期中途中での中止、関連行事や無料観覧日等の各種催し物の中止、観覧料及び事業等収入の減少など、事業全般に及んだ。年度末時点でも臨時休館が継続しているため、今後は感染状況を注視しつつ、事業再開を見据えた準備を着実に進めていく必要がある。

(6) 施設概要

ア 概要

(ア) 施設の規模

敷地面積	4,160.82 m <sup>2</sup>
構造	石・煉瓦造り(一部鉄筋コンクリート造り)地上3階・地下1階
延床面積	10,565.47 m <sup>2</sup>
部門別面積	展示部門＝約 3,896 m <sup>2</sup> 、学習支援部門＝約 386 m <sup>2</sup> 、収蔵部門＝約 619 m <sup>2</sup> 研究部門＝約 1,306 m <sup>2</sup> 、サービス部門＝約 438 m <sup>2</sup> 、管理部門＝約 1,251 m <sup>2</sup> その他共用部分＝約 2,670 m <sup>2</sup>

(イ) 建物の特徴

旧館部分	旧横浜正金銀行本店本館(明治37年(1904)竣工、設計：妻木頼黄) ネオ・バロック様式
新館部分	神奈川県立博物館として新築(昭和42年(1967))
指定状況	国指定重要文化財(建物旧館部分・昭和44年(1969)3月12日指定) 国指定史跡(平成7年(1995)6月27日指定)

(ウ) 施設の状況

- 1 階：【展示室、学習支援関係諸室】  
特別展示室、コレクション展示室、  
ミュージアムライブラリー、ミュージアムショップ、喫茶室、情報処理室 等
- 2 階：【展示室、管理課・企画情報部関係諸室】  
総合テーマ展示室(近世・近代・現代、民俗)  
館長室、管理課、企画情報部、応接室、図書整理室、書庫 等
- 3 階：【展示室、学芸部関係諸室】  
総合テーマ展示室(古代・中世)  
学芸部、資料整理室、展示準備工作室、作業室、収蔵庫 等
- 地下1階：【講堂、バックヤード諸設備】  
講堂、写場、写真整理室、その他機械室 等

イ 館内施設

1階のフリーゾーンには来館者のために次の施設がある。

(ア) ミュージアムショップ

博物館の刊行物(展示解説書、特別展図録)をはじめ、神奈川の文化や歴史に関する書籍、所蔵資料の絵はがき、博物館見学の記念になるような品々を販売する。運営は民間の企業が行っている。

(イ) 喫茶室(喫茶ともしび)

来館者に休憩してもらえるように喫茶室がある。喫茶の他、軽食を提供し、店内には県内の福祉施設で作られた品々も販売されている。運営は「社会福祉法人 県央福祉会」が行い、知的障がい者の就業の場ともなっている。

ウ 館外施設

昭和42年の開館以来継続的に収集してきた資料により、館内の収蔵庫の狭隘化が進行してきたため、現在、神奈川県教育委員会生涯学習部文化遺産課が所管する「文化遺産課収蔵センター」(旧神奈川県立野庭高等学校校舎)の一角を「野庭資料庫」(旧体育館、面積3,100.84㎡)として占有し、民俗資料等の一部を収蔵している。

エ 外部協力

神奈川県立歴史博物館には、県内の博物館の質的向上や文化財に対する普及啓発を行う次の外部団体の事務局が設置されている。

(ア) 神奈川県文化財協会

昭和29年(1954)から活動している任意団体である。現在は会員に対しての講演会、見学会など文化財に関する知識の啓発活動を中心に活動している。協会員数205人(令和元年6月1日現在)。

事務局長	副館長	天野 勇
事務局次長	学芸部長	望月 一樹
事務局員	企画普及課長	丹治 雄一
〃	学芸員	神野 祐太
〃	学芸員	武田 周一郎
〃	主査	上松 純子
〃	主事	肥田野 希
〃	専門員	新井 実

(イ) 神奈川県博物館協会

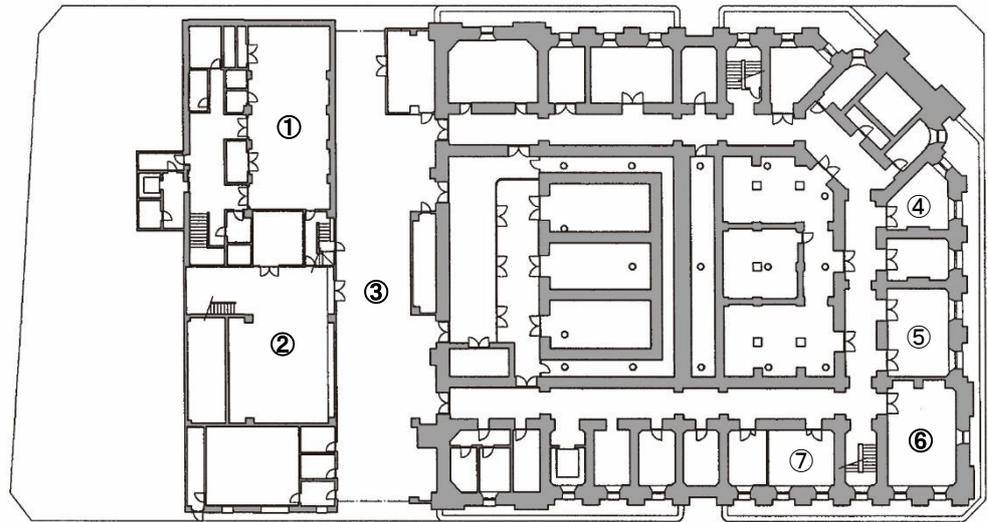
昭和30年(1955)から活動している県内博物館施設の任意団体で、博物館のPR、職員の研修、会報の発行など各種活動を行っている。加盟館園数100館(令和元年6月1日現在)。

会長	館長	薄井 和男
事務局長	副館長	天野 勇
事務局次長	学芸部長	望月 一樹
機能研究部会幹事 総合防災計画推進委員	学芸員	千葉 毅
事務局員	主任専門員	竹内 廣一
〃		杉山 誠

## オ 平面図

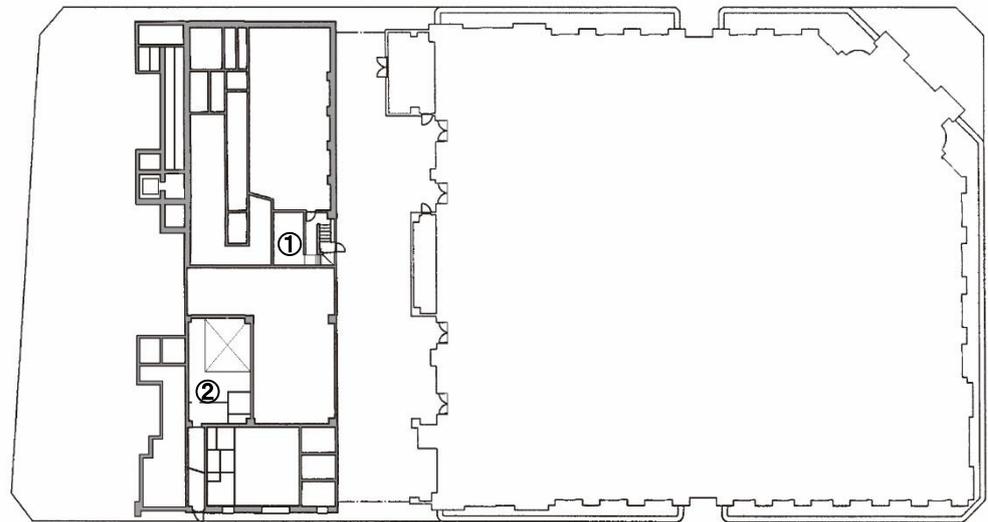
### 地階

- ①講堂
- ②空調機械室
- ③サービスヤード
- ④資料クリーニング室
- ⑤展示準備室
- ⑥写場
- ⑦写真整理室



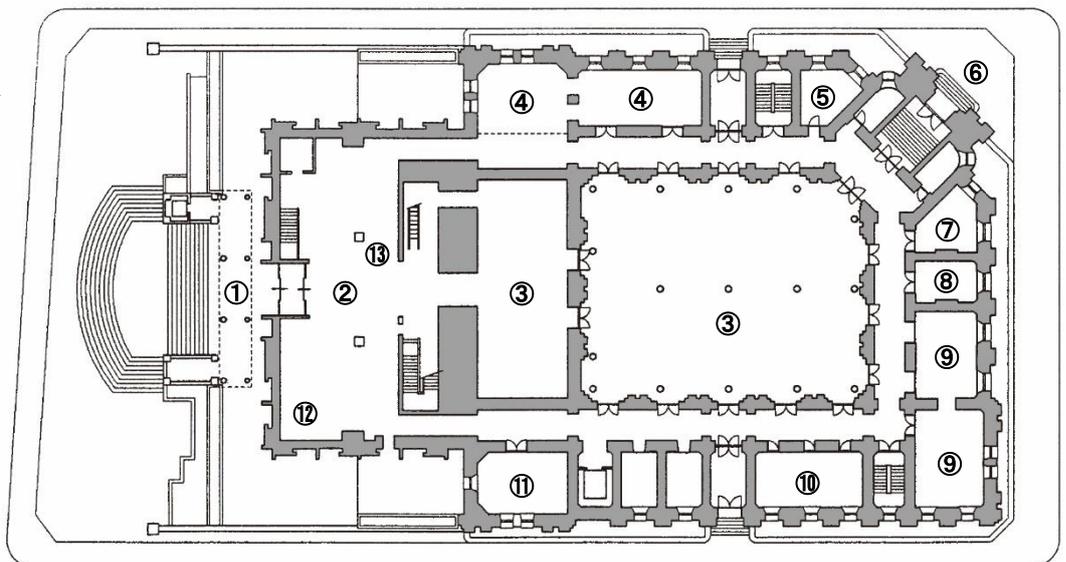
### 中1階

- ①映写室
- ②中央監視室



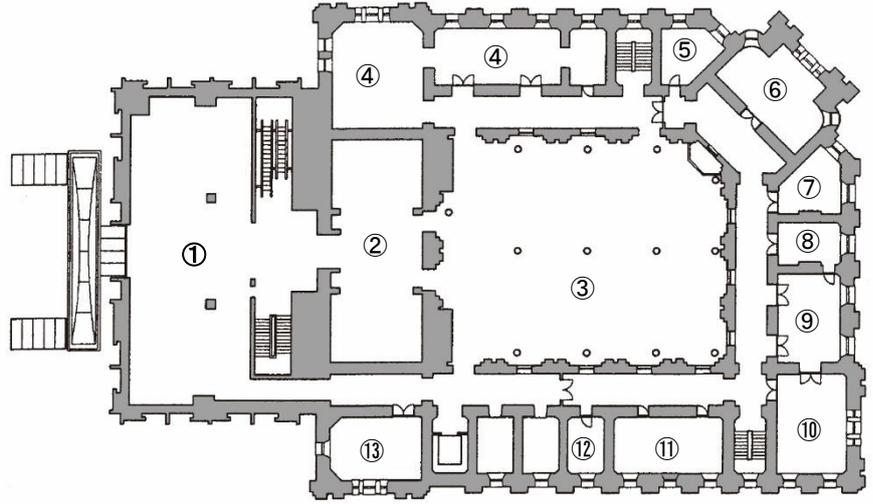
### 1階

- ①正面玄関
- ②エントランスホール
- ③特別展示室
- ④コレクション展示室
- ⑤ボランティアルーム
- ⑥馬車道玄関
- ⑦情報処理室
- ⑧書庫
- ⑨ミュージアム  
ライブラリー
- ⑩会議室
- ⑪喫茶室
- ⑫ミュージアム  
ショップ
- ⑬総合受付



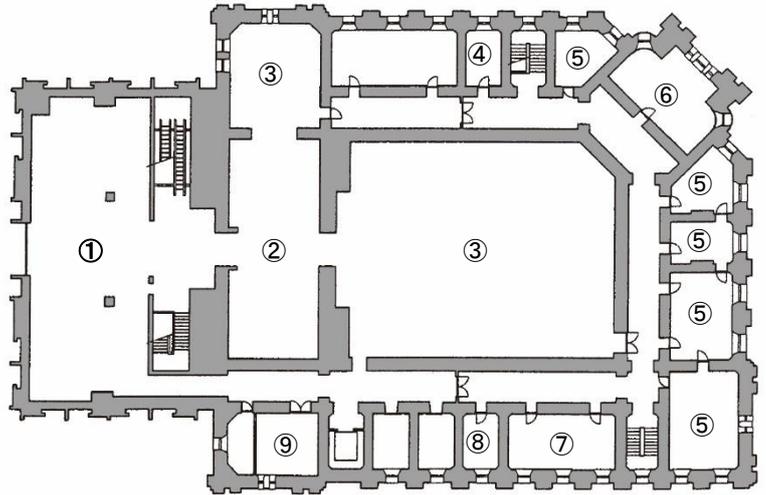
## 2階

- ①総合テーマ展示室 テーマ 3
- ②総合テーマ展示室 テーマ 4
- ③総合テーマ展示室 テーマ 4/5
- ④総合テーマ展示室 テーマ 5
- ⑤図書整理室
- ⑥書庫
- ⑦電話交換室
- ⑧館長室
- ⑨応接室
- ⑩管理課室
- ⑪企画情報部室
- ⑫第2 応接室
- ⑬空調機械室



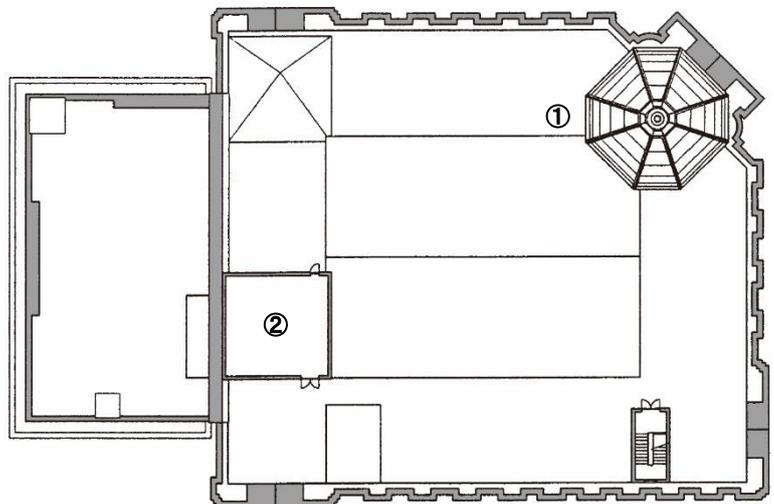
## 3階

- ①総合テーマ展示室 テーマ 1
- ②総合テーマ展示室 テーマ 1/2
- ③総合テーマ展示室 テーマ 2
- ④畳敷作業室
- ⑤資料整理室
- ⑥保存修復処置室/印刷室
- ⑦学芸部室
- ⑧共同作業室
- ⑨空調機械室



## 屋上

- ①ドーム
- ②空調機械室



### 3 調査・研究

#### (1) 館独自の研究事業費によるもの

##### ア 総合研究

研究課題：神奈川県における大正・昭和期の文化財保護・地域史研究と在野研究者の関係性をめぐる研究

研究代表者：学芸員 千葉 毅

研究分担者：学芸員 武田 周一郎、学芸員 神野 祐太、元三浦市教育委員会 須田 英一 氏

研究期間：平成30～令和2年度

概要：神奈川県における当該期の文化財保護に携わった人物のうち、赤星直忠、石野瑛について情報収集を行った。両者が調査等に関わった遺跡等の資料は、複数の機関に分散しており、その全貌も把握されていないことから、平成30年度に引き続き関連資料の所在調査を中心に進めた。また所在が明らかになったもののうち、これまで未報告だった資料の報告を行った。

##### イ 個別研究

研究課題：相模武士の本拠形成と地域構造の景観復原的研究

研究代表者：学芸員 渡邊 浩貴

研究協力者：なし

研究期間：令和元年度

概要：神奈川県内における中世武士本拠の成立過程を、文献資料だけでなく考古・民俗・美術分野の多様な資料、そしてフィールドワークを実践することにより、政治・社会・文化の多方面から分析し明らかにした。具体的には満願寺出土瓦の分析を通じて三浦氏（横須賀市）を、そして高部屋神社の中世舞楽面と民俗儀礼を分析した糟屋氏（伊勢原市）を中心に扱った。その成果の一部は、拙稿「中世舞楽面と雨乞儀礼―相模国大住郡下糟屋村の高部屋神社を事例に―（上）（下）」（『民具マンスリー』第53巻1・3号、2020年）として公表した。

##### ウ グループ研究

次のテーマでグループごとに研究を進めている。

考古：神奈川県内遺跡・遺物調査

中世：宋風文化の研究

近世・近代：横浜の木版印刷に関する基礎的研究

現代：戦後横浜における映画館活動に関する基礎的研究

民俗：民俗社会における諸行事の変化

##### エ 調査研究成果報告会

開催日時：令和2年3月10日（火）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。

#### (2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの

神奈川県立博物館であった昭和53年度から、文部省学術研究機関の指定を受け、科学研究費補助金が交付されるようになった。神奈川県立歴史博物館に機構変更後も継続して指定されている。令和元年度の採択は12件である。

##### ア 研究種目名：基盤研究(B)

課題番号：19H01677

研究課題：明治期図画手工教科書データベースの充実と活用に基づく教科横断的学習の史的研究

研究代表者：岡山大学教授 赤木 里香子 氏

研究分担者：主任学芸員 角田 拓朗

研究期間：令和元～3年度

研究実績概要：データベース作成のための、データ整理及び入力を進めた。令和2年度コレクション展で、その研究成果の一部公開を予定し、準備した。

イ 研究種目名：基盤研究(B)

課題番号：19H01313

研究課題：西還・北還東国武士の社会的権力化

研究代表者：国立歴史民俗博物館 准教授 田中 大喜 氏

研究分担者：学芸員 神野 祐太、学芸員 渡邊 浩貴

研究期間：令和元～4年度

研究実績概要：佐賀県小城市円明寺にて、千葉氏ゆかりの地藏菩薩、弥勒如来、阿弥陀如来の各像の調査及び撮影を行なった。仏像の基本的な調査は、佐賀県立佐賀城本丸歴史館の竹下正博氏と共に行い基礎データを得た。造像銘記の調査は専修大学教授湯浅治久氏らが行った。今回の調査で赤外線カメラを用いた調査を行い、ほとんどの銘記について解読が進んだ。

ウ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：17K02339

研究課題：原三溪関係資料の基礎的研究ーコレクション形成の具体相の解明ー

研究代表者：主任学芸員 小井川 理

研究分担者：学芸員 武田 周一郎、学芸員 神野 祐太、学芸員 橋本 遼太、学芸員 渡邊 浩貴、日本女子大学 教授 古川 元也 氏

研究期間：平成29～令和2年度

研究実績概要：調査対象資料の基礎データ収集、関連資料等の調査研究を行った。

エ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：18K00951

研究課題：幕末期地方藩士による江戸在勤日記の基礎的研究

研究代表者：非常勤学芸員 根本 佐智子

研究協力者：専門員 古宮 雅明

研究期間：平成30～令和3年度

研究実績概要：本研究は神奈川県立歴史博物館所蔵『松平造酒助江戸在勤日記』を翻刻し、日記の記述を研究するとともに、国元である鶴岡市にある関連資料と比較検討し、理解を深めるものである。本年度は日記の翻刻が完了し、鶴岡市郷土資料館所蔵「松平武右衛門文書」の調査及び翻刻を進めた。

オ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：18K00952

研究課題：開国期・危機的状況下における知識人の情報活動と意思決定過程に関する研究

研究代表者：主任学芸員 嶋村 元宏

研究期間：平成30～令和2年度

研究実績概要：“危機的状況下におかれた人間は、それまでに蓄積した自らの経験と知識に照らし合わせ、その危機をどのように知覚し、いかなる対応をとることで、新たな時代を迎え入れようとしたのか、——いまだに多くの課題が積み残されている日本開国史研究において、認知科学の手法を援用して、この普遍的な問いに一つの解を示すことが本研究の目的である。本年度は、その具体的な作業として、東北大学附属図書館をはじめとする、主に仙台藩儒者・大槻磐溪が作成した記録類を所蔵する16機関をおとずれデジタルカメラ撮影などにより資料を収集し、解読をおこなった。その結果、《和米始末》（静嘉堂文庫所蔵）、《米夷紀事》（国立国会図書館所蔵）をはじめ、これまで利用されてこなかった史料を発掘し、それらにより新たな磐溪の情報活動の一端を明らかにすることができた。

カ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：18K01111

研究課題：岩石・石材を素材とした歴史系および自然系博物館による地域学習プログラムの協働開発

研究代表者：企画普及課長・学芸員 丹治 雄一

研究分担者：神奈川県立生命の星・地球博物館 情報資料課長 山下 浩之、同 主任学芸員 田口 公則

研究期間：平成30～令和2年度

研究実績概要：本研究は、岩石・石材を素材にして、神奈川県内の各地域における大地の形成（自然史的条件）とそこで展開された人間の営み（歴史的事象）を地域の歴史として一体的に捉え、理解し学ぶことができる地域学習プログラムを、歴史系博物館である神奈川県立歴史博物館と自然史系博物館である神奈川県立生命の星・地球博物館の学芸員の文理融合の研究組織による協働研究で作成し、その実践を行うことで、地域の歴史に対する理解の促進に資することを目的としている。

研究2年目も神奈川県の横浜・川崎地域、県央地域、県西地域の3地域の学習プログラム作成に継続的に取り組んだ。横浜・川崎地域については、①基礎調査、②プログラム作成、③実践メニュー試行、④課題抽出までを実施し、研究初年度に最も作業が進捗した県西地域では、初年度に実施した③実践メニュー試行に引き続き、④課題抽出、⑤補充調査、⑥プログラム修正、⑦実践メニュー再試行まで進めることができた。湯河原町で実施した現地見学型の実践メニューを通じて、体験者（参加者）に自然史的条件と歴史的事象の関係性をスムーズに理解してもらうためにはプログラムの接続部分に課題があることが判明した。

キ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：19K00187

研究課題：近代日本美術史における大倉孫兵衛の活動に関する総合的調査研究

研究代表者：主任学芸員 角田 拓朗

研究期間：令和元～3年度

研究実績概要：基礎文献・資料等の収集を実施し、当館が寄託をうけている《大倉孫兵衛旧蔵錦絵画帖》の目録整備とその分析を実施した。令和2年度開催の特別展で、その研究成果の一部公開を予定し、準備した。

ク 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：19K01218

研究課題：南関東地方における湯立神楽の基礎的研究

研究代表者：学芸員 新井 裕美

研究分担者：神奈川大学 非常勤講師 羽毛田 智幸 氏、非常勤学芸員 三浦 麻緒、横須賀市自然・人文博物館 学芸員 瀬川 渉 氏

研究協力者：國學院大学 非常勤講師 高久 舞 氏

研究期間：令和元～3年度

研究実績概要：本研究は、神奈川県内及び本県周辺で奉納される湯立神楽を分析対象として、地域研究の一助とすることを目的とする。現在でも相模国鎌倉郡・同国三浦郡・武蔵国久良岐郡・同国橘樹郡・房総半島等では湯立神楽が盛んに奏される。これを大別すると鎌倉鶴岡八幡宮に奉仕していた職掌家に依る「職掌系湯立神楽」と職掌家に依らない「非職掌系湯立神楽」があり、後者の発生は前者の伝播に因るとされてきた。そのため従来の研究では、専ら前者に関心が払われていたために後者の実態は等閑視され、地域毎の湯立神楽の類似・相違点、関係性は未詳である。そこで本研究は、両者の祈願内容・演目・所作・神楽場の設え・催行する組織等の項目で両者の比較研究を行い、「非職掌湯立神楽」の現行を考察する。

ケ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：19K01149

研究課題：歴史的な鳥瞰図に対する博物学的な視点から観た数値標高モデルによる再構築

研究代表者：神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員 新井田 秀一

研究分担者：学芸員 武田 周一郎

研究期間：令和元～3年度

研究実績概要：本研究は、鳥瞰図に描かれた地物の位置関係や投影法等について数値標高モデルを用いて解析し、これらの図が持つ主張や意図を理解することを目標とする。本年度は、1932（昭和7）年に吉田初三郎が描いた「神奈川県鳥瞰図」（当館所蔵）を事例とし、展望地点の推定や、作成過程の分析等を行った。

コ 研究種目名：若手研究

課題番号：18K12251

研究課題：鎌倉～南北朝時代における絵所の並立と絵師の交流をめぐる調査研究

研究代表者：学芸員 橋本 遼太

研究期間：平成30～令和3年度

研究実績概要：おもに鎌倉時代～南北朝時代に制作された絵画を対象に、図像や技法を比較しながら、制作集団の違いや図像の転写関係を考察する研究課題。特別展「真教と時衆」に携わるなかで、遊行上人縁起絵諸本（金蓮寺本、金蓮寺別本、常称寺本、金光寺本、清浄光寺甲本、清浄光寺乙本）を観察する機会を得た。また特別展「十王図」の準備過程で、各種十王図（総持寺本、浄教寺本、建長寺本、神照寺本）を調査する機会を得た。

サ 研究種目名：若手研究

課題番号：18K12252

研究課題：相模川中流域の仏像彫刻に関する調査研究

研究代表者：学芸員 神野 祐太

研究期間：平成30～令和2年度

研究実績概要：本年度は、相模川沿いに無量光寺（相模原市）を建立し時宗二祖として活躍した他阿真教の肖像彫刻について調査研究をおこなった。神奈川県蓮台寺、山梨称願寺、東京法蓮寺、埼玉法臺寺の各像について実査をし、法量や構造といった基礎データ、画像データを得た。また、養命寺薬師如来像について考察し、奈良国立博物館所蔵の日本美術院彫刻等修理記録の調査をおこなった。

シ 研究種目名：若手研究

課題番号：19K13451

研究課題：近代東アジアにおける地図製図・印刷技術の展開過程に関する基礎的研究

研究代表者：学芸員 武田 周一郎

研究期間：令和元～4年度

研究実績概要：本研究は、近代の日本・台湾・朝鮮における地図製図・印刷技術の展開過程を明らかにすることを目的とする。本年度は、大正期に朝鮮総督府臨時土地調査局の技術課地形科で発行された科内報である「地形通報」を分析し、当該期に地形図の作製に携わった測量技術者の動向を明らかにした。

(3) その他外部研究資金によるもの

ア 助成内容：公益財団法人鹿島美術財団「美術に関する国際交流援助」

研究課題：在英在仏五姓田派作品調査

研究代表者：主任学芸員 角田 拓朗

研究期間：令和元年6月3日～15日

研究実績概要：在英、在仏、及び英王室領ガーンジー島に所在する五姓田派作品に関する調査を実施した。イギリスでは、ワーグマン縁者を訪ね、実作品を調査した。ガーンジー島では、サマレーズ家コレクションを中心に調査した。その概要については、(4)個人研究活動に記載した論考等に記してある。また、9月4日から11月24日までトピック展示「ガーンジー島の五姓田派」として、調査報告を当館所蔵品とパネルをあわせて紹介した。在仏作品については、令和2年度以後、学術誌等に応募を準備中である。

イ 助成内容：公益財団法人国土地理協会学術研究助成

研究課題：圃場整備地域の景観復原技法確立と地域実践—滋賀県甲賀市水口町の前近代水資源開発と社会集団の関わりから—

研究代表者：学芸員 渡邊 浩貴

研究期間：平成30～令和元年度

研究実績概要：本研究は、金沢北条氏の称名寺領柏木御厨故地（現滋賀県水口町）をフィールドに、従来景観復原が困難とされてきた圃場整備実施地域における適切的な景観復原技法の確立を目指すものである。その上で、かかる技法を用いて復原された各時代における水利灌漑の有り様を踏まえ、水利の上に立脚する社会集団（本研究では在地領主山中氏など甲賀郡中惣構成メンバー、柏木御厨の荘園、近世村など）との相関関係を明らかにするものである。本年度では以下の調査を実施した。①実踏調査による現況・圃場整備前後の水利体系を復原し、圃場整備事業が、歴史学で従来考えられてきた、既存の水利秩序の破壊ではなく、むしろベースとしつつ補完する形でポンプアップがされていることが明らかとなった。②区有文書の調査による近世諸段階での灌漑の変遷に関わる古文書の調査・撮影・目録化を行った。本研究の成果報告は「圃場整備地域の景観復原技法確立と地域実践—滋賀県甲賀市水口町の前近代水資源開発と社会集団の関わりから—」として全文公開されている。（【リンク先】<http://www.kokudo.or.jp/grant/past.html>）

ウ 助成内容：公益財団法人河川財団河川基金助成事業

研究課題：戦国大名北条氏の水資源開発を事例とした博物館展示普及事業

研究代表者：学芸員 渡邊 浩貴

研究期間：令和元～2年度

研究実績概要：当館所蔵「北条家文書」の整理・撮影・調査を実施し、また箱根町早雲寺でも未整理の近世文書分の整理・撮影・調査を行った。こうした基礎的作業を通じて、戦国大名北条氏の系譜をひく近世狭山藩北条氏における、文書集積と家譜・由緒形成にいたる諸相を検討した。

エ 助成内容：公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団国内研究助成

研究課題：GISを用いた前近代村落社会の水環境と「紛争・共生」に関する歴史学的研究—滋賀県甲賀市水口町における水利灌漑の復原作業を通じて—

研究代表者：学芸員 渡邊 浩貴

研究期間：令和元～2年度

研究実績概要：本研究は、地域社会における水利灌漑の歴史の変遷が、村落社会やそれを構成する多様な社会集団の形成において、いかなる影響を与えてきたのかを、フィールドワークに基づいた現地調査から実証的にあきらかにするものである。また本研究では、村落社会をとりまく水環境を、「紛争」と「共生」という二つの側面から捉え直し、両者が絡まり合いながら、中世後期から近世・近代、そして現代へとつながる村落が歴史的に形成されてきたのかを歴史学的に検証する。具体的には、滋賀県甲賀市水口町内の村落を対象とする。初年度では水口町歴史民俗資料館にて資料の所在を確認した上で、3ヶ村（宇川・宇田・植）の区有文書を調査・撮影し、その翻刻を行った。次年度ではこうした翻刻資料を報告書として刊行し公表する予定である。

#### (4) 個人研究活動

##### ア 研究報告書

(ア) 『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第46号 令和元年10月31日発行

a 種 別：論文

表 題：中世都市鎌倉と地下楽家中原氏—中原有安・景安・光氏の系譜と活動を中心に—

筆 者：学芸員 渡邊 浩貴

要 旨：本稿は、中世都市鎌倉において文献・考古・美術などの様々な資料にその足跡を濃厚に残す地下楽家中原氏とその一族を検討対象として取り上げ、鎌倉幕府による京都の音楽文化受容のあり方を検討するものである。対象とする中原氏は、中世前期において京・鎌倉の両音楽社会に跨がり活動を展開した楽家であることがこれまで知られている。本稿では主に、中原有安から始まる楽家中原氏一族（有安—景安—光氏）の活動履歴を詳細に分析し、中世前期における楽家中原氏一族全体の動向をその樂統形成や家形成に着目しつつ俯瞰的に論じる。その上で、武家権門としての地歩を築きつつある鎌倉幕府が、宗教音楽儀礼の担い手である楽人をどのように招致し編成したのかを、楽家中原氏の動向から検討を加え、鎌倉幕府政治史のなかに音楽受容のあり方を定位しようと試みる。

本稿で明らかにした主な点は以下の通りである。①非重代で後進の楽人という家柄であった中原氏は、有安期に九条兼実の家政機関に所属し、かつ音楽の御師という立場を背景に、京都の音楽社会で楽人としての一定の地位を得た。②有安の養子となった景安は、非重代であり政治的な大きな後ろ盾もないため京都音楽社会で不遇な立場にあった。一方、都市鎌倉では執権北条泰時時代に都市・儀礼整備や積極的な音楽受容政策が行われた。景安は楽人としての活路を鎌倉に見出し下向し、鎌倉幕府の支援のもとで、重代楽家の多氏・狛氏の樂統を継承して新天地鎌倉で楽人として成功する。③中原氏の事例のように、京都音楽社会での栄達が望めない楽人たちが鎌倉に下向し、また都市整備を進める鎌倉幕府の意向と利害が一致した結果、幕府は独自の楽人を擁するようになり、とりわけ中原光氏は鎌倉や周辺地域の音楽社会を主導する立場にまで成長を遂げるに至る。

キーワード：都市鎌倉、地下楽家、鎌倉楽人、中原有安、中原景安、中原光氏

b 種 別：論文

表 題：神奈川・松蔭寺所蔵銅造如来像（伝阿弥陀如来像）とその伝来

筆 者：学芸員 神野 祐太

要 旨：神奈川県横浜市鶴見区に所在する松蔭寺には、銅造如来像（伝阿弥陀如来像）が伝わる。昭和22年(1947)にその存在が確認されてから当時の国立博物館に寄託されたが、伝来が不明であったこともあり評価は一定しなかった。

本稿では昭和22年当時の新聞記事や調査員の論考等により、本像の伝来について考察し、江戸時代後期には武蔵国橘樹郡の西寺尾八幡社に御神体として祀られており、明治初年の廃仏毀釈の影響を受けて別当寺である松蔭寺に安置されたとみられることを述べる。また、作風を検討し飛鳥時代前期の止利様式と七世紀にもたらされた初唐様式を折衷した作風であると考察し、東京・深大寺釈迦如来倚像や千葉・龍角寺薬師如来坐像と比肩しうる作例であることを論じた。

キーワード：金銅仏、飛鳥時代後期（白鳳時代）、武蔵国橘樹郡、西寺尾八幡社、横浜市

c 種 別：論文

表 題：「神奈川県鳥瞰図」の作成過程と利用の実態

筆 者：学芸員 武田 周一郎

要 旨：「神奈川県鳥瞰図」は1932(昭和7)年に神奈川県観光連合会の委嘱を受けた吉田初三郎が作成した鳥瞰図である。神奈川県観光連合会は外客誘致の国策と呼応して観光施策を推進し、その宣伝資料として鳥瞰図を作成した。本稿では「神奈川県鳥瞰図」と、同図をもとにして発行された「神奈川県観光図絵」の作成過程を詳細に検討するとともに、これらの鳥瞰図の利用の実態を明らかにした。その結果、「神奈川県鳥瞰図」は博覧会で展示されて多数の来場者の目に触れ、また「神奈川県観光図絵」は神奈川県を訪れた視察団体や会

議出席者などに贈呈されたほか、業者を通じた販売や、博覧会の来場者への配布などで大量に流通していたことが判明した。そして、両図は関東大震災から復興を遂げた神奈川県を広く発信したが、その内容は必ずしも当時、県下に存在した観光名所だけに留まらず、湘南海岸道路や初声御用邸、富士箱根国立公園といった計画が含まれていた。

キーワード：神奈川県観光連合会、吉田初三郎、神奈川県鳥瞰図、神奈川県観光図絵

d 種 別：研究ノート

表 題：海北家所蔵「覚書」にみる海北派絵師の動向

筆 者：非常勤学芸員 小松 百華

要 旨：「覚書」は海北派七代の絵師・海北友徳が残した横帳形式の資料である。本資料には天明五年から寛政二年にかけての、山城国淀藩関連の事項が書き記されている。具体的には淀藩から支給された俸高と、それにかかる受領書や書簡の手控え、また淀城に登城した際の挨拶について詳細な記述が確認でき、江戸時代における御用絵師の実態を示す文書資料として貴重である。

本稿では本資料の記述を手がかりに、筆者友徳の画事や、海北派と稲葉家の縁故について考察を行った。特に両家の交流については、『海北家由緒記』を典拠とする友松・友雪父子と春日局にまつわる伝記を除き、言及される機会に乏しかった。しかし、本資料の記述から、友雪以降の海北派絵師も引き続き稲葉家との縁を持ち続けていたことが判明した。友雪以降の海北派についてはいまだ不明な点が多く、さらなる研究が望まれるが、本稿が海北派を紐解くための一助となれば幸いである。

キーワード：海北友徳、稲葉正謙、御用絵師、麟祥院、淀藩

e 種 別：資料紹介

表 題：神奈川県立歴史博物館所蔵横浜市公田ジョウロ塚遺跡採集 縄文時代土製頭部片の X 線 CT 撮影による分析

筆 者：学芸員 千葉 毅

要 旨：神奈川県立歴史博物館が所蔵する横浜市公田ジョウロ塚遺跡採集の土製頭部片の X 線 CT 撮影を行った。撮影画像の分析から、製作にかかる情報、胎土に含まれる種実等の圧痕の可能性のある空隙の存在等が明らかになった。

本資料は頸部以下を欠損しており全体像が不明だが、今回の撮影を通して、決め手となるような情報は得られなかった。

キーワード：顔面把手、土偶、土製頭部片、X 線 CT 撮影、種実圧痕、縄文時代、縄文土器

f 種 別：資料紹介

表 題：松平造酒助江戸在勤日記一元治二年正月十一日より慶応元年閏五月九日一

筆 者：非常勤学芸員 根本 佐智子・専門員 古宮 雅明

要 旨：当館所蔵「松平造酒助江戸在勤日記」の翻刻。筆者松平造酒助は庄内藩士、家禄は千四百石。元治元年八月より慶応元年八月まで江戸に在勤している。

今回掲載分は元治二年正月十一日より慶応元年閏五月九日まで、全五十綴のうち、「二十二」～「三十九」。この間、四月七日には慶応と改元があった。第二次長州征討が実施され、政情は緊迫の度を増すが、江戸市中取締の任にあった庄内藩はこれには従軍せず、家中は比較的落ち着いている。造酒助にも余裕が生まれ、正月頃からは挿絵も丁寧に描かれた彩色画が多くなる。花見の様子を描いた挿絵（図 14・15）は爛漫の桜の下での遊興や、目鬘（目の部分だけを覆うマスク）を付けて羽目を外し気味の酔漢など、楽しい花見のざわめきも聞こえるようである。「食」生活も、名物の「松の寿司」や豊島屋の白酒を賞味し、王子や目黒で宴席（図 9・18）など楽しいである。一方、西洋式銃器への関心はますます増し、個人的にピストルやミニケール銃などを購入し、藩としても西洋式銃を導入することを主張する。市中取締に関わる小事件も起こっているが、全般に生々しい政治的緊張感はあまり感じられない。

キーワード：松平造酒助、庄内藩、元治・慶応年間、江戸市中取締、新徴組

## イ 個人研究活動

〈凡例〉(刊行年などは西暦で統一)

氏名(役職・専門分野等)

- (ア) 著作
  - a 単著・共著・学術論文
  - b 書評・余録
  - c 資(史)料紹介
- (イ) 学術口頭報告
- (ウ) 図録執筆・解説書執筆
- (エ) 新聞・雑誌等への寄稿
- (オ) 各種調査委員会等
- (カ) 講師等
  - a 外部依頼講座講師等
  - b 当館主催講座等講師
  - c 当館出張講座講師
- (キ) ここ1年間の課題・研究テーマ

薄井 和男 (館長・美術・中世)

- (ウ) 「時衆関係彫像について」(図録『特別展 真教と時衆』pp.108-109、遊行寺宝物館、神奈川県立歴史博物館、9月)

望月 一樹 (学芸部長・歴史・近世)

- (ア)a 「ペリー来航時における川崎沿岸地域の様相」(『川崎市文化財集録』第54号、pp.1-15、川崎市教育委員会、3月)
- b 「本の紹介 『図説 都筑の歴史』」(『多摩のあゆみ』第177号、pp.94-95、公益財団法人たましん地域文化財団、2月)  
「川崎市市民ミュージアムへのレスキュー活動について」(全国歴史民俗系博物館協議会令和元年度関東ブロック集会、於江戸東京博物館、2月6日)
- (オ) 交通史学会運営委員、シルク博物館運営委員、大山街道ふるさと館運営懇談会アドバイザー、みずほ総合研究所「博物館の機能強化に関する調査」調査委員会委員
- (カ)a ミューラボ基礎講座「用水の果たした役割 part.1 ～多摩川右岸の二つの用水を中心に～」(於かわさき市民活動センター、6月22日)  
東海道川崎宿2023公開講座 川崎宿大学第3回「川崎宿のまちなみ」(於川崎市教育文化会館、6月29日)  
街道シリーズ講座第22回「川崎・中原街道の歴史」(於東海道かわさき宿交流館、7月20日)  
第2回企画展記念講演会「ふるさと高津の幕末・明治維新时期」(於大山街道ふるさと館、7月21日)  
学んで歩く地名講座「現地散策 池上幸豊の足跡と川崎大師参詣道を歩く」(於川崎区川崎大師周辺、10月19日)  
市民自主学級「江戸時代における村の景観とその生活」(於川崎市宮前市民館、11月17日)  
ニヶ領宿河原堰改築20年記念講演会「多摩川とニヶ領用水」(於川崎市宮前市民館、1月25日)  
令和元年度地名塾「古代川崎の地名からさぐる地域社会」(於地名資料室、1月30日)
- b 県博講座「江戸内湾における新田開発」(9月8日、15日、22日、29日の全4回)  
県博講座「古代神奈川の郡の役所」第2回「郡の役所とその周辺」(1月19日)
- c 出張講座「中野島の江戸時代の暮らし」(川崎市立中野島小学校、10月29日)
- (キ) 池上家文書(川崎市市民ミュージアム所蔵)の内、「池上新田諸用留」をはじめとした御用留帳を分析し、多摩川河口域、帷子川河口域、横浜村における新田開発の過程とその実態について調査研究を行った。また以前からの継続として「尺璧帖」(東京国立博物館所蔵)にある近世文人書簡の解読を行い、研究を進めた。

丹治 雄一（企画普及課長・歴史・近代）

- (ア) a 「近代洋風建築に使用された石材『白丁場石』の歴史」（日本遺跡学会監修・高田祐一編『産業発展と石切場—全国の採石遺構を文化遺産へ—』戎光祥近代史論集 2、pp. 81-93、5月）
  - b 「書評 茅ヶ崎市史編集委員会編『市制施行 70 周年記念 茅ヶ崎を彩った 70 人—ゆかりの人物でたどる歴史風土—』」（『ヒストリアちがさき』第 11 号、茅ヶ崎市文化生涯学習部文化生涯学習課市史編さん担当、pp. 87-90、6月）
- (イ) 「2018 年度第 2 回博物館教育研究会参加記」（『学会ニュース』No.128、pp. 3、全日本博物館学会、4月）
  - 「特別展 掃部山銅像建立 110 年 井伊直弼と横浜③建築界の巨頭 台座設計」（『毎日新聞』朝刊、3月 13日）
  - 「明治時代の真鶴町域の石材業と土屋大次郎」（『文化財だより』第 32 号、pp. 3-4、真鶴町教育委員会、3月）
- (ロ) 首都圏形成史研究会常任委員
- (カ) a 神奈川県立生命の星・地球博物館「春の地形地質観察会—湯河原の石材を、自然科学的、人文科学的視点で見よう—」講師（於湯河原町鍛冶屋ほか、5月 3日）  
MUFJ（三菱 UFJ フィナンシャルグループ）ELP（Extended Learning Program）講師「旧横浜正金銀行本店本館について」（於神奈川県立歴史博物館、6月 8日）  
神奈川県総務局財産経営部庁舎管理課「夏休み特別企画！『県庁子ども見学会』」講師「神奈川の近現代史を学ぶ」（於神奈川県庁本庁舎、7月 27日）
  - b 旧横浜正金銀行本店本館建物見学会 I（4月 14日） II（9月 23日） III旧横浜正金銀行本店本館と横浜の銀行建築をめぐる（11月 16日） IV（12月 11日）  
特別展連続講座「横浜浮世絵とはなにか」第 4 回「横浜浮世絵にみる都市横浜の形成」（6月 22日）  
教員のための博物館講座 II 「県立歴史博物館を体感する—博物館の役割と利活用—」（8月 7日）  
講座・現地見学会「岩石・石材から見た横浜の近代建築と近代化遺産」（9月 16日）  
博物館入門講座「神奈川県立歴史博物館を知ろう」（9月 21日）  
ボランティアフォローアップ研修「当館建物のボランティア解説について」（11月 9日）  
ミュージアムトーク「今月の逸品」（「旧横浜正金銀行本店本館に使用された神奈川県産建築用石材『白丁場石』」、11月 20日）
- (キ) c 出張講座「博物館・学芸員の仕事」（湘南白百合学園中学校、5月 7日）  
出張講座「日本の工業化の歩み」（横浜女学院中学校、6月 7日）
- (ク) 科学研究費助成事業にかかる近代石材産業史研究では、神奈川県産石材「白丁場石」と競合関係にある静岡県産石材「横根沢石」「月出石」の調査などを行った。また、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院建築史・建築芸術研究室と当館建物（旧横浜正金銀行本店本館）の建築史的価値を再検証する共同研究にも着手した。

（先史）

千葉 毅（学芸員・考古）

- (ア) a 「赤星直忠による 1947 年の横浜市薬王寺貝塚（称名寺 E 貝塚）発掘調査」（『横須賀市博物館研究報告（人文科学）』第 64 号、共著：千葉 毅・釘持 輝久氏・塩原 健氏、pp. 29-62、横須賀市自然・人文博物館、3月）  
「神奈川県立金沢文庫保管の考古資料とその来歴—横浜市称名寺貝塚の縄文時代遺物 中心に—」（『金沢文庫研究』第 344 号、pp. 5-33、神奈川県立金沢文庫、3月）
- b 「神奈川県博物館協会総合防災計画活動報告—2018 年度・2019 年度—」（『神奈川県博物館協会会報』91、共著：千葉 毅・鈴木 聡氏、神奈川県博物館協会、3月）
- c 「神奈川県立歴史博物館所蔵横浜市公田ジョウロ塚遺跡採集縄文時代土製頭部片の X 線 CT 撮影による分析」（『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第 46 号、pp. 73-78、10月）
- (イ) 「神奈川の土偶—湘南・県西地域—」（紙上発表、第 17 回土偶研究会、土偶研究会、1月 19日）
- (ロ) 三田史学会委員

- (カ) a かながわ考古学財団職員向け研修会「展示作業周辺の考古資料取扱いの考え方」（於神奈川県埋蔵文化財センター、主催：（公財）かながわ考古学財団、5月16日）  
 玉縄・市民学芸員育成講座「縄文時代のかまくらと考古学の視点」（於玉縄ふるさと館、主催：玉縄城址まちづくり会議、6月13日）  
 歴史講座「縄文土器はいつから美しくなったのか」（於横浜市八聖殿郷土資料館、主催：横浜市八聖殿郷土資料館、7月27日・31日）  
 文化財の防火・防災研修会「神奈川県博物館協会総合防災計画について—現状と課題—」（於長野県立歴史館、主催：長野県教育委員会、2月13日）  
 歴史講座「縄文時代の謎の顔—栄区公田町出土の土製品と最近の動向—」（於横浜市栄図書館、主催：横浜市栄図書館、2月15日）
- b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「日本列島最大級！縄文時代の『あたま』—土器の装飾？土偶？—」、8月21日）
- c 出張講座「『もの』から考える—考古学—」（横須賀市立田戸小学校、9月19日）
- (キ) 総合研究の一環として、県下の学史的な未報告考古資料の整理報告を進めた。当館所蔵の考古資料に関わる情報の整理も継続している。また、博物館が蓄積してきた多様な情報をウェブ上で活用されやすい形で公開するための整理、検討を進めている。

(中世)

渡邊 浩貴（学芸員・歴史）

- (ア) a 「六 社会・経済（中世前期）」（『史学雑誌 2018年の歴史学界—回顧と展望—』第128編第5号、pp.88-92、史学会、6月）  
 「中世都市鎌倉と地下楽家中原氏—中原有安・景安・光氏の系譜と活動を中心に—」（『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第46号、pp.1-22、10月）  
 「中世伊賀の山林資源と領主たち」（予稿集『第112回歴博フォーラム 中世益田の世界』、pp.22-25、共著、国立歴史民俗博物館、11月）  
 『中世益田現地調査成果概報 vol. 3』（pp.3-5、10-15、18-20、田中 大喜・村木 二郎と共同執筆、国立歴史民俗博物館、3月）  
 「圃場整備地域の景観復原技法確立と地域実践—滋賀県甲賀市水口町の前近代水資源開発と社会集団の関わりから—」（『公益財団法人国土地理協会 第18回学術研究助成報告書』、pp.1-28、国土地理協会、3月）
- b 「『桜井家文書』の修理報告と公開にむけて」（『神奈川県立歴史博物館だより』通巻211号、pp.6-7、5月）
- (イ) b 「宝治合戦後の三浦一族と本拠景観」（満願寺瓦調査会、於横須賀市自然・人文博物館、5月4日）  
 「山野紛争にみる荘園の景観と構造—伊賀国玉滝荘の事例から—」（2019年度三田史学会大会、於慶應義塾大学三田キャンパス、6月22日）  
 「中世伊賀の山林資源と領主たち」（第112回歴博フォーラム『中世益田の世界』、於石見美術館グラントワ、11月2日）  
 「博物館のICT事業と古文書展—神奈川県立歴史博物館の『ポケット学芸員』から—」（2019年度日本史攷究会大会、於早稲田大学早稲田キャンパス、12月7日）
- (ウ) コレクション展図録『桜井家文書—戦国武士がみた戦争と平和—』（神奈川県立歴史博物館、11月）
- (エ) 「手紙が語る歴史秘話 vol. 30 越前藩二代藩主松平忠直から家臣桜井武兵衛へ体調を気遣う手紙」（『月刊江戸楽』1月号、pp.40-41、株式会社エー・アール・ティ、12月）
- (オ) 立川市史編さん室古代・中世史部会主任調査員
- (カ) a 東京中世史研究会 連続講座「東京中世史を深める(2)」第42回「崖線と東国武士本拠をゆく」座学および巡検（立川市女性総合センターAIM、7月20日）  
 2019年度ICP「鎌倉をめぐる歴史と文化」第10回「鎌倉御家人の音楽環境と京・鎌倉・本拠」（鎌倉市大路ビル、1月26日）

地名塾「川崎の歩みと地名」第3回「中世川崎の地名にみる武士拠点と地域流通」（川崎市教育委員会地名資料室、2月13日）

- b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「土屋宗直軍忠状」、5月15日）  
博物館入門講座 コレクション展「桜井家文書開催までの準備」、古文書編「中世人にならう手紙の書き方、折り方」（9月28日）  
コレクション展関連講座「戦国武士の『就活』最前線！—『桜井家文書』を読む—」（11月23日）  
コレクション展連続講座「地域史のための中世古文書入門—フィールドワーク事始め—」（11月30日、12月7日、14日、21日）
- (キ)a 昨年度から引き続いて「東国武士の本拠景観と地域開発の景観復原的研究」を個人の研究テーマとし、個別研究のテーマとあわせて東国武士本拠の現地調査、および中世景観の復原作業を実施した。
- b 新たな研究テーマとして「中世都市鎌倉の音楽受容と地域的展開」を加えた。上記のテーマとあわせて都市鎌倉や武士本拠での文化受容の実相を音楽芸能の視座から明らかとする。
- c 国土地理協会、クリタ水・環境科学振興財団の研究助成をうけ、金沢北条氏の称名寺領柏木御厨故地（現滋賀県水口町）において、水利灌漑調査の遡及的な景観復原調査を実施した。また河川財団の助成を受け、館蔵資料「北条家文書」の整理・撮影・調査を進めている。

小井川 理（主任学芸員・美術〔工芸〕）

- (ア)b 「なむあみだ仏はうれしきか—特別展『真教と時衆』によせて—」（『神奈川県立歴史博物館だより』通巻212号、pp.2-5、8月）  
「掃部山・彦根・豪徳寺・狛江、井伊直弼追慕の跡を訪ねて—特別展『井伊直弼と横浜』によせて—」（『神奈川県立歴史博物館だより』通巻213号、pp.2-5、12月）
- (ウ) 特別展図録『時宗二祖上人七百年御遠忌記念特別展 真教と時衆』（解説分担執筆、遊行寺宝物館・神奈川県立歴史博物館編集、時宗・時宗総本山清浄光寺、9月）  
特別展図録『掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜』（総説・考察および解説分担執筆、神奈川県立歴史博物館、2月）
- (エ) 「時宗二祖上人七百年御遠忌記念特別展 真教と時衆 ①類稀な宗教者『二祖』 宗祖・一遍没後に教団の礎築く」（『毎日新聞』朝刊、10月14日）  
「時宗二祖上人七百年御遠忌記念特別展 真教と時衆 ④遊行支えた必需品 信仰を体現する機能性『十二光篋』」（『毎日新聞』朝刊、11月2日）  
「特別展 掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜 ①旧彦根藩士らが建立運動」（『毎日新聞』朝刊、2月21日）  
「特別展 掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜 ④茶書読み説き心今に」（『毎日新聞』朝刊、3月20日）
- (カ)a 神奈川県文化財協会第5回見学会「特別展 真教と時衆」（於神奈川県立歴史博物館、10月16日）  
国宝史蹟研究会第1021回研究例会「特別展 真教と時衆」（於神奈川県立歴史博物館、10月20日）  
神奈川県文化財協会第7回見学会「特別展 掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜」（於神奈川県立歴史博物館、2月19日）
- b 県博セミナー「井伊直弼と横浜」第1回「茶人井伊直弼の〈発見〉」（2月15日）
- c 出張講座「かながわと工芸②真葛焼」（相模原市立上鶴間小学校、6月21日）
- (キ) 館所蔵・保管資料（中世工芸および近代工芸）と日本美術工芸史に関する調査研究を行った。令和元年度特別展「真教と時衆」および「井伊直弼と横浜」に関する調査研究を行った。

神野 祐太（学芸員・美術〔彫刻〕）

- (ア)a 「神奈川県小田原市千代廃寺跡出土の塑像断片について」（肥田路美編『古代寺院の芸術世界』、pp.245-273、竹林舎、5月）

- 「神奈川・松蔭寺所蔵銅造如来坐像（伝阿弥陀如来像）とその伝来」（『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第46号、pp.23-40、10月）
- 「養命寺薬師如来像に関する一考察」（『藤沢市文化財調査報告書』第55集、pp.1-14、3月）
- b 「若手学芸員からみた県博50年—特別展『つなぐ、神奈川県博』開催までの軌跡—」（『かながわ文化財』第115号、pp.7-14、5月）
- 「時衆に関わる彫刻—肖像彫刻と阿弥陀如来像—」（『神奈川県立歴史博物館だより』通巻212号、8月）
- 「第3回 二祖さんのお顔」（特別展「真教と時衆」特設ウェブサイト、9月26日）
- 「第5回 二祖さんに会える。第二会場はじまる」（特別展「真教と時衆」特設ウェブサイト、10月11日）
- c 「阿弥陀如来及び両脇侍像（小田原市蓮台寺）」（『日本彫刻史基礎資料集成』鎌倉時代造像銘記篇第16巻、中央公論美術出版、3月）
- (ウ) 特別展図録『真教と時衆』（解説18件分担執筆、時宗・時宗総本山清浄光寺、9月）
- (エ) 「特別展真教と時衆 第2回」（『毎日新聞』朝刊、10月19日付）
- (カ)a 藤沢市明治公民館・郷土歴史課主催「養命寺の仏さま」（於藤沢市明治公民館、5月30日）
- NPO法人鎌倉地域振興協会主催「鎌倉の歴史を楽しむ講座」「古代相模の寺社と仏像」（於若鎌倉市宮大路ビル3階、6月23日）
- 青葉区郷土史の会・青葉区役所主催「仏像の美にふれる—青葉区の仏像を中心に—」（於横浜市青葉公会堂、7月5日）
- NPO法人鎌倉地域振興協会主催「鎌倉の歴史を楽しむ講座」主催「時衆の彫刻について—祖師と阿弥陀如来を中心に—」（於鎌倉市若宮大路ビル3階、9月22日）
- 国宝史蹟研究会第1021回例会「時衆の彫刻について—祖師と阿弥陀如来を中心に—」（於神奈川県立歴史博物館講堂、10月20日）
- 大井町郷土史研究会主催「仏像に親しむ—大井町の仏像入門—」（於大井町生涯学習センター、12月21日）
- b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「複製の仏像をじっくりみる」6月19日）
- (キ) 相模川流域の仏像、神像彫刻、時宗関係彫刻について調査研究をおこなった。

橋本 遼太（学芸員・美術〔絵画〕）

- (ア)a 「木賊図屏風」（『國華』第1490号、pp.27-29、12月）
- 「曾我二直菴筆竹林七賢・商山四皓図屏風」（『國華』第1491号、pp.24-28、1月）
- b 「特別陳列〈屏風をひらけば—神奈川県立歴史博物館所蔵の屏風絵—〉を終えての記録」（『かながわ文化財』115号、5月）
- c 「清拙正澄墨蹟『与鏡空浄心偈頌』の料紙」（『ボランティアニュース』82号、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、3月）
- (ウ) 展覧会図録『真教と時衆』作品解説の執筆
- (エ) 時宗二祖上人七百年御遠忌記念特別展「真教と時衆」連載記事「3 対照的、二つの絵巻『一遍』は上人追慕、『遊行』は道しるべ」（『毎日新聞』地方版、10月26日）
- (カ)a 「涅槃図入門講座—海老名に伝わる仏教絵画—」（海老名市役所、8月31日）
- NPO法人鎌倉地域振興協会主催「鎌倉の歴史を楽しむ講座」「時宗の絵画について—本尊・肖像・絵巻—」（若宮大路ビル、10月27日）
- NPO法人鎌倉地域振興協会主催「鎌倉の歴史を楽しむ講座」「鎌倉地域と十王信仰」（若宮大路ビル、2月23日）
- b ミュージアムトーク「今月の逸品」「啓孫筆 虎溪三笑図」（12月18日）
- c 出張講座「室町絵画の魅力」（フェリス女学院、12月9日・12日）
- (キ) 館所蔵および保管の美術資料（主として中世絵画）に関する調査研究

梯 弘人（学芸員・歴史）

- (イ) 「『北条五代記』にみる『山上宗二記』の情報について」（小田原地方史研究会報告、於小田原市民交流センター、12月1日）

- (カ) a 横浜市港北区役所「小机城・篠原城見学会」（於城址現地、12月13日）
- b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「陣中見舞いにお抹茶を」、10月16日）
- (キ) 小田原北条氏文書に関する調査研究

(近世)

古宮 雅明（専門員・歴史）

- (ア) c 「松平造酒之助江戸在勤日記 一元治二年正月十一日から慶応元年閏五月九日一」（『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第46号、pp.79-128、10月）
- (カ) a 特別陳列連続講座「古文書解読講座—富士山宝永噴火の史料を読む」1日11日、18日、25日の全3回）
- c 出張講座「バーチャル東海道」（横浜女学院中学校、10月16、17日）
- (キ) 「松平造酒之助江戸在勤日記」およびその関係資料「松平武右衛門文書」の調査を行い、その解読作業を進めた。

根本 佐智子（非常勤学芸員・歴史）

- (ア) c 「松平造酒助江戸在勤日記—一元治二年正月十一日より慶応元年閏五月九日一」（『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第46号、pp.79-128、10月）
- (キ) 科学研究費の調査研究、近世多摩川における御留川についての研究。当館所蔵近世資料の調査研究。

桑山 童奈（主任学芸員・美術）

- (イ) 「歴史系博物館における浮世絵展示」（国際浮世絵学会第112回研究会、於神奈川県立歴史博物館、6月1日）
- (ウ) 『横浜開港160年 横浜浮世絵』神奈川県立歴史博物館
- (エ) 「憧れの名所絵、思い出の絵図」（『歴博』No.214、pp.11-14、国立歴史民俗博物館、5月）
- 「横浜浮世絵 県立歴史博物館」（『毎日新聞』、6月2日、4日、18日、20日）
- 「『横浜開港160年 横浜浮世絵』に寄せて」（『神奈川新聞』、6月17日）
- 「展覧会後記/神奈川県立歴史博物館〈横浜開港160年 横浜浮世絵〉」（『浮世絵芸術』No.179、pp.62-63、1月）
- 「浮世絵を仕上げる名もなき職人“摺師”」（『マイウェイ』No.113、pp.2-3、はまぎん産業文化振興財団、3月）
- (オ) 国際浮世絵学会理事・企画委員、藤沢市藤澤浮世絵館運営委員、公益財団法人氏家浮世絵コレクション評議員
- (カ) b 連続講座「横浜浮世絵誕生前夜の浮世絵」（「横浜浮世絵とはなにか」、5月11日）
- ミュージアムトーク「今月の逸品」（「葛飾北斎が描いたかながわ」、9月18日）
- 博物館入門講座「学芸員の日 学芸員の技」（10月7日）
- c 出張講座「浮世絵のおはなし」（川崎市立宿河原小学校、9月20日）
- (キ) 「横浜浮世絵」展の開催と横浜浮世絵の研究から引き続き、明治の文明開化期に出版された浮世絵の研究。

(近代)

嶋村 元宏（主任学芸員・歴史）

- (ア) b 「特別展『北からの開国』のみどころ」（『神奈川県立歴史博物館だより』通巻211号、pp.1-5、5月30日）
- 「日米の架け橋—音楽の力」（『横浜開港祭 ザ プラス クルーズ 2019 誠』、横浜開港祭ザプラスクルーズ実行委員会事務局、5月15日）
- 「日米の架け橋—音楽の力」（『横浜開港祭 ザ プラス クルーズ 2019 響』、横浜開港祭ザプラスクルーズ実行委員会事務局、6月8日）
- (ウ) 特別展図録『北からの開国—海がまもり、海がつかない日本—』（神奈川県立歴史博物館、7月8日）

- (エ) 『特別展 北からの開国 1 ラクスマン来航の衝撃』（『毎日新聞』朝刊、8月10日）  
 『特別展 北からの開国 2 日露関係宥和に一役』（『毎日新聞』朝刊、8月14日）  
 『特別展 北からの開国 3 最新のロシア情報満載』（『毎日新聞』朝刊、8月16日）  
 『特別展 北からの開国 4 江戸湾防備充実へ巡見』（『毎日新聞』朝刊、8月20日）  
 『特別展 北からの開国 5 防備の状況浮き彫り』（『毎日新聞』朝刊、8月24日）
- (オ) 明治維新史学会会誌編集委員
- (カ) a 令和2年度平塚市中央公民館市民大学「開国の歴史に触れる—ペリーがもたらした西洋との出逢い—」（於平塚市中央公民館、10月25日）  
 「絵でたどるペリー来航展 記念講演会」（於横浜美術館、11月2日）  
 b 子ども向け 海の日イベント「展示を見て海を学ぼう」（於神奈川県立歴史博物館、7月15日）  
 特別展「北からの開国—海がまもり、海がつないだ日本—」  
 連続講座「近世後期における“海、” 「近世後期における北方へのまなざし」（於神奈川県立歴史博物館、7月20日）  
 特別展「北からの開国—海がまもり、海がつないだ日本—」 「学芸員による展示解説」（於神奈川県立歴史博物館、7月13日～19日、25日、31日、8月12日、18日、24日、30日）  
 教員向け講座「教科書だけでは学べない神奈川の歴史」（於神奈川県立歴史博物館、7月30日）  
 教員のための博物館講座「教科書だけでは学べない神奈川の歴史」（於神奈川県立歴史博物館、8月7日）  
 ミュージアムトーク「今月の逸品」（「ペリー来航絵巻」講座、2月19日）  
 c 出張講座「日本の開国と異文化交流」（小田原市立早川小学校、10月17日）  
 出張講座「日本の開国と異文化交流」（横浜女学院中学校、1月16日、17日）
- (キ) 歴史研究面においては、「19世紀中葉の国際秩序の変容」をメインテーマに研究を継続するとともに、今年度は特に以下の課題について研究を進めた。  
 7月に開催した『北からの開国—海がまもり、海がつないだ日本—』展準備作業の一環として関係資料に関する資料調査を前年度から継続して行った。  
 科研費「開国期・危機的状況下における知識人の情報活動と意思決定過程に関する基礎的研究」にかかる研究。  
 博物館学全般における研究動向の把握。

角田 拓朗（主任学芸員・美術・近代）

- (ア) a 『絵師五姓田芳柳義松親子の夢追い物語』、pp. 1-147、三好企画、4月再版  
 a 「在英在仏五姓田派作品調査」（『鹿島美術研究』年報第36号別冊、pp. 613-617、鹿島美術財団、11月）  
 a 「サマレーズ・コレクションの五姓田派作品群について」（『近代画説』第28号、pp. 132-149、査読有、明治美術学会、12月）  
 b 「モノ作りのゆくえ」（『杜』、第46号、pp. 5-6、東京藝術大学美術学部杜の会、6月）  
 b 「美人画研究会誌発刊の辞」「『展覧会レビュー』いま、なぜ、美人画なのか」（『美人画研究会誌 紫陽花』創刊号、pp. 2-4、28-34、美人画研究会、6月）  
 b 「『築地明石町』観覧記」（『美人画研究会誌 紫陽花』第2号、pp. 31-35、美人画研究会、12月）
- (イ) 「横浜居留地と近代日本美術—ワグマン、五姓田派、横浜絵—」（第12回外国人居留地研究会2019年横浜大会 第2回横浜大会、横浜外国人居留地研究会/外国人居留地研究会全国会議、於波止場会館、12月8日）
- (ウ) 企画展図録『おかえり「美しき明治」』（コラム「チャールズ・ワグマンとその弟子たち」府中市美術館、9月、）
- (エ) 「ガンジー島の五姓田義松」（『芸術新潮』第70巻9号、pp. 124-129、新潮社、9月）
- (オ) 明治美術学会監事、松戸市美術品等選定委員会委員、馬車道日曜画家展審査委員
- (カ) a 文化庁主催第11回企画展示セミナー「平常陳列の活性化と調査・研究—歴史系—」（於東京国立博物館、6月25日）  
 c 出張講座「近現代の日本美術と社会」（フェリス女学院高等学校、12月17日）

- (キ) 在外五姓田派作品に関する調査研究を実施し、その成果公開につとめた。あわせて令和2年度開催及び3年度開催の特別展の事前調査を実施し、特に近現代陶磁器を中心に調査研究を進めた。

(現代)

武田 周一郎 (学芸員・歴史)

- (ア) a 「武蔵国鶴見寺尾郷絵図と拠点」 (『拠点にみる相武の地域史—鎌倉・小田原・横浜—』、pp. 121-138、地方史研究協議会、10月)  
「『神奈川県鳥瞰図』の作成過程と利用の実態」 (『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第46号、pp. 41-60、10月)
- (イ) 日本地図学会大会「鳥瞰図を題材とした自然系・人文系博物館による協働研究—吉田初三郎の『神奈川県鳥瞰図』を事例として—」 (新井田秀一と共同発表、於東京都産業技術研究センター、7月16日)
- (ウ) 特別展図録『掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜』 (総説・資料解説分担執筆、神奈川県立歴史博物館、3月)
- (エ) 「井伊直弼と横浜 ②高さ1メートル堂々たる存在感」 (『毎日新聞』朝刊、2月27日)  
「井伊直弼と横浜 ⑤復興表す身近な『他者』」 (『毎日新聞』朝刊、3月31日)
- (オ) 首都圏形成史研究会常任委員、歴史地理学会編集委員
- (カ) a 鶴見歴史の会講座「『武蔵国鶴見寺尾郷絵図』について」 (於鶴見中央コミュニティハウス、7月27日)  
横浜市八聖殿郷土資料館歴史講座「神奈川県と御用邸」 (於横浜市八聖殿郷土資料館、10月19・30日)
- b ミュージアムトーク「今月の逸品」 (「川崎市鳥瞰図にみるかわさきのにぎわい」、7月17日)  
博物館入門講座「実録!学芸員の日常」 (9月28日)
- (キ) 主に館蔵現代資料に関する調査を進めるとともに、総合研究や科研費の研究課題に取り組んだ。また、特別展「井伊直弼と横浜」に関する調査を行った。

(民俗)

新井 裕美 (学芸員)

- (ア) a 「寒川神社と国府祭」 (『国府祭 相模国府祭調査報告書』、須藤 格氏と共著、pp. 157-190、大磯町教育委員会、3月)
- (オ) 大磯町国府祭町委託調査員、相模民俗学会運営委員
- (カ) b ボランティア専門研修 (3月9日)  
ミュージアムトーク「今月の逸品」 (「大山の木地師」、1月22日)
- (キ) 「南関東地方における湯立神楽の基礎的研究」の調査を行った。神奈川県・東京都・千葉県で行われている湯立神事を実見し、各地の祭礼の内容を比較・分析を行った。  
令和2年度特別展「かながわの正月」にかかる資料調査及び県内各地で行われている行事を調査した。また、館蔵の民俗資料の整理を行った。

三浦 麻緒 (非常勤学芸員)

- (カ) b ミュージアムトーク「今月の逸品」 (「さまざまな講」、4月17日)  
子ども向け体験教室「干支(えと)の張り子を作ろう!」 (12月22日)
- (キ) 館所蔵の民俗資料の整理。相模原市(旧津久井郡)の神楽と地芝居衣裳の調査研究。科研費の研究分担者として神奈川県、東京都、千葉県の湯立神事の調査研究を行った。

(その他)

小松 百華 (非常勤学芸員・美術)

- (ア) c 「海北家所蔵『覚書』にみる海北派絵師の動向」 (『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第46号、pp. 61-72、10月)
- (ウ) 「関連浮世絵師生没年・作画期年表」 (『横浜開港160年 横浜浮世絵』、pp. 261、神奈川県立歴史博物館、4月)

- (キ) 海北友松と海北派絵師についての基礎的研究に取り組んだ。

中村 茉貴（非常勤資料整理員・美術・近現代）

- (ウ) 作品資料集刊行記念特別展『島崎清海と芸術家とわたし』（コバルト画房、3月）
- (キ) 戦後の美術教育に影響力を持っていた蕨画塾創設者の長谷秀雄と創造美育協会の事務局本部長を務めた島崎清海の資料調査を行った。

#### 4 資料収集・修理・保管・利用

〈凡例〉

ア 購入、イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換、ウ 修理、エ 貸出、オ 特別利用、カ その他

##### (1) 考古資料

イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換  
(寄贈)

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量
1	ナイフ形石器 他	個人 (神奈川県在住)	令和元年9月19日	2件45点
合計				2件45点

(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	壺 (神奈川県立横須賀高等学校裏山遺跡) 他	平成7年2月10日	-	1件3点
2	灰釉陶器碗 (上浜田遺跡) 他	平成30年4月12日	-	108件237点
合計				109件240点

エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	小林幸雄氏コレクション	横浜市鶴見区役所・横浜市末吉地区センター1Fロビー	展示	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日	1件72点
合計					1件72点

オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	湯河原町吉浜出土 子持ち勾玉	個人 (神奈川県在住)	熟覧 メモ 撮影	令和元年8月14日	1件1点
合計					1件1点

##### (2) 歴史資料

ア 購入

No.	資料名	概要	規格・寸法	数量
1	豊臣秀吉朱印状	(天正18年)7月17日	21.4×54.5 cm	1件1点
合計				1件1点

イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換  
(寄贈)

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量
1	岸敬二郎関係資料	個人 (神奈川県在住)	平成31年4月17日	27件61点
2	川名繁関係資料	個人 (神奈川県在住)	平成31年4月17日	20件228点
3	近江家関係資料	個人 (神奈川県在住)	令和元年6月19日	2件6点
4	冷蔵庫 SS-1900 他	株式会社東芝 東芝未来科学館	令和元年9月14日	4件4点
5	腕用ポンプ 他	横浜市消防局	令和元年10月16日	4件5点
6	石井弥八旧蔵資料	個人 (神奈川県在住)	令和元年10月16日	5件5点
7	日本開港百年記念切手シート他	個人 (神奈川県在住)	令和2年3月20日	3件3点
8	上杉憲寛感状 他	個人 (神奈川県在住)	令和2年3月24日	1件3点

9	茅ヶ崎市出土板碑関係	個人（神奈川県在住）	令和2年3月24日	1件4点
合計				65件313点

(寄託)

No.	資料名	当初寄託年月日	数量	
1	帝政ロシア製32ポンド砲(旧居留地90番出土の大砲)	平成16年2月1日	1件1点	
2	長谷川氏所蔵文書	平成23年2月17日	1件22点	
3	岩松家文書	平成25年2月1日	210件350点	
4	稲葉正則書状 他	平成30年7月1日	1件2点	
5	瀬戸 灰釉劃花木葉文梅瓶 他	令和元年10月16日	3件4点	
合計				216件379点

(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	烏帽子形兜	昭和43年10月22日	-	1件1点
2	古瀬戸瓶子	昭和45年9月1日	-	1件1点
3	刀片(三増合戦場出土)	昭和47年6月10日	-	1件1点
4	関山家文書	昭和47年9月8日	-	1件24点
5	久崎家資料	昭和47年9月13日	-	1件197点
6	瀬戸 四耳壺 他	昭和48年7月1日	-	1件3点
7	渥美 灰釉壺 他	昭和48年10月1日	-	1件6点
8	本多家文書	昭和49年3月1日	-	1件953点
9	御用取締りのぼり	昭和49年4月26日	-	1件1点
10	嘆願書	昭和52年3月23日	-	1件1点
11	生麦村新地実測図(神奈川県令中島信行宛)	昭和52年12月1日	-	1件5点
12	舊荻野山中建物之繪図 他	昭和53年12月1日	-	1件19点
13	寺井家文書	昭和55年2月15日	-	1件16点
14	散弾銃	昭和55年4月1日	-	1件1点
15	羽柴秀吉知行充行状 天正十一年六月五日付	昭和58年5月20日	-	1件1点
16	平本家文書	昭和58年10月14日	-	1件1,309点
17	黒船来航絵巻	平成4年5月15日	-	1件1点
18	日月鳳凰螺鈿鞍	平成4年11月1日	-	1件1点
19	旧小田原城天守閣模型	平成5年12月15日	-	1件1点
20	辰御年貢可納割付之事 他	平成6年7月20日	-	1件2点
21	享保十四年九月酉之内検見引牒 他	平成6年10月7日	-	1件22点
22	中国青磁碗 線描き蓮弁文 他	平成18年6月1日	-	1件50点
23	茅ヶ崎市出土板碑関係(梵字板碑、破片)	平成20年7月1日	-	1件4点
24	旧横浜正金銀行本店本館改修工事関係資料 一括	平成20年9月1日	-	1件1点
25	旧横浜正金銀行本店本館彩色立面図 他	平成22年10月15日	-	1件119点
26	銅造 明治天皇立像 他	平成23年12月15日	-	1件3点
合計				26件 2,743点

## エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	足利尊氏像	群馬県立歴史博物館 第98回企画展「大新田氏展」	展示	平成31年4月27日 ～令和元年6月16日	3件3点
	県重文 太刀 銘備前国長船住 左近将監長光造 附 黒革包太 刀拵				
	間一族の元弘の板碑（複製）				
2	亜墨利加船渡来横浜之真図	下関市立歴史博物館 特別展示『下関の鉄道物語』	展示	令和元年7月20日 ～9月23日	3件3点
	ペリー献上蒸気機関車（模型）				
	御幸臨鉄道開業縦観券				
3	重要文化財 鉄二十四間四方白 星兜鉢	福岡市博物館 「侍展～もののふの美の系譜 ～」	展示	令和元年9月7日 ～11月4日	2件2点
	重要文化財 鉄二十八間四方白 星兜				
4	黒船来航絵巻	横浜美術館 開港160年《ペルリ提督横浜上 陸の図》をめぐって	展示	令和元年9月21日 ～11月10日	3件3点
	無款 黒船絵巻				
	ペリー肖像（『日本遠征石版画 集』より）				
5	鉄黒漆塗二十八間筋兜	岩手県立博物館 第70回企画展「よろい・かぶと・ かたなの世界」	展示	令和元年9月21日 ～11月24日	2件2点
	鉄黒漆塗四十八間筋兜鉢				
6	北条氏規掟書	公益財団法人 馬事文化財団 企画展「名馬と武将」展	展示	令和元年10月5日 ～12月8日	2件2点
	北条氏規書状				
合計					15件15点

## オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	北条氏政書状(永禄9年)閏8月 22日	栃木県立文書館	熟覧 簡易 撮影	令和元年5月22日	3件3点
	徳川家康書状写(天正11年)7 月5日				
	北条氏直書状(天正13年)正月 11日				
2	夷匪犯境録	個人研究調査	閲覧	令和元年10月16日	1件5点
3	桜井家文書	個人研究調査	熟覧 撮影	令和2年1月12日	1件30点
4	『桜井家文書』 No10 北条氏 直感状(天正17年カ)2月2日 他	埼玉県立嵐山史跡の博物館	熟覧 撮影	令和2年1月31日	3件3点
	『桜井家文書』 No30 我等は しりめぐり之覚				
	『北条家文書』 No11 北条氏規掟書(天正8年 カ)6月26日				
5	Illustrated London News 1862 vol. 1	長崎歴史文化博物館	閲覧 撮影	令和2年2月26日	12件13点

	Illustrated London News 1867 vol. 1				
	Illustrated London News 1867 vol. 2				
	Illustrated London News 1872 vol. 2				
	Illustrated London News 1873 vol. 1				
	Illustrated London News 1878 vol. 1				
	別段風説書（嘉永4年・嘉永5年）				
	『横浜諸会社諸商店之図』「陶器製造所 眞葛香山」				
	高浮彫牡丹眠猫覚醒蓋付水指（田邊コレクション）				
	高浮彫風神雷神花瓶（田邊コレクション）				
	高浮彫風神雷神花瓶（田邊コレクション）				
	紫釉盛絵杜若花瓶（田邊コレクション）				
6	シャスポー銃	個人研究調査	閲覧 撮影 掲載	令和2年3月17日	1件1点
7	円覚寺舍利殿模型 円覚寺仏殿模型 小田原城天守閣模型 横浜正金銀行本店模型 相模国分寺模型 内海家住宅模型 横浜居留地模型	個人研究調査	閲覧 撮影 掲載	令和2年3月17日	7件7点
8	慶応元年「横浜商人手控」 万延元年「乍恐以書付奉願上候」 万延2年「願書写」 万延元年～文久元年「横浜出店願書写」 慶応元年「商方掛役割帳」 文久元年「江戸糸問屋江掛合仕対請いたし候手續御会所ヨリ御尋ニ付申立候書面之写」 文久元年「江戸糸問屋江掛合同始末書町会所江差出候控」 万延元年「願書本文之廉書写」 安政6年「横浜御開港御触書并願書控」 万延元年「五ヶ町議定連判帳」 万延元年「乍恐以書付奉願上候」	個人研究調査	閲覧 撮影	令和2年3月25日	15件16点

	万延元年「願書写」				
	万延元年「商法取立方之儀奉願 上候処心得方御尋ニ付恐存知奉 申上候書付（五ヶ町商人供より 御運上所）」				
	万延元年「差出一札写 弁天通 商店」				
	慶応3年「左右田萬覚帳」				
合計					43件78点

### (3) 美術資料

#### ア 購入

No.	資料名	概要	規格・寸法	数量
1	三代歌川広重下絵画稿集	画帖三冊 両面貼付 紙本墨 画、墨一色摺ほか 幕末～明治時代	各縦37.6cm 横25.8cm	1件3点
2	橋口五葉 盆持てる女	多色木版画 私家版 大正9年	縦38.3cm 横25.2cm	1件1点
3	橋口五葉 紅筆を持てる女	多色木版画 私家版 大正9年	縦38.5cm 横27.0cm	1件1点
4	橋口五葉 夏衣の女	多色木版画 私家版 大正9年	縦43.8cm 横27.9cm	1件1点
合計				4件6点

#### イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換

##### (寄贈)

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量
1	下村観山 双六 他	個人(神奈川県在住)	令和元年7月18日	1件4点
合計				1件4点

##### (寄託)

No.	資料名	当初寄託年月日	数量
1	重要文化財 木造他阿真教坐像	平成17年5月24日	1件1点
2	東帯天神像 他	平成21年4月24日	9件9点
3	祖栄筆 柳に鷺図 他	平成21年8月1日	27件36点
4	真葛焼(渡蟹水盤 他)	平成22年3月1日	28件37点
5	潘園図 右都御史筆	平成25年7月2日	1件1点
6	齋藤俊吉氏旧蔵作品群	平成27年6月18日	1件63点
7	仁阿弥道八作焼締急須	平成27年6月26日	1件9点
8	一遍他阿真教像 他	平成28年3月25日	2件2点
9	山崎勢威子肖像	平成31年3月1日	1件1点
10	高橋広湖筆 松 他	平成28年5月20日	19件19点
11	絵瀬戸草文輪花皿 他	平成28年6月24日	7件49点
12	近代絵画作品群	平成29年3月1日	37件37点
13	鬮鶏下絵(下村観山) 他	平成29年5月1日	11件14点
14	本多錦吉郎 鍾馗図	平成30年4月1日	1件1点
15	大倉孫兵衛旧蔵 錦絵画帖 他	平成30年4月1日	2件598点
16	二河白道図 他	平成31年3月8日	4件4点
17	初代五姓田芳柳 婦人像 他	平成31年4月1日	15件16点
18	伝周文筆 山水図	平成31年4月1日	1件1点
19	祖栄筆 芦葉達磨図	平成31年3月27日	1件1点

20	僧形像頭部・誕生釈迦仏立像	平成31年4月10日	2件2点
21	新生紙パルプ商事株式会社寄託作品	平成31年5月31日	49件55点
22	女立像	令和元年6月19日	1件1点
23	鏝 奈良利寿作	令和元年11月15日	1件1点
24	蝶耳人物花鳥図香炉 他	令和元年11月15日	5件7点
25	極彩色鳳凰花瓶	令和元年11月15日	1件2点
合計			394件 1,270点

(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	県重要文化財 紙本墨画淡彩十六羅漢図 他	昭和44年3月1日	-	2件17点
2	県重要文化財 絹本着色 熊野権現影向図	昭和44年3月1日	-	1件1点
3	県重要文化財 絹本着色 両界曼荼羅図 他	昭和44年7月1日	-	1件37点
4	常滑印花文壺 他	昭和48年3月1日	-	1件12点
5	東海道図屏風	昭和49年7月1日	-	1件1点
6	源氏物語図屏風	昭和50年3月10日	-	1件1点
7	絹本着色 七星如意輪曼荼羅図 他	昭和50年6月1日	-	1件25点
8	横浜浮世絵	昭和52年1月10日	-	1件473点
9	張交屏風	昭和52年7月15日	-	1件1点
10	県指定重要文化財 木造薬師如来坐像	昭和56年2月25日	-	1件1点
11	大小曆コレクション	昭和59年4月1日	-	1件40点
12	鴉図(以天宗清) 他	昭和63年7月7日	-	1件2点
13	短刀(チャールズ・ワーグマン所用)	平成2年8月25日	-	1件1点
14	江島金沢八景図屏風 他	平成4年12月1日	-	1件4点
15	本牧風景 他	平成5年6月15日	-	1件2点
16	鶴岡八幡宮境内出土品の内 板草履の芯 他	平成7年3月1日	-	1件19点
17	仁清意鶏形香合 他	平成12年3月1日	-	1件3点
18	俵藤太絵巻	平成12年5月1日	-	1件5点
19	好色十二候 他(喜多川歌麿)	平成12年12月20日	-	1件12点
20	箱根権現縁起絵巻 付 納入箱	平成13年8月1日	-	1件2点
21	賀茂真淵筆 伊勢物語古意 6冊 他	平成28年9月20日	-	12件19点
合計				34件679点

ウ 修理

No.	資料名	(備考)	数量
1	刀	(赤羽刀No.2014、官報No.2141、銘「相州住伊勢大掾綱廣」、江戸時代初期)	1振
2	刀	(赤羽刀No.2016、官報No.2143、銘「相州住伊勢大掾綱廣」、江戸時代初期)	1振

エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用 方法	利用期間	数量
1	農家耕作之図	渋谷区立松濤美術館 特別展「女・おんな・オンナ～浮世絵にみる女のくらし」	展示	平成31年4月6日 ～令和元年5月26日	12件12点
	今様姿 流行狂画だんまり				
	閨中道具八景 台子乃夜雨				
	いせ古市牛車楼 小瀧 ちとせ 古鷄				
	黒地歌留多散らし衣裳の遊女				
	かみこやしなひ草 第五				
	風流七ツ目絵合				
	松葉屋内歌之助 喜瀬川				
	双筆五十三次 品川				
	江戸名所四季の眺 御殿山花見 之図				
	無題（料理をする母娘）				
江戸新吉原八朔白無垢の図					
2	宝珠文種子鉦架	独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館 特別展『国宝一遍聖絵と時宗の 名宝』	展示	平成31年4月13日 ～令和元年6月9日	2件2点
	木造真教坐像（重要文化財）				
3	花鳥図 賢江祥啓筆	三井記念美術館 特別展「鎌倉禅林の美 円覚寺 の至宝」	展示	平成31年4月20日 ～令和元年6月23日	5件5点
	春景山水図 祥啓筆				
	芙蓉小禽図 雪村筆				
	竹に白鷺図 雪村筆				
	夢窓疎石像 月江正印賛 光明 寺所蔵				
4	平家物語図屏風 六曲一隻	公益財団法人 徳川美術館 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫 2019年度夏季特別展「合戦図-も ののふたちの勇姿を描く」	展示	令和元年7月27日 ～9月8日	3件9点
	平家物語（奈良絵本） 全24冊 のうち第8、17、18、20、21、22 冊				
	堀川夜討絵巻 狩野洞雲益信筆 二巻				
5	名所江戸百景 大はしあたけの 夕立	富山県美術館 「日本の美 美術×デザイン- 琳派、浮世絵版画から現代～」	展示	令和元年8月10日 ～10月20日	5件5点
	舟中髭を抜く朱達磨と舟を漕ぐ 美人				
	富嶽三十六景 遠江山中				
	百人一首うはかゑるとき 源宗于 朝臣				
霧中ノ山水					
6	紙本墨画淡彩 達磨図 伝祥啓 （祥啓派）筆	広島県立美術館 入国400年記念「広島浅野家の 至宝—よみがえる大名文化—」	展示	令和元年9月10日 ～10月20日	1件1点
7	高浮彫桜ニ群鳩大花瓶	神奈川新聞社 企画展「幻の横浜焼・東京焼」	展示	令和元年9月25日 ～令和3年6月6日	6件8点
	高浮彫長命葎採取大花瓶				
	高浮彫四窓遊蛙獅子鈕蓋付壺				
	高浮彫鳴遊泳ランプ台				

	釉下彩紫陽花図花瓶				
	高取釉高浮彫蟹花瓶				
8	やよい 雛まつり 汐干 雛形若菜の初模様 丁字屋内ひな鶴 青楼古今発句合 おしゑ形 枕獅子 門松の縁先 羽根つき 青楼名君自筆集 あふぎや 滝川 花扇 青楼名君自筆集 角玉屋 濃紫花紫 若那屋内しら玉 かをる とめき 狐拳三美人 青楼七小町 玉屋内明石 うら次 しま野 絵兄弟 梅川忠兵衛 東風俗五節句合 三月 青楼美人六花仙 丁字屋雛鶴 福人略宝合 無題 (七美人船上の管絃遊び)	町田市立国際版画美術館 町田浮世絵プログラム2019「浮世絵黄金時代の美人画」	展示	令和元年10月5日 ～11月24日	16件16点
9	釉下彩岩二竹図蓋付壺	国立西洋美術館 近代ギリシャ文化博物館「明治の工芸／平成の工芸—150年の時代を超えた日本のわざと装飾の美—」	展示	令和元年11月13日 ～令和2年1月12日	1件1点
10	北条氏政像 [複製] 北条氏直像 [複製]	茨城県立歴史館 特別展「佐竹氏—800年の歴史と文化—」	展示	令和2年2月8日 ～3月22日	2件2点
合計					53件61点

#### オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	鎌倉彫葡萄文台子	個人研究調査	熟覧 メモ 撮影	令和元年6月4日	1件1点
2	高砂 松本交山	早稲田大学会津八一記念博物館	熟覧 メモ 撮影	令和元年7月26日	1件1点
3	架鷹図屏風 (六曲一双) 狩野元俊	馬の博物館	熟覧 メモ 撮影	令和元年8月29日	1件2点
4	北野天神縁起絵巻	個人研究調査	熟覧 撮影	令和2年2月13日	1件6点
5	菩薩半跏像 附) 胎内納入品(布)	個人研究調査	熟覧	令和2年2月24日	1件1点

	製五臓六腑等) (神奈川県指定重要文化財)		メモ 撮影		
				合計	5件11点

#### (4) 民俗資料

##### イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換

###### (寄贈)

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量	
1	近江家関係資料	個人 (神奈川県在住)	令和元年9月27日	66件66点	
2	七五三の着物 (女兒)	個人 (神奈川県在住)	令和2年2月28日	1件2点	
				合計	67件68点

###### (寄託)

No.	資料名	当初寄託年月日	数量	
1	ダイカイ 他	平成27年5月14日	2件3点	
			合計	2件3点

###### (借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量	
1	お食初め膳 他	昭和46年10月23日	-	1件3点	
2	燭台	昭和47年3月6日	-	1件1点	
3	長持 他	昭和47年3月6日	-	1件2点	
4	お歯黒さし 他	昭和47年3月8日	-	1件2点	
5	お歯黒の道具	昭和47年3月11日	-	1件1点	
6	ミノ	昭和47年7月11日	-	1件2点	
7	天狗の面 他	昭和48年2月27日	-	1件3点	
8	帳場格子 他	昭和48年3月2日	-	1件15点	
9	結納樽	昭和48年4月1日	-	1件1点	
10	お馬板、ツノダル	昭和48年8月20日	-	1件3点	
11	鏡台と鏡 他	昭和49年4月26日	-	1件4点	
12	張子面木型	昭和51年6月19日	-	1件7点	
13	獅子頭 他	昭和54年3月1日	-	1件11点	
14	婚礼用具	昭和54年3月1日	-	1件1点	
15	足踏み脱穀機	平成6年4月15日	-	1件2点	
16	渡辺紳一郎時計コレクション	平成28年7月1日	-	1件22点	
				合計	16件80点

##### ウ 修理

No.	資料名	備考	数量
1	藤野町浄瑠璃人形	与勘平、孔明、検非違使、三番叟、ふけ源太、かぶ	6点

##### オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	カセドリの道具	横浜市緑区役所地域振興課	熟覧 撮影 掲載	令和元年10月29日	1件10点

2	「祇園船」(動画) 他	公益財団法人 日本海事科学振興財団 船の科学館	閲覧	令和元年10月29日	2件11点
	「祇園船」祭礼(静止画)				
合計					3件21点

(5) 写真資料

令和元年度写真撮影資料

ア 特別展図録用

横浜浮世絵  
北からの開国  
真教と時衆  
井伊直弼と横浜  
明治錦絵×大正新版画  
相模川流域のみほとけ  
かながわの正月  
早雲寺

イ コレクション展示用

桜井家文書

ウ 特別陳列用

富士山宝永噴火

(6) 資料の燻蒸等

IPM(総合的病害虫管理 Integrated Pest Management)に基づき、日常的には「予防」の観点から資料保存活動を進めている。年に2回、文化財害虫調査ならびに空中浮遊菌調査を実施し、文化財害虫の生息状況やカビの発生危険度の把握に努めている。

本年度は展覧会出品予定資料および新収蔵資料等に対し、令和元年12月および令和2年3月に炭酸ガス燻蒸を行った。

(7) その他の資料

ア 図書

令和元年度図書資料の状況は次のとおりである。全国の博物館・美術館等からの寄贈も多く、当館の貴重な資料として活用されている。

受入種別	受入			除籍数	総数	ライブラリー公開数
	購入	寄贈	合計数			
図書(冊)	4	545	549	27	21,088	4,554
図録(冊)	0	457	457	3	16,853	620
逐次刊行物(タイトル)	23	244	—	17	2,515	83

※逐次刊行物はタイトル数で、寄贈は新規のみの数値。誌名変更等による新規書誌作成成分を含む。

イ 写真

展示・調査研究資料として、収蔵資料を中心に撮影したフィルム121,250件とデジタルカメラデータ33,626件を保存し、データベース化するとともに、写真の特別利用として貸出しを行っている。

特別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	13	15	22	18	14	24	24	21	16	16	22	20	225
点数	139	69	39	27	23	41	51	44	62	22	42	38	597

## ウ 情報システム

### (ア) システム整備の目的と背景

- a 学習の支援
- b 高度な知的ニーズへの対応
- c 博物館活動の活性化、効率化
- d 研究活動の高度化
  - (a) 各種アプリケーションの利用
  - (b) 博物館が所有する情報の活用
- e 情報公開

博物館の再編整備の方向（「県立博物館整備構想に関する提言」昭和63年度）

- (a) 高度情報化社会における自然・文化の情報センター
- (b) 映像資料等、新しい形態の資料の収集・保存と活用の拠点
- (c) 内外の博物館、学習文化施設等とのネットワークの拠点

### (イ) システム開発と運用

- a システム基本設計・詳細設計 平成5年度
- b システム運用開始 平成7年度
- c システム更新 平成13、18、23、28年度

### (ウ) 稼動しているシステム（「デジタルミュージアム」）の内容

#### a 展示情報システムの内容

ミュージアムライブラリーに設置された2台の来館者用パソコンで提供。一部の資料については、高精細の拡大画像も提供。従来、館内利用に限定されていた展示情報システムは、当館のWebページに掲載され、利用者が自宅や学校で閲覧可能（タイトルのうち、No2 絵馬、No5 水墨画、No.12 収蔵コレクションは除く。）

No.	タイトル	内容
1	浮世絵	博物館所蔵の約7,000点ある浮世絵の中から、浮世絵の歴史、神奈川を描いた浮世絵、横浜浮世絵、著名な浮世絵師たち、一枚の絵から見る江戸時代の風俗など、テーマごとに選択した230点の浮世絵を紹介。
2	絵馬	神奈川県でよく見ることが出来る絵馬や珍しい絵馬など125点を紹介。
3	関東大震災	震災時の惨状等を伝える写真資料70点を紹介。
4	古地図・絵地図	当館収蔵の古地図の中から50点を紹介。館内端末では拡大画像により、細部まで見ることが可能。
5	水墨画	平成10年度に開催した水墨画の特別展に出品された作品の中から代表的な作品85点を紹介。
6	横浜正金銀行	かつて世界三大為替銀行の一つに数えられた横浜正金銀行の写真資料221点を紹介。
7	眞葛焼	かつて世界に名を知られた横浜の焼き物の中から46点を紹介。
8	鎌倉彫	館蔵品の鎌倉彫の中から32点を紹介。
9	後北条氏関係文書	戦国大名北条氏の多様な文書の世界を人物などととも118点を紹介。
10	東海道分間絵図	東海道の情景を描いた道中案内記(1件5冊)を紹介。拡大画像により、細部まで見ることが可能。

11	県有形民俗文化財 職人の道具コレクション	神奈川県指定有形民俗文化財「神奈川の職人の道具コレクション」(17 職種 1,982 点)のうち、大山木地師、小田原物差職人、下駄職人、傘職人の道具など、338 点を紹介。
12	収蔵コレクション	収蔵データベースの一部について、概要を一覧形式で提供する。 考古：206 点、中世文書 96 点、彫刻：14 点、中世絵画 80 点、 浮世絵：288 点、近代歴史資料 260 点、近代絵画 156 点、民俗 306 点
※この他に、神奈川県立生命の星・地球博物館が作成・提供している「神奈川の自然」「恐竜」「酒井コレクション細密画」「図書・雑誌検索」も閲覧が可能		

b 業務システムの内容

(a) 収蔵資料管理システム：収蔵品管理機能、画像登録機能、受入管理機能、特別利用管理運用機能、各種帳票ラベル出力機能

(b) 図書文献管理システム

(c) システム構成

a 概要

(a) サーバ用OS：Red Hat Enterprise Linux、Windows Server

(b) クライアント用OS：Windows8.1、macOS

b 設置機器

(a) 情報処理室・電源室

収蔵システムサーバ 1 台、Web サーバ 1 台、展示情報用サーバ 1 台、  
アップデートサーバ 1 台、図書サーバ 1 台、CMSサーバ 1 台、作業用パソコン 2 台

(b) ミュージアムライブラリー

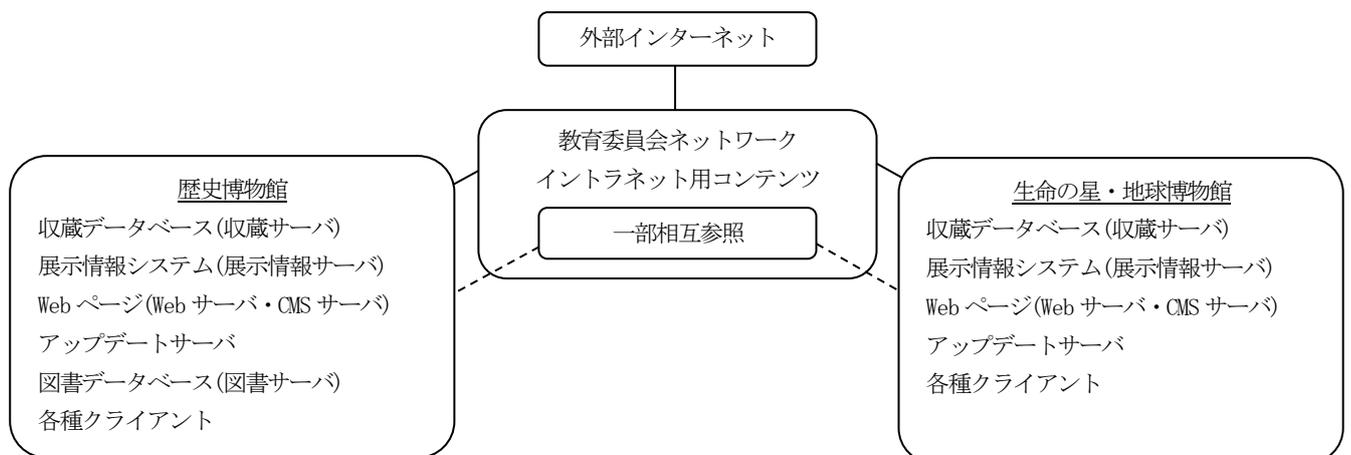
来館者用パソコン 2 台、レファレンス用パソコン 2 台

(c) 展示機材倉庫 (印刷室)

画像入力用パソコン 2 台

(d) 学芸部室・学芸部各資料整理室・管理課室・企画情報部室・図書資料整理室・写真室・暗室  
各室作業用パソコン 計 38 台

(d) 歴史博物館システム機器構成図



(カ) ホームページアクセス件数 (再掲)

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
HP	100,240	123,008	114,540	104,793	125,857	93,079	117,728	108,157	103,571	110,981	109,771	92,451	1,304,176

参考 (内数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
デジタル ミュージアム	1,242	1,446	2,187	1,173	1,235	977	1,052	1,026	1,094	1,123	1,200	864	14,619

## 5 展示・教育普及・学習支援

### (1) 常設展

ア 当館の常設展示は「文化の交流と変容」という基本テーマに基づき、「かながわの文化と歴史」について、五つの時代に分け、それぞれのテーマのもとに、人々の生活や信仰、政治や経済の変化、外来文化の影響などを、さまざまな角度からとらえ、歴史的視点で展開している。

#### テーマ1 さがみの古代に生きた人びと

- ・大地に生きる狩人
- ・海への進出
- ・米づくり、はじまる
- ・古墳を築く
- ・都とさがみの国

#### テーマ2 都市鎌倉と中世びと

- ・源頼朝と東国武士団
- ・戦国大名後北条氏
- ・掘り起こされた鎌倉
- ・唐物とその影響
- ・民衆と仏教

#### テーマ3 近世の街道と庶民文化

- ・宿場と関所
- ・庶民信仰と名所めぐり
- ・村の支配と生活
- ・相武の産物と江戸

#### テーマ4 横浜開港と近代化

- ・蒸気船が導いた新たな時代
- ・世界へ開かれたみなとYOKOHAMA
- ・文明開化の音
- ・近代化と神奈川
- ・横浜浮世絵に見る神奈川
- ・横浜正金銀行

#### テーマ5 現代の神奈川と伝統文化

- ・関東大震災を越えて
- ・昭和恐慌と社会変化
- ・戦時体制と敗戦
- ・占領から講和へ
- ・高度経済成長と環境の変化
- ・メディアコミュニケーション
- ・変貌する町と村
- ・イエと暮らし
- ・くらしの中の祈り
- ・なりわいと儀礼
- ・伝承される技術と芸能

### イ 常設展の展示替えと「トピック展示」の実施

常設展の展示資料のうち実物資料については、資料保存の観点から定期的な展示替えを行っており、資料整理休館日を中心に350件以上の展示替えを実施した。

また、特定の小テーマによる「トピック展示」を随時行っており、「関東足利氏」（テーマ2）、「葛飾北斎が描いた神奈川」（テーマ3）、二代歌川広重「諸国名所百景」第一弾・第二弾・第三弾（テーマ3）、「開港期の美術」（テーマ4）、「ガンジー島の五姓田派」（テーマ4）を実施した。

### ウ 展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」

空調設備等改修工事終了に伴い再開館した平成30年度に、スマートフォンを使用し、音声ガイドにも対応可能な展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を導入し、常設展および特別展で活用している。日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語の文字解説および県内の高校生による日本語・英語の音声解説を収録している。

令和元年度には、神奈川県立平塚盲学校と連携して、視覚障がいのある方がイメージを喚起しやすい文字解説を作成するとともに、その文字解説を放送部に所属する県内の高校生が読み上げる音声解説の提供を開始した。

## (2) 特別展

### ア 「横浜開港 160 年 横浜浮世絵」展

会 期：4月27日(土) ～ 6月23日(日) ※5月1日は観覧無料。  
 主 催：神奈川県立歴史博物館、公益社団法人川崎・砂子の里資料館  
 後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK (テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMヨコハマ、J:COM

展示資料件数：35 件

入 場 者 数：16,107 名 (有料8,455 名、無料7,652 名)

担 当：主任学芸員 桑山 童奈

概 要：2019 年が横浜開港 160 年となることから、当館と公益社団法人川崎・砂子の里資料館と共同で企画した「横浜浮世絵」を紹介する展覧会。横浜浮世絵とは安政 6 (1859) 年の横浜開港以後明治初期まで出版された、横浜の町や来日した外国人たち、彼らがもたらした文明開化の産物など、当時の人々の好奇心の的であったものが描かれている。当館では常設展示において常に横浜浮世絵を紹介しているが、この 160 年にあたり当館と同様にコレクションが充実している川崎・砂子の里資料館のコレクションを中心に、前期・後期で作品を総入れ替えし、約 850 点とされる横浜浮世絵のうち約 330 点を紹介した。

関 連 行 事：・記念講演会「私と横浜」5月12日(日) (同日、午前・午後2回実施)  
 ・連続講座「横浜浮世絵とはなにか」  
 5月11日(土)、5月25日(土)、6月8日(土)、6月22日(土)  
 ・現地見学会「横浜浮世絵の場所を巡る」  
 5月15日(水)、6月5日(水)  
 ・子ども向け体験教室「GW! 博物館で遊んで学ぼう!」  
 5月4日(土・祝)、5月5日(日・祝)、5月6日(月・休)  
 ・学芸員による展示解説  
 4月28日、29日、5月2日、4日、5日、6日、19日、26日、  
 6月1日、2日、9日、11日、16日、23日 ※6月23日のみ当館地下講堂にて実施

出 品 目 録：(凡例) No、資料名、絵師名、年代、所蔵

1 (賀奈川沖本壺之図) 無款(北斎) 文化8~9年 (1811~1812) 頃 川崎・砂子の里資料館	江戸時代後期 丹波コレクション
2 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏 北斎 天保2年(1831) 頃 丹波コレクション	12 (海陸御固御場所付) 不明 安政元年(1854) 丹波コレクション
3 富士三十六景 武蔵野毛横はま 広重(初代) 安政5年(1858) 丹波コレクション	13 御開港横浜之全図 貞秀 安政6年(1859) 頃 丹波コレクション
4 『江戸名所図会』横浜弁財天社 雪旦 天保5年(1834) 神奈川歴史博物館	14 増補再刻 御開港横浜之全図 貞秀 慶応元~2年(1865~66) 以降 丹波コレクション
5 (清国人合奏之図) 不明 19世紀 川崎・砂子の里資料館	15 神名川横浜新開港図 貞秀 万延元年(1860) 丹波コレクション
6 (阿蘭陀人之図) 不明 江戸時代後期 川崎・砂子の里資料館	16 神名川横浜華郭之光景 貞秀 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
7 『万国旗章図譜』鱸奉卿 嘉永5年(1852) 丹波コレクション	17 横浜本町景港崎街新廓 貞秀 万延元年(1860) 丹波コレクション
8 『異国落葉籠』 不明 安政元年(1854) 丹波コレクション	18 横浜港崎町大門橋真景 貞秀 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
9 北亞墨利加洪和政治洲上官真像之写 不明 安政元年(1854) 川崎・砂子の里資料館	19 東海道名所之内 横浜風景 貞秀 万延元年(1860) 神奈川歴史博物館
10 蒸気船之図 不明 安政元年(1854) 川崎・砂子の里資料館	20-1 横浜海岸図会 広重(二代) 万延元年(1860) 丹波コレクション
11 大新板極上唐人船子ども遊組上とうろふの図 不明	20-2 神名川横浜港真景 広重(二代) 万延元年(1860) 丹波コレクション

- 21 神奈川横浜一覽 広重 (二代) 万延元年 (1860)  
川崎・砂子の里資料館
- 22 横浜平沼橋ヨリ東海道神奈川台并ニカルイ沢茶店又遠ク  
大師河原ノ裏ヲ見ル 貞秀 万延元年 (1860) 丹波コレ  
クション
- 23 野毛村切通シヨリ横浜入口吉田橋野毛橋本町エモン坂大  
門遊女屋町并横浜本村遠景 貞秀 万延元年 (1860)  
丹波コレクション
- 24 横浜弁財天之社内ヨリ東海道神奈川台之茶屋并清水山又  
新町ヲ見ル景 貞秀 万延元年 (1860) 丹波コレクシ  
ョン
- 25 横浜本町一丁目角三井店ノ前ヨリ東海道生麦村ヲ遠景并  
ニ神奈川洲崎明神ヨリ此本町壹丁目岸迄渡船有 貞秀  
万延元年 (1860) 丹波コレクション
- 26 横浜神崎町ヨリ吉田橋野毛浦切通シヲ見ル并ニ右之方弁  
天乃森神奈川宿ヲ見渡ス風景 貞秀 万延元年 (1860)  
川崎・砂子の里資料館
- 27 横浜港崎町郭中之正写 芳員 万延元年 (1860)  
川崎・砂子の里資料館
- 28 横浜本町并ニ港崎町細見全図 貞秀 万延元年 (1860)  
川崎・砂子の里資料館
- 29 横浜本町之図 国芳 万延元年 (1860) 川崎・砂子の  
里資料館
- 30 横浜廓之図 国芳 万延元年 (1860) 川崎・砂子の里  
資料館
- 31 武州神奈川横浜之風景 芳虎 万延元年 (1860)  
川崎・砂子の里資料館
- 32 神奈川横浜港崎町遊女屋之風景 芳虎 万延元年  
(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 33 横浜大湊細見之図 貞秀 万延元年 (1860) 神奈川県  
立歴史博物館
- 34 神奈川横浜港案内図絵 貞秀 万延元年 (1860) 丹波  
コレクション
- 35 横浜海岸波戸場繁栄之図 芳員 万延元年 (1860)  
川崎・砂子の里資料館
- 36 再改横浜風景 貞秀 文久元年 (1861) 神奈川県立歴  
史博物館
- 37-1 横浜風景一覽 広重 (二代) 文久元年 (1861) 丹波  
コレクション
- 37-2 神奈川野毛横浜 広重 (二代) 文久元年 (1861) 丹波  
コレクション
- 38 御開港横浜大絵図 二編 外国人住宅図 貞秀 文久元  
年 (1861) 頃 神奈川県立歴史博物館
- 39-1 武陽横浜一覽 広重 (二代) 慶応2年 (1866)  
川崎・砂子の里資料館
- 39-2 横浜一覽之図 広重 (二代) 慶応元年 (1865)  
川崎・砂子の里資料館
- 40 (東屋新吉・和泉屋市兵衛引き札) (「横浜風景画  
帖」より) 万延元年 (1860) 頃か 神奈川県立図書  
館
- 41 (和泉屋市兵衛引き札) (「横浜風景画帖」より)  
万延元年 (1860) 頃か 神奈川県立図書館
- 42 神奈川横浜新湊港崎町遊廓花盛之図真景 貞秀 万延元  
年 (1860) 川崎・砂子の里資料館
- 43 横浜港崎廓岩亀楼異人遊興座敷之図 芳員 万延元年  
(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 44 神名川横浜之風景 芳年、年磨 万延元年 (1860)  
川崎・砂子の里資料館
- 45 横浜廓中之図 国周 万延元年 (1860) 丹波コレクシ  
ョン
- 46 横浜五十鈴楼之図 国明 万延元年 (1860) 川崎・砂  
子の里資料館
- 47 源氏君花街遊覧 国貞 (初代)、国時 万延元年  
(1860) 丹波コレクション
- 48 横浜岩亀見込之図 広重 (二代) 万延元年 (1860)  
丹波コレクション
- 49 横浜敵亀楼上 広重 (二代) 万延元年 (1860) 丹波  
コレクション
- 50 横浜港崎町楼上之図 岩亀楼繁昌之図 広重 (二代)  
万延元年 (1860) 川崎・砂子の里資料館
- 51 横浜岩亀楼 広重 (二代) 万延元年 (1860) 横浜市  
中央図書館
- 52 岩亀楼并ニ異客之図 国貞 (初代)、貞秀 万延元年  
(1860) 丹波コレクション
- 53 五ヶ国於岩亀楼酒盛之図 芳幾 万延元年 (1860)  
丹波コレクション
- 54 横浜岩亀楼子供手踊之図 芳員 文久元年 (1861)  
川崎・砂子の里資料館
- 55 横浜港崎廓岩亀楼異人遊興之図 芳員、員重 文久元年  
(1861) 丹波コレクション
- 56 今様けんし 神奈川大黒楼横浜眺望 芳年 元治元年  
(1864) 川崎・砂子の里資料館
- 57 横浜道中見物双六 貞秀 万延元年 (1860) 丹波コレ  
クション
- 58 御開港横浜一覽双六 芳幾 万延元年 (1860) 丹波コ  
レクション
- 59 横浜細見大双陸 貞秀 万延元年 (1860) 丹波コレ  
クション
- 60 横浜本町港崎町振分双六 貞秀 万延元年 (1860)  
丹波コレクション
- 61 万国入船寿語録 広重 (二代) 万延元年 (1860)  
丹波コレクション
- 62 諸国異人双六 房種 文久元年 (1861) 神奈川県立金  
沢文庫
- 63 新板異人双六 芳員 万延元年 (1860) 川崎・砂子の  
里資料館
- 64 横浜交易双六 芳員 文久元年 (1861) 丹波コレクシ  
ョン
- 65 各国旗章大略 万国人物揃 芳虎 文久2年 (1862)  
丹波コレクション

- 66 万国男女人物図会 芳幾 文久元年(1861) 丹波コレクション
- 67 生写異国人物 阿蘭陀婦人拳鷲愛兒童之図 貞秀 万延元年(1860) 丹波コレクション
- 68 生写異国人物 清朝南京人感賞皇州扇之図 貞秀 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 69 生写異国人物 亜墨利加女官翫板達之図 貞秀 万延元年(1860) 丹波コレクション
- 70 生写異国人物 払郎察小娘引犬散歩之図 貞秀 万延元年(1860) 丹波コレクション
- 71 生写異国人物 魯西亜人飼羅紗羊之図 貞秀 万延元年(1860) 丹波コレクション
- 72 ふらんす 広重(二代) 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 73 英吉利国 広重(二代) 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 74 亜墨利加 広重(二代) 万延元年(1860) 日本通運株式会社
- 75 清国南京 芳富 万延元年(1860) 日本通運株式会社
- 76 魯西亜 芳富 万延元年(1860) 神奈川県立歴史博物館
- 77 外国人夜学之図 芳員 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 78 外国人酒宴之図 芳員 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 79 異人屋敷料理之図 芳員 万延元年(1860) 丹波コレクション
- 80 外国人子供寵愛之図 芳員 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 81 外国人衣服仕立之図 芳員 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 82 外国写真鏡之図 芳員 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 83 外国官人往来之図 芳員 万延元年(1860) 丹波コレクション
- 84 外国子供遊戯之図 芳員 万延元年(1860) 丹波コレクション
- 85 外国人男女子供遊 芳員 万延元年(1860) 丹波コレクション
- 86 外国人横浜上陸行烈之図 芳員 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 87 万国尽 唐土人 芳虎 万延元年(1860) 神奈川県立歴史博物館
- 88 万国尽 阿蘭陀人 芳虎 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 89 万国尽 李漏生人 芳虎 万延元年(1860) 日本通運株式会社
- 90 万国尽 英吉利人 芳虎 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 91 万国尽 亜墨利加人 芳虎 万延元年(1860) 神奈川県立歴史博物館
- 92 フロシヤ人愛婦人 芳豊 万延元年(1860) 丹波コレクション
- 93 アメリカ人子供愛図 芳豊 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 94 イギリス人遊行ノ図 芳豊 万延元年(1860) 日本通運株式会社
- 95 フランス人遊興 芳豊 万延元年(1860) 川崎・砂子の里資料館
- 96 アメリカ黒ンぼ 芳豊 万延元年(1860) 横浜開港資料館
- 97 アメリカ人遊里屋図 芳豊 万延元年(1860) 横浜開港資料館
- 98 横浜異人商家酒宴之図 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 99 横浜渡来亜墨利加商人旅行之図 貞秀 文久元年(1861) 丹波コレクション
- 100 横浜渡来商官魯西亜人之図 貞秀 文久元年(1861) 丹波コレクション
- 101 横浜商家紅毛人書認之図 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 102 横浜商館仏蘭西人馬乗之図 貞秀 文久元年(1861) 丹波コレクション
- 103 亜墨利加之商人小樹之桜を求めて大に歓喜之図 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 104 横浜ノ商館ニ仏蘭西人金魚ヲ翫フ図 貞秀 文久元年(1861) 日本通運株式会社
- 105 英吉利人横浜ニ織物ノ分色交易之図 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 106 魯西亜国ノ商館休日ニテ小兒透引シ海岸ニ遊ブ図 貞秀 文久元年(1861) 丹波コレクション
- 107 阿蘭陀人商官富貴草称美ノ体 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 108 横浜休日 魯西亜人遊行 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 109 横浜休日 阿蘭人遊行 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 110 横浜休日 亜墨利加人遊行 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 111 横浜休日 仏蘭西人馬遊行 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 112 横浜英商遊行 貞秀 文久元年(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 113 横浜渡来異商住家之図 貞秀 文久元年(1861) 丹波コレクション、神奈川県立歴史博物館
- 114 武州横浜八景之内 本村乃夕照 芳虎 文久元年(1861) 丹波コレクション
- 115 武州横浜八景之内 美代崎乃秋の月 芳虎 文久元年(1861) 丹波コレクション

- 116 武州横浜八景之内 波戸場の帰帆 芳虎 文久元年  
(1861) 丹波コレクション
- 117 武州横浜八景之内 岩亀楼夜の雨 芳虎 文久元年  
(1861) 丹波コレクション
- 118 武州横浜八景之内 吉田橋乃落馬 芳虎 文久元年  
(1861) 川崎・砂子の里資料館
- 119 武州横浜八景之内 道行の遠鐘 芳虎 文久元年  
(1861) 神奈川県立歴史博物館
- 120 武州横浜八景之内 野毛乃晴嵐 芳虎 文久元年  
(1861) 日本通運株式会社
- 121 武州横浜八景之内 朝市乃雪 芳虎 文久元年 (1861)  
日本通運株式会社
- 122 アメリカ人ばんおやく図 芳員 文久元年 (1861)  
丹波コレクション
- 123 仏蘭西 芳員 文久元年 (1861) 横浜開港資料館
- 124 清国南京 芳員 文久元年 (1861) 横浜市中央図書館  
参考 阿蘭陀 (パネル) 芳員 文久元年 (1861) 山口県立  
萩美術館・浦上記念館
- 125 万国人物之内 英吉利 魯西亜 阿蘭陀 和蘭陀 芳虎  
文久元年 (1861) 神奈川県立歴史博物館
- 126 万国人物廻内 南京 南京 魯西亜 仏蘭西 芳虎  
文久元年 (1861) 日本通運株式会社
- 127 万国人物廻内 亜米利加 亜米利加 亜米利加 亜墨利  
加 芳虎 文久元年 (1861) 横浜開港資料館
- 128 蛮国人物図会 亜墨利加人 芳艶 文久元年 (1861)  
川崎・砂子の里資料館
- 129 蛮国人物図会 意太里亜国王 芳艶 文久元年 (1861)  
日本通運株式会社
- 130 蛮国人物図会 仏蘭西婦人 芳艶 文久元年 (1861)  
神奈川県立歴史博物館
- 131 蛮国人物図会 英吉利人 芳艶 文久元年 (1861)  
日本通運株式会社
- 132 蛮国人物図会 阿蘭陀国王 芳艶 文久元年 (1861)  
丹波コレクション
- 133 外国入船ノ内 唐船 芳富 文久元年 (1861) 丹波コ  
レクション
- 134 外国入船ノ内 ばつていら 芳富 文久元年 (1861)  
丹波コレクション
- 135 外国入船ノ内 紅毛船 芳富 文久元年 (1861) 日本  
通運株式会社
- 136 英吉利船 芳虎 文久2年 (1862) 丹波コレクション
- 137 唐船の図 芳虎 文久2年 (1862) 神奈川県立歴史博  
物館
- 138 阿蘭陀船の図 芳虎 文久2年 (1862) 神奈川県立歴  
史博物館
- 139 魯西亜船 芳虎 文久2年 (1862) 神奈川県立歴史博  
物館
- 140 北亜墨利加船の図 芳虎 文久2年 (1862) 横浜開港  
資料館
- 141 外国人物図画 阿蘭陀 芳幾 文久元年 (1861)  
川崎・砂子の里資料館
- 142 外国人物図画 英吉利 芳幾 文久元年 (1861)  
川崎・砂子の里資料館
- 143 外国人物図画 南京 仏蘭西 芳幾 文久元年 (1861)  
神奈川県立歴史博物館
- 144 外国人物図画 亜墨利加 芳幾 文久元年 (1861)  
神奈川県立歴史博物館
- 145 外国人物図画 魯西亜 芳幾 文久元年 (1861) 日本  
通運株式会社
- 146 AMERIKAZIN 遊興 芳藤 文久元年 (1861) 日本通運株  
式会社
- 147 FWRANNSWDIN 遊戯 芳藤 文久元年 (1861) 川崎・砂子  
の里資料館
- 148 WOROSIAZIN 遊行 芳藤 文久元年 (1861) 川崎・砂子  
の里資料館
- 149 OORANWDAZIN 遊行 芳藤 文久元年 (1861) 丹波コレク  
ション
- 150 IGIRISWZIN 清国南京遊行 芳藤 文久元年 (1861)  
横浜中央図書館
- 151 横浜名所野毛切通 和蘭陀人 芳員 文久元年 (1861)  
丹波コレクション
- 152 横浜名所港崎町 仏蘭西人 芳員 文久元年 (1861)  
丹波コレクション
- 153 横浜名所弁天 亜墨利加人 芳員 文久元年 (1861)  
川崎・砂子の里資料館
- 154 横浜名所波戸場 魯西亜人 芳員 文久元年 (1861)  
川崎・砂子の里資料館
- 155 横浜名所異人屋敷 英吉利人 芳員 文久元年 (1861)  
丹波コレクション
- 156 仏郎西人 芳虎 文久3年 (1863) 丹波コレクション
- 157 南京人 芳虎 文久3年 (1863) 日本通運株式会社
- 158 亜墨利加人 芳虎 文久3年 (1863) 丹波コレクシ  
ョン
- 159 和蘭陀人 芳虎 文久3年 (1863) 丹波コレクション
- 160 英吉利人 芳虎 文久3年 (1863) 日本通運株式会社
- 161 清朝人 芳虎 文久3年 (1863) 日本通運株式会社
- 162 和蘭陀人 芳虎 文久3年 (1863) 神奈川県立歴史博  
物館
- 163 魯西亜人 芳虎 文久3年 (1863) 川崎・砂子の里資  
料館
- 164 英吉利人 芳虎 文久3年 (1863) 神奈川県立歴史博  
物館
- 165 魯西亜人 芳虎 文久3年 (1863) 神奈川県立歴史博  
物館
- 166 港崎横浜一覽 芳盛 万延元年 (1860) 丹波コレクシ  
ョン
- 167 港崎横浜一覽 蒸気船ノ図 芳盛 万延元年 (1860)  
神奈川県立歴史博物館

- 168 横浜売物図絵 唐物店之図 貞秀 万延元年 (1860) 丹波コレクション
- 169 横浜売物図絵之内 横浜唐物店図 貞秀 万延元年 (1860) か、川崎・砂子の里資料館
- 170 横浜売物図絵之内 横浜唐物店図 貞秀 万延元年 (1860) か、川崎・砂子の里資料館
- 171 横浜交易西洋人荷物運送之図 貞秀 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 172 亜米利加国大船之図 其余五箇国大船之写生遠景 芳幾 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 173 亜墨利加蒸気船 長四十間 巾六間 芳員 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 174 墨利堅国大船之図 貞秀 元治元年 (1864) 丹波コレクション
- 175 異国人酒宴遊楽之図 芳員 万延元年 (1860) 丹波コレクション
- 176 横浜異人屋敷之図 芳員 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 177 横浜商館真図 貞秀 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 178 横浜異人家飲食之図 アメリカ、ナンキン、フランス、イギリス 貞秀 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 179 外国人遊興之図 芳虎 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 180 武州横浜外国人遊行之図 芳虎 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 181 神奈川権現山外国人遊覧 芳員 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 182 横浜鈍宅之図 貞秀 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 183 横浜外国人行烈之図 芳員 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 184 五箇国人物行歩図 貞秀 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 185 五ヶ国異人酒宴之図 芳員 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 186 亜墨利加国蒸気船中之写 芳員 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 187 外国人どんたく遊らん行歩乃図 芳員 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 188 横浜異人商館座敷之図 貞秀 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 189 横浜異人商館之図・横浜異人商館売場之図 貞秀 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 190 横浜異人商館写真之図 貞秀 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 191 五箇国人物呑飴之図 芳虎 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 192 五国異人横浜上陸図 芳員 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 193 横浜異人館之図 広重 (二代) 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 194 横浜之新港ニ五箇国之異人調練之図 芳虎 文久3年 (1863) 川崎・砂子の里資料館
- 195 (異人商館内部の図) 貞秀 慶応元年 (1865) 丹波コレクション
- 196 横浜繁栄之図 広重 (二代) 慶応元年 (1865) 丹波コレクション
- 197 横浜港仏蘭西商館之図 芳員 慶応2年 (1866) 丹波コレクション
- 198 横浜異人館之図 芳員 慶応2年 (1866) 丹波コレクション
- 199 仏蘭西英吉利西三兵大調練之図 芳年 慶応3年 (1867) 川崎・砂子の里資料館
- 200 横浜角力の誉 芳幾 文久元年 (1861) 丹波コレクション
- 201 フランス之名医足病療治 広重 (三代) 慶応2年 (1866) 日本通運株式会社
- 202 大調練之図 貞秀 慶応2年 (1866) 丹波コレクション
- 203 亜墨利加賑之図 広重 (二代) 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 204 亜墨利迦州迦爾波ルニ垂港出帆之図 貞秀 文久2年 (1862) 丹波コレクション
- 205 亜墨利加国蒸気車往来 芳員 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 206 亜墨利加洲内華盛頓府之景銅板之写生 芳員 文久元年 (1861) 川崎・砂子の里資料館
- 207 蛮国名勝尽競之内 亜墨利加華盛頓府 芳虎 文久2年 (1862) 川崎・砂子の里資料館
- 208 蛮国名勝尽競之内 英吉利龍動海口 芳虎 文久2年 (1862) 丹波コレクション
- 209 万国名勝尽競之内 佛蘭西把里須府 芳虎 文久2年 (1862) 川崎・砂子の里資料館
- 210 万国名勝尽競之内 大清南京府市坊 芳虎 文久2年 (1862) 川崎・砂子の里資料館
- 211 万国名勝尽競之内 天竺馬爾加国 芳虎 文久3年 (1863) 丹波コレクション
- 212 英吉利西龍道大港 広重 (二代) 文久2年 (1862) 丹波コレクション
- 213 北亜墨利加州 芳虎 慶応2年 (1866) 神奈川県立歴史博物館
- 214 英吉利国[ロン]頓図 芳虎 慶応2年 (1866) 川崎・砂子の里資料館
- 215 北亜墨利加合衆国華盛都府之図 芳虎 慶応2年 (1866) 川崎・砂子の里資料館
- 216 亜墨利加国 芳虎 慶応元年 (1865) 神奈川県立歴史博物館
- 217 英吉利国 芳虎 慶応元年 (1865) 川崎・砂子の里資料館

- 218 仏狼西国 芳虎 慶応元年 (1865) 川崎・砂子の里資料館
- 219 新和蘭陀南和留連寿国之図 芳年 慶応2年 (1866) 丹波コレクション
- 220 仏蘭西大湊諸国交易図 芳年 慶応2年 (1866) 横浜市中央図書館
- 221 亜墨利加国 芳虎 慶応3年 (1867) 丹波コレクション
- 222 各国繁栄尽 英吉利 ロンドン VIEW IN LONDON. 芳盛 明治6年 (1873) 川崎・砂子の里資料館
- 223 (猛虎図) 芳幾 万延元年 (1860) 川崎・砂子の里資料館
- 224 今昔未見生物猛虎之真図 暁斎 万延元年 (1860) 日本通運株式会社
- 225 (横浜渡来虎之図) 広重 (二代) 万延元年 (1860) 丹波コレクション
- 226 紅毛舶来猛虎之演義 芳豊 万延元年 (1860) 川崎・砂子の里資料館
- 227 猛虎之写真 芳幾 万延元年 (1860) 川崎・砂子の里資料館
- 228 天竺馬爾加国産大象 西両国広小路に於て興行 芳豊 文久3年 (1863) 川崎・砂子の里資料館
- 229 文久三亥年天竺国舶来 大象之写真於東都両国観物 芳員 文久3年 (1863) 川崎・砂子の里資料館
- 230 中天竺舶来 大象之図 芳豊 文久3年 (1863) 丹波コレクション
- 231 (中天竺馬爾加国出生の大象) 芳幾 文久3年 (1863) 神奈川県立歴史博物館
- 232 舶来大象図 芳形 文久3年 (1863) 丹波コレクション
- 233 改正横浜細見図 横浜細見図其二 貞秀 慶応3年 (1867) 丹波コレクション
- 234 横浜商館之図 広重 (三代) 慶応3年 (1867) 丹波コレクション
- 235 (外国商館の門前の風景) 芳員 明治元年 (1865) 丹波コレクション
- 236 横浜高台英役館之全図 Plan of English Legation at Bluff land in Yokohama. 広重 (二代) 明治2年 (1869) 頃 川崎・砂子の里資料館
- 237 横浜海岸通十八番異人旅宿之図 Plan of the foreigner resident at No.18 in the water street Yokohama. 広重 (二代) 明治2年 (1869) 頃 丹波コレクション
- 238 横浜本町海岸仏郎斯役館之全図 Plan of France Court at the Water Street in Yokohama. 広重 (二代) 明治2年 (1869) 川崎・砂子の里資料館
- 239 於横浜無類絶妙英国之役館 国貞 (三代) 明治3年 (1870) 丹波コレクション
- 240 横浜海岸異人館之図 広重 (三代) 明治3年 (1870) 川崎・砂子の里資料館
- 241 横浜海岸通之図 芳虎 明治3年 (1870) 丹波コレクション
- 242-1 横浜鉄橋其二 貞秀 明治3年 (1870) 川崎・砂子の里資料館
- 242-2 横浜鉄橋之図 貞秀 明治3年 (1870) 川崎・砂子の里資料館
- 243 武陽横浜浅間山ヨリ異人館市中之一覽 広重 (三代) 明治3年 (1870) 丹波コレクション
- 244 横浜吉田橋ヨリ伊勢山太神宮遠景 広重 (三代) 明治3年 (1870) 丹波コレクション
- 245 横浜弍覽之図 芳虎 明治3年 (1870) 神奈川県立図書館
- 246 横浜吉田橋通繁昌之図并本町通弁天通外国館遠景 国輝 (二代) 明治3年 (1870) 川崎・砂子の里資料館
- 247 横浜吉田橋ヨリ馬車道之真景 広重 (三代) 明治4年 (1871) 神奈川県立図書館
- 248 横浜吉田橋ヨリ馬車道之図 広重 (三代) 明治3年 (1870) 頃か 川崎・砂子の里資料館
- 249 武陽横浜一覽 Map of Yokohama 広重 (二代) 明治3年 (1870) 丹波コレクション
- 250 横浜海岸通之図 広重 (三代) 明治3年 (1870) 川崎・砂子の里資料館
- 251 横浜商館天主堂ノ図 広重 (三代) 明治3年 (1870) 川崎・砂子の里資料館
- 252 横浜海岸仲通商館繁栄之図 国輝 (二代) 明治3年 (1870) 丹波コレクション
- 253 横浜波止場ヨリ海岸通異人館之真図 広重 (三代) 明治3年 (1870) 頃 丹波コレクション
- 254 横浜異人館ヨリ蒸気車鉄道図 広重 (三代) 明治3年 (1870) 丹波コレクション
- 255 横浜商館繁栄之図 広重 (三代) 明治4年 (1871) 丹波コレクション
- 256 横浜垂三番商館繁栄之図 広重 (三代) 明治4年 (1871) 川崎・砂子の里資料館
- 257 横浜海岸各国商館図 広重 (三代) 明治4年 (1871) 丹波コレクション
- 258 横浜各国商館之図 広重 (三代) 明治4年 (1871) 丹波コレクション
- 259 横浜英吉利西商館繁栄図 芳幾 明治4年 (1871) 川崎・砂子の里資料館
- 260 横浜弍覽之真景 貞秀 明治4年 (1871) 神奈川県立歴史博物館
- 261 横浜本町イタリヤ役館之図 広重 (三代) 明治4年 (1871) 丹波コレクション
- 262 横浜海岸之風景 貞秀 明治初期 丹波コレクション
- 263 横浜海岸フランス役館之景 広重 (三代) 明治4年 (1871) 川崎・砂子の里資料館
- 264 横浜本町海岸通り仏郎斯役館之図 広重 (三代) 明治初期 川崎・砂子の里資料館

- 265 横浜異人館之図 芳虎 明治4年(1871) 丹波コレクション
- 266 横浜仏国役館之全図 国輝(二代) 明治5年(1872) 川崎・砂子の里資料館
- 267 横浜海岸通り之真景 広重(三代) 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 268 横浜各国商館真図 広重(三代) 明治5年(1872) 川崎・砂子の里資料館
- 269 横浜蒸気車鉄道全図 国輝(二代) 明治3年(1870) 丹波コレクション
- 270 神奈川蒸気車鉄道之全図 国輝(二代) 明治3年(1870) 丹波コレクション
- 271 横浜海岸鉄道之図 芳虎 明治4年(1871) 丹波コレクション
- 272 神奈川入河景蒸気車鉄道図 広重(三代) 明治4年(1871) 丹波コレクション
- 273 六郷蒸気車鉄道之図 一景 明治4年(1871) 川崎・砂子の里資料館
- 274 六合陸蒸気車鉄道之全図 一景 明治4年(1871) 丹波コレクション
- 275 六郷川蒸気車往返之全図 広重(三代) 明治4年(1871) 川崎・砂子の里資料館
- 276 横浜海上蒸気車鉄道之図 広重(三代) 明治4年(1871) 川崎・砂子の里資料館
- 277 河崎鶴見川蒸気車之図 広重(三代) 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 278 横浜新地蒸気車鉄道之真景 広重(三代) 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 279 横浜往返蒸気車全図 広重(三代) 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 280 横浜鉄道寮出車之図 永林 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 281 蒸気車出発時刻賃金附 広重(三代) 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 282 七福神蒸気車乗初図 芳虎 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 283 七福人 種紙会社より海岸鉄道眺望の図 芳虎 明治5年(1872) 川崎・砂子の里資料館
- 284 横浜鉄道館蒸気車往返之図 広重(三代) 明治5年(1872) 川崎・砂子の里資料館
- 285 横浜鉄道館蒸気車往返之図 広重(三代) 明治5年(1872) 以降 丹波コレクション
- 286 横浜新埋地高島町揚屋三階造海岸遠景之図 広重(三代) 明治6年(1873) 川崎・砂子の里資料館
- 287 加奈川高島町富士見橋之図 芳雪 明治6年(1873) 丹波コレクション
- 288 東京横浜鉄道往返之図 広重(三代) 明治6年(1873) 丹波コレクション
- 289 横浜鉄道蒸気車通行之図 国貞(三代) 明治6年(1873) 川崎・砂子の里資料館
- 290 横浜鉄道蒸気出車之図 国貞(三代) 明治6年(1873) 丹波コレクション
- 291 横浜往返鉄道蒸気車ヨリ海上之図 広重(三代) 明治7年(1874) 丹波コレクション
- 292 横浜野毛伊勢山従海岸鉄道蒸気車ノ図 広重(三代) 明治7年(1874) 川崎・砂子の里資料館
- 293 横浜海岸鉄道蒸気車図 広重(三代) 明治5年(1872) 頃か 川崎・砂子の里資料館
- 294 東京横浜蒸気車鉄道之図 広重(三代) 明治8年(1875) 丹波コレクション
- 295 横浜ステーション花園乃図 国鶴(初代) 明治8年(1875) 丹波コレクション
- 296 横浜商館並ニ弁天橋図 横浜ステーション蒸気入車之図 並海洋岸船燈明台を眺望す 国鶴(初代) 明治6年(1873) 以降 丹波コレクション
- 297 横浜ステーション之図 国鶴(初代) 明治8年(1875) 丹波コレクション
- 298-1 東京蒸気車鉄道一覽之図 芳虎 明治4年(1871) 川崎・砂子の里資料館
- 298-2 横浜鉄道蒸気出車之図 国貞(三代) 明治5年(1872) 神奈川県立金沢文庫
- 299 異人玉転之図 広重(三代) 明治初期 神奈川県立歴史博物館
- 300 新ばん切組とろう横浜海岸之図 芳景 明治12年(1879) 神奈川県立金沢文庫
- 301 横浜名所之内 伊勢山太神宮 永林 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 302 横浜名所之内 大日本横浜根岸万国競馬興行ノ図 永林 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 303 横浜名所之内 巖島の社 永林 明治5年(1872) 川崎・砂子の里資料館
- 304 横浜名所之内 蒸気車館昌栄の図 永林 明治5年(1872) 川崎・砂子の里資料館
- 305 横浜名所之内 野毛の眺望 永林 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 306 横浜名所之内 鉄の橋 朝さくら 永林 明治5年(1872) 頃か 丹波コレクション
- 307 横浜名所之内 波止場入船 永林 明治5年(1872) 川崎・砂子の里資料館
- 308 横浜名所之内 谷戸山雪中 永林 明治5年(1872) 川崎・砂子の里資料館
- 309 横浜名所之内 本町朝きり 永林 明治5年(1872) 川崎・砂子の里資料館
- 310 横浜名所之内 渡せん場 永林 明治5年(1872) 丹波コレクション
- 311 横浜名所 波止場 松山 明治10~11年(1877~1878) 頃 丹波コレクション
- 312 横浜名所 南京屋しき 松山 明治10~11年(1877~1878) 頃 丹波コレクション

- 313 横浜名所 燈明台並台場之景 松山 明治10～11年 (1877～1878) 頃 丹波コレクション
- 314 横浜名所 公園地 松山 明治10～11年 (1877～1878) 頃 川崎・砂子の里資料館
- 315 開化名勝図之内 横浜本町時計台 国利 明治11～12年 (1878～1879) 頃か 川崎・砂子の里資料館
- 316 開化名勝図之内 横浜弁天橋ヨリ海岸遠望 国利 明治11～12年 (1878～1879) 頃か 川崎・砂子の里資料館
- 317 開化名勝図之内 横浜高島町神風楼 国利 明治11～12年 (1878～1879) 頃か 丹波コレクション
- 318 開化名勝図之内 横浜海岸波止場 国利 明治11～12年 (1878～1879) 頃か 丹波コレクション
- 319 横浜名勝競 内田町よりステーションの図 国松 明治13年 (1880) か 丹波コレクション
- 320 横浜名勝競 本町通神奈川県庁より時計台の一覧 国松 明治13年 (1880) 川崎・砂子の里資料館
- 321 横浜名勝競 本町通郵便局 国松 明治13年 (1880) 川崎・砂子の里資料館
- 322 横浜名勝競 伊勢山下瓦斯本局雪中の一覧 国松 明治13年 (1880) 川崎・砂子の里資料館
- 323 大日本名所図絵 横浜鉄道局 国利 明治14年 (1881) 川崎・砂子の里資料館
- 324 大日本名所図会 横浜伊勢山太神宮 国利 明治14年 (1881) 日本通運株式会社
- 325 金港美人揃 ときは町 八百藤 清綱 明治16年 (1883) 川崎・砂子の里資料館
- 326 金港美人揃 太田 豊玉菴 清綱 明治16年 (1883) 川崎・砂子の里資料館
- 327 金港美人揃 相生三 嘉以古 清綱 明治16年 (1883) 川崎・砂子の里資料館
- 328 金港美人揃 羽衣壺 三階 相模屋 清綱 明治16年 (1883) 川崎・砂子の里資料館
- 329 金港美人揃 尾上五 富貴楼 清綱 明治16年 (1883) 横浜中央図書館
- 330 金港美人揃 住よし町 千登勢 清綱 明治16年 (1883) 丹波コレクション
- 331 横浜海岸外国館煉瓦造図 幾丸 明治5年 (1872) 頃か 川崎・砂子の里資料館
- 332 横浜新海地高島町鉄道之真景 国鶴 (初代) 明治10～11年 (1877～1878) 頃 川崎・砂子の里資料館
- 333 横浜高島町神風楼之図 国松 明治10～11年 (1877～1878) 頃 丹波コレクション
- 334 横浜名所一覽 松山 明治9年 (1876) 丹波コレクション
- 335 郵便報知新聞第五百五十七号 横浜郵便局開業之図 広重 (三代) 明治8年 (1875) 丹波コレクション
- 336 横浜繁栄本町通時計台 神奈川県全図 国鶴 (初代) 明治10～11年 (1877～1878) 頃 丹波コレクション
- 337 横浜伊勢山風景図 静斎 明治20年 (1887) 川崎・砂子の里資料館
- 338 新板横浜名所 国鶴 (初代) 明治10～11年 (1877～1878) 頃 日本通運株式会社
- 339 『本館所蔵横浜開港時代参考資料目録』 昭和6年 (1931) 神奈川県立図書館
- 340 『復興記念横浜大博覧会誌』 昭和11年 (1936) 神奈川県立図書館
- 341 『復興記念横浜大博覧会開港歴史館記念帖』 昭和10年 (1935) 神奈川県立図書館
- 342 新築落成祝賀式祝賀寄贈品控 昭和11年 (1936) 横浜銀行協会
- 343 「丹波恒夫氏蔵浮世絵拝観」 昭和14年 (1939) 丹波コレクション
- 344 『神奈川浮世絵名品展』 昭和31年 (1956) 神奈川県立図書館
- 345 『「横浜浮世絵」出版記念展』 昭和37年 (1962) 神奈川県立歴史博物館
- 346 『横浜浮世絵』 昭和37年 (1962) 神奈川県立歴史博物館
- 347 『横浜開港150年記念 横浜浮世絵 一近代日本をひらく一』 平成21年 (2009) 神奈川県立歴史博物館
- 348 神奈川子安町所見 (八百屋の店) 石渡江逸 昭和6年 (1936) 川崎・砂子の里資料館
- 349 横浜万国橋 石渡江逸 昭和6年 (1936) 川崎・砂子の里資料館
- 350 税関100周年記念切手 初日カバー 昭和47年 (1972) 個人
- 351 ふるさと切手 みなと横浜 (神奈川県) 平成14年 (2002) 個人
- 352 江戸開府400年シリーズ第3集 平成15年 (2003) 神奈川県立歴史博物館

イ 「北からの開国 一海がまもり、海がつないだ日本一」展

会 期：7月13日(土) ～ 9月1日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館

協 力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMヨコハマ、J:COM

展示資料件数：88 件

入場者数：6,850 名（有料 3,831 名、無料 3,019 名）

担当：主任学芸員 嶋村 元宏

概要：ペリー来航からはじまる開国史ではなく、それよりも 60 年以上前に北から開国通商を求めたロシアとの関係を示し、「鎖国」を維持するために幕府が構築した海岸防禦（海防）態勢の様相を紹介することで、新たな開国史像を提供した。

四方を海に囲まれた海国日本は、海が自然の要害となったことから、容易に異国船が接近できなかったこともあり、海外における戦争や紛争の影響を受けることなく「鎖国」政策による平和を享受することができた。しかし、18 世紀に入ると、航海術や造船技術の発達により、異国船が日本近海に頻繁にその姿をあらわすようになる。そのような危機的状況下において、幕府は全国的な海防態勢の強化をはかる。総延長約 430 キロの海岸線を有する神奈川県域においても例外ではなく、今日まで多くの陣屋跡が残るのはそのためである。遠く北の大地で始まった事件がこの「かながわ」にもかかわっていたことを知っていただく機会とした。

関連行事：・記念講演会「江戸時代後期日露関係の歴史的意義」8 月 4 日（日）

・連続講座「近世後期における『海』」

7 月 20 日（土）、7 月 27 日（土）、8 月 3 日（土）、8 月 24 日（土）、8 月 31 日（土）

・現地見学会「大人の遠足 三浦半島のお台場をたどる」5 月 23 日（木）（同日午前・午後 2 回実施）

・子ども向け「展示をみて海を学ぼう」（会期中実施）7 月 13 日（土）～9 月 1 日（日）

・子ども向け「海の日イベント」7 月 15 日（月・祝）

・教員向け講座「教科書では学べない神奈川の歴史」7 月 30 日

・学芸員による展示解説

7 月 13 日、14 日、15 日、16 日、17 日、18 日、19 日、25 日、31 日、8 月 12 日、18 日、24 日、30 日

出品目録：（凡例）No.、指定、作品／資料名、作者等、年代、所蔵

\*資料名の前に付した記号のうち、●は国宝、◎は重要文化財、○は道県指定文化財、□は区・市指定文化財を示す。

\*東京大学資料編纂所所蔵資料は、諸般の事情により出品されませんでした。

1 海国兵談 伝林子平 天明 6 年 宮内庁書陵部	17 魯西亜來貢紀事 大槻玄沢 宮城県図書館
2 三国通覧図説 神奈川県立歴史博物館	18 異国船漂着一件 函館市中央図書館
3 蝦夷國全図 東北大学附属図書館	19 魯西亜船渡海実録 函館市中央図書館
4 赤蝦夷風説考 工藤平助 天理大学附属天理図書館	20 レザーノフ関連資料貼交ぜ屏風 守屋壽コレクション (広島県立歴史博物館寄託)
5 魯西亜國志世紀 山村才助 文化 3 年頃 国立公文書館	21 蝦夷地一件御意見書草案 松平定信 文化 4 年 6 月～8 月 北見市立中央図書館
6 魯西亜國志 山村才助 文化 3 年頃 国立公文書館	22-1 ◎鷹見泉石関係資料の内 北寇秘録 ロシア人エトロフ 乱妨一件 鷹見泉石 (文化 4 年) 丁卯 10 月 10 日写終 古河歴史博物館
7 ○夷酋列像伝粉本 嶋崎波響 函館市中央図書館	22-2 ◎鷹見泉石関係資料の内 北寇秘録 ロシア人エトロフ 乱防一件 二 鷹見泉石 (一部) 古河歴史博物館
8 夷酋列像圖 詞書：松平定信 寛政 10～文政 12 年 国立民族学博物館	22-3 ◎鷹見泉石関係資料の内 蝦夷地一件 エトロフ乱妨一 件 三 鷹見泉石 (文化 4 年～文化 5 年) 古河歴史 博物館
9 夷酋列像(模本) 渡辺広輝 文化元年 個人(北海道博 物館寄託)	23 ◎鷹見泉石関係資料の内 魯西亜人丙寅秋唐大江指置書 写 古河歴史博物館
10 松前ヲロシア人記 函館市中央図書館	24 露西亜人加毘丹・下官図 個人(福山市寄託)
11 ラクスマン信牌写 大黒屋光太夫記念館	25-1 ◎北槎開略の内 魯西亜国疆界分図 桂川甫周 寛政 6 年 8 月 国立公文書館
12 寛政 5 年癸丑 6 月松前侯ヨリ魯西亜人へ被論候書 函館 市中央図書館	
13 宇下人言 松平定信 天理大学附属天理図書館	
14 魯西亜之図写 福山市	
15 漂流人帰国松前堅之図并異国人相形図 寛政 6 年 大黒 屋光太夫記念館	
16 ロシア使節レザーノフ来航絵巻 文化 2 年 東京大学史 料編纂所	

- 25-2 ◎北槎聞略の内 魯都図 桂川甫周 寛政6年8月  
国立公文書館
- 25-3 ◎北槎聞略の内 器材・装身具等 桂川甫周 寛政6年  
8月 国立公文書館
- 25-4 ◎北槎聞略の内 服装等 桂川甫周 寛政6年8月  
国立公文書館
- 26 ○環海異聞 大槻玄沢 宮城県図書館
- 27 大黒屋光太夫・磯吉画幅 大黒屋光太夫記念館
- 28 大黒屋光太夫によるロシア文字 大黒屋光太夫 文化～  
文政年間 大黒屋光太夫記念館
- 29 大黒屋光太夫の椀と匙 大黒屋光太夫記念館
- 30 □鷹見泉石像(模本) 古河歴史博物館
- 31 ◎鷹見泉石関係資料の内 魯西亜言語集 鷹見泉石  
文化4年 古河歴史博物館
- 32 鷹見泉石関係資料の内 露文字額 大黒屋光太夫 文化  
10年 古河歴史博物館
- 33 ◎鷹見泉石関係資料の内 魯西亜字日本音訳 鷹見泉石  
文化10年以降 古河歴史博物館
- 34 ◎鷹見泉石関係資料の内 魯西亜国字学 鷹見泉石  
文化10年 古河歴史博物館
- 35 ◎鷹見泉石関係資料の内 ロシア文字手習い、鷹見泉石  
古河歴史博物館
- 36 ◎鷹見泉石関係資料の内 ロシア文字手習い手本 足立  
左内カ 天保5年 古河歴史博物館
- 37 ◎鷹見泉石関係資料の内 ロシア文字によるイロハと数  
字 大黒屋光太夫 文化10年 古河歴史博物館
- 38 ◎鷹見泉石関係資料の内 北方民族雨天用外套および雪  
中外套之図 鷹見泉石 古河歴史博物館
- 39 ◎鷹見泉石関係資料の内 室内履 古河歴史博物館
- 40 ◎近藤重蔵関係資料の内 獅虎島図 近藤重蔵 寛政  
10年カ 東京大学史料編纂所
- 41 ◎近藤重蔵関係資料の内 北蝦夷地地図 村上貞助  
東京大学史料編纂所
- 42 ◎近藤重蔵関係資料の内 間宮海峡絵図 間宮林蔵カ  
東京大学史料編纂所
- 43-1 ◎近藤重蔵関係資料の内 北太平洋及び周辺図 近藤重  
蔵 東京大学史料編纂所
- 43-2 ◎近藤重蔵関係資料の内 北太平洋及び周辺図 近藤重  
蔵 東京大学史料編纂所
- 44 ◎近藤重蔵関係資料の内 蝦夷地絵図 近藤重蔵 寛政  
9年 東京大学史料編纂所
- 45 ◎間宮林蔵北蝦夷地等見分関係記録の内 東韃地方紀行  
村上貞助 文化6年7月 国立公文書館
- 46 ◎近藤重蔵関係資料の内 蝦夷久奈尻騒動略記一件  
近藤重蔵 東京大学史料編纂所
- 47 ◎近藤重蔵関係資料の内 海防策建言書草案 近藤重蔵  
寛政9年10月 東京大学史料編纂所
- 48 ◎近藤重蔵関係資料の内 堀田正政宛北方一件ノ鄙策等  
ニ付上申書草案 近藤重蔵 寛政10年2月3日 東京  
大学史料編纂所
- 49 ◎近藤重蔵関係資料の内 松前蝦夷地処置並ニ異国境界  
取締ニ付建言書草案 近藤重蔵 寛政9年カ 東京大学  
史料編纂所
- 50 ◎近藤重蔵関係資料の内 最上徳内書状綴 (目録)  
近藤重蔵 寛政10年 東京大学史料編纂所
- 51 ◎近藤重蔵関係資料の内 覚帳 近藤重蔵 寛政10年  
8月頃 東京大学史料編纂所
- 52 ◎近藤重蔵関係資料の内 蝦夷地御用留 近藤重蔵  
文化4年6月 東京大学史料編纂所
- 53 ◎近藤重蔵関係資料の内 遠山左衛門上申書草案 近藤  
重蔵 文化4年2月 東京大学史料編纂所
- 54 ◎近藤重蔵関係資料の内 某(遠山左衛門カ)上申書草  
案 近藤重蔵 文化4年2月 東京大学史料編纂所
- 55 相房総台場略図 嘉永元年以降カ 真田宝物館
- 56 異国船之図 真田宝物館
- 57 近海航路并直径里数図 真田宝物館
- 58 海国兵談 真田宝物館
- 59 北槎聞略 真田宝物館
- 60 環海異聞 真田宝物館
- 61 蝦夷地図 個人(福山市寄託)
- 62 蝦夷久那志里島登麻里海湾図 個人(福山市寄託)
- 63 ◎蕪山代官江川家関係資料の内 公益財団法人 江川文  
庫
- 64 ◎蕪山代官江川家関係資料の内 蕪山御家来中様宛渡辺  
峯山書簡 天保8年10月25日 公益財団法人 江川文  
庫
- 65 ◎鷹見泉石関係資料の内 慎機論 鷹見泉石 古河歴史  
博物館
- 66 ◎鷹見泉石関係資料の内 夢幻記 鷹見泉石 古河歴史  
博物館
- 67 ◎蕪山代官江川家関係資料の内 江川太郎左衛門宛鳥居  
耀蔵書簡 天保10年5月12日 公益財団法人 江川文  
庫
- 68 ◎蕪山代官江川家関係資料の内 御本陣御宿割書上帳  
豆州伊東 和田村役人代忠次郎 天保10年2月 公益  
財団法人 江川文庫
- 69 ◎蕪山代官江川家関係資料の内 鳥居耀蔵上申書写  
天保10年 公益財団法人 江川文庫
- 70 房総相模御備場取調書 川村清兵衛 天保13年12月  
神奈川県立歴史博物館
- 71 近海見分之図 嘉永3年 神奈川県立歴史博物館
- 72 近海御備向見分御用留 佐々木循輔 嘉永3年 国立公  
文書館
- 73 ◎島津家文書の内 近海并御備場見分名前休泊割 東京  
大学史料編纂所
- 74 ◎蕪山代官江川家関係資料の内 近海見分ニ付豆州原木  
村人馬継之儀伺書 江川太郎左衛門 嘉永3年5月  
公益財団法人 江川文庫

- 75 ◎菰山代官江川家関係資料の内 近海見分ニ付人馬継立方之儀伺書 江川太郎左衛門 嘉永3年5月 公益財団法人 江川文庫
- 76 ◎菰山代官江川家関係資料の内 清水三郎助日記帖抜書 清水三郎助 公益財団法人 江川文庫
- 77 ◎菰山代官江川家関係資料の内 江川太郎左衛門宛柏木捻蔵書簡 嘉永3年5月12日 公益財団法人 江川文庫
- 78 ◎菰山代官江川家関係資料の内 近海御見分御用留 嘉永3年6月 公益財団法人 江川文庫
- 79 宇津木三右衛門家文書の内 嘉永4年辛戌年直弼公相州御備場御巡見私記 嘉永4年 個人 (彦根城博物館寄託)
- 80 新論 会沢正志斎 文政8年3月 宮内庁書陵部
- 81 田海録 第一冊、第二冊、第十七冊、第二十一冊、第二十三冊、第二十九冊 桑原如則 弘化5年～安政3年 宮城県図書館
- 82 ○前橋藩松平家記録の内 相州記録 文政7年～天保9年、天保14年、弘化2年、弘化3年、弘化4年、弘化5年、嘉永2年、嘉永3年 前橋市立図書館
- 83 ◎彦根藩井伊家文書の内 江州崎絵図 彦根城博物館
- 84 ◎彦根藩井伊家文書の内 江戸湾沿岸図 彦根城博物館
- 85 ◎彦根藩井伊家文書の内 房総州并相州御備絵図 彦根城博物館
- 86 ◎彦根藩井伊家文書の内 八王子山御台場図 彦根城博物館
- 87 井伊家伝来典籍の内 八王子山御台場図 彦根城博物館
- 88 ◎彦根藩井伊家文書の内 大崎御台場図 彦根城博物館
- 89 ◎彦根藩井伊家文書の内 長井村城山御台場図 彦根城博物館
- 90 ◎彦根藩井伊家文書の内 荒崎御台場図 彦根城博物館
- 91 井伊家伝来典籍の内 荒崎御台場図 彦根城博物館
- 92 ◎彦根藩井伊家文書の内 城ヶ島御台場絵図 彦根城博物館
- 93 ◎彦根藩井伊家文書の内 剣崎御台場図 彦根城博物館
- 94 ◎彦根藩井伊家文書の内 千駄崎御台場絵図 彦根城博物館
- 95 井伊家伝来典籍の内 千駄崎御台場図 彦根城博物館
- 96 ◎彦根藩井伊家文書の内 三崎陣屋絵図 彦根城博物館
- 97 ◎彦根藩井伊家文書の内 三崎陣屋絵図 彦根城博物館
- 98 井伊家伝来典籍の内 安房崎御台場図 彦根城博物館
- 99 彦根外三藩相州警衛事情 彦根市立図書館
- 100 魯西亜使節上陸及応接之図 個人 (福山市寄託)
- 101 露西亜へ返簡写 小島五一 個人 (福山市寄託)
- 102 露艦略図並船員所作図 個人 (福山市寄託)
- 103 露西亜人図 守屋壽コレクション (広島県立歴史博物館寄託)
- 104 瓊浦筆記 守屋壽コレクション (広島県立歴史博物館寄託)
- 参考
- 1 フロシヤ人物并小屋内部 天理大学附属天理図書館
- 2 キイタフ之門子ムロ場所之図 天理大学附属天理図書館
- 3 クルーゼンシュテルン 世界周航記 神奈川県立歴史博物館
- 4 鷹見泉石関係資料の内 魯西亜人図 古河歴史博物館

ウ 「時宗二祖上人七百年御遠忌記念 真教と時衆」展

会 期：10月5日(土)～11月10日(日) 神奈川県立歴史博物館  
9月7日(土)～11月10日(日) 遊行寺宝物館

主 催：時宗、時宗総本山 清浄光寺(遊行寺)、神奈川県立歴史博物館

後 援：藤沢市、藤沢市教育委員会、公益社団法人藤沢市観光協会、藤沢商工会議所、神奈川県新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMヨコハマ、J:COM

展示資料件数：67件

入 場 者 数：9,878名(有料2,138名、無料7,740名)

担 当：主任学芸員 小井川 理、学芸員 神野 祐太、学芸員 橋本 遼太

概 要：神奈川県藤沢市に総本山清浄光寺(遊行寺)を置く時宗は、「南無阿弥陀仏」の念仏を勧めて諸国を遊行した鎌倉時代の僧、一遍によって開かれた。宗祖一遍その人は「我化導は一期ばかりぞ」とそもそも教団を形作る姿勢や意思はなかったと言い、一遍亡き後、「時衆」と呼ばれた僧尼をまとめて教団として確立したのが二祖他阿弥陀仏真教であった。一遍の旅に随行し一遍没後も諸国を遊行した後、真教は相州当麻山無量光寺(相模原市)に拠点定め、教団の強化と後進の育成に努めた。

2019年は、真教が文保3年(1319)無量光寺に没して700年の御遠忌にあたる。これを期して、全国に400か寺を数える時宗寺院に伝来する遺宝の中から真教や東国にゆかりの名品を一堂に会して二祖真教の事蹟と時宗の文化財を紹介する。

本展は、遊行寺宝物館を第1会場、神奈川県立歴史博物館を第2会場として開催した。

- 関連行事：・記念講演会「時宗の美術」10月26日(土)  
 ・県博セミナー「二祖上人と遊行の美術」  
 10月19日(土)、11月2日(土)、11月9日(土)  
 ・現地見学会「時宗総本山清浄光寺(遊行寺)を歩く」10月24日(木)  
 ・公演「跡部の踊り念仏」  
 10月12日(土) ※台風19号の影響により中止  
 ・学芸員による展示解説  
 10月6日(日)、10月13日(日) ※台風19号の影響により中止  
 10月20日(日)、10月27日(日)、11月10日(日)

出品目録：(凡例) No.、指定、資料名、年代、所蔵・<所在地>

\*資料名の前に付した記号のうち、◎は国宝、○は重要文化財、◇は重要美術品、○は府県指定文化財、□は市町村指定文化財を示す。末尾に「※」があるものは写真・パネル展示の資料である。

1	○一遍上人像 南北朝時代 神奈川・清浄光寺	24	一期不断念仏結番 弘安元年(1278) 神奈川・清浄光寺
2	○一遍上人像 室町時代 神奈川・清浄光寺	25	◎六時居讃 南北朝時代 神奈川・清浄光寺
3	一遍上人立像(複製) 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館(原品：神奈川・無量光寺)	26	一遍上人立像 室町時代 神奈川・無量光寺
4	一遍上人・真教上人像 南北朝～室町時代 京都・金蓮寺	27	伝一遍上人倚像 南北朝時代 神奈川・蓮台寺
5	一遍上人・真教上人像 室町時代 個人蔵	28	吞海上人坐像 天正16年(1588) 神奈川・清浄光寺
6	一遍上人名号 鎌倉時代 神奈川・清浄光寺	29	□安国上人坐像 南北朝時代 宮城・真福寺
7	◎真教上人坐像※ 文保2年(1318) 神奈川・蓮台寺	30	◎一鎮上人倚像 文和3年(1354) 新潟・称念寺
8	◎真教上人坐像 鎌倉時代 山梨・称願寺	31	一遍上人僧尼踊躍念仏図 鎌倉～南北朝時代 京都・金蓮寺
9	真教上人坐像 鎌倉～南北朝時代 東京・法蓮寺	32	□阿弥陀三尊像 鎌倉時代 静岡・西光寺(沼津)
10	真教上人像 土佐光高筆 元禄8年(1695) 神奈川・清浄光寺	33	○阿弥陀三尊像 鎌倉時代 神奈川・教恩寺
11	真教上人名号 鎌倉時代 神奈川・清浄光寺	34	阿弥陀三尊像 延応元年(1239) 神奈川・蓮台寺
12	□伝熊野権現影向図 南北朝時代 滋賀・高宮寺	35	◎阿弥陀三尊像 宝治3年(1249) 埼玉・向徳寺
13	役行者像 室町時代 神奈川・清浄光寺	36	阿弥陀如来立像 鎌倉時代 京都・金蓮寺
14	○真教上人像 南北朝～室町時代 滋賀・高宮寺	37	◎一遍聖絵(12巻のうち) 正安元年(1299) 神奈川・清浄光寺
15	○浄阿上人像 鎌倉～南北朝時代 京都・金蓮寺	38	○遊行上人縁起絵(金蓮寺本) 20巻のうち 南北朝～室町時代 京都・金蓮寺
16	浄阿上人・波多野道憲対向図 南北朝時代 京都・金蓮寺	39	遊行上人縁起絵(金蓮寺別本) 1巻 南北朝時代 京都・金蓮寺
17	浄阿上人絵伝 室町時代 京都・金蓮寺	40	○遊行上人縁起絵(清浄光寺甲本) 10巻のうち 南北朝～室町時代 神奈川・清浄光寺
18	遊行縁起 室町時代 神奈川県立歴史博物館	41	遊行上人縁起絵(清浄光寺乙本) 10巻のうち 江戸時代 神奈川・清浄光寺
19	道場誓文 嘉元4年(1306) 神奈川・清浄光寺	42	◎遊行上人縁起絵(真光寺本) 10巻のうち 元亨3年(1323) 兵庫・真光寺
20	◎真教上人書状 有阿弥陀仏宛 二月十三日付(遊行歴代他阿弥陀仏書状類のうち) 正和5年(1316) 京都・長楽寺	43	◎遊行上人縁起絵(金光寺本) 4巻のうち 鎌倉～南北朝時代 京都・金光寺
21	◎真教上人書状 寿阿弥陀仏宛 七月廿九日付(遊行歴代他阿弥陀仏書状類のうち) 鎌倉時代 京都・長楽寺	44	◎遊行上人縁起絵(常称寺本) 4巻のうち 南北朝時代 広島・常称寺
22	◎智得上人書状(遊行歴代他阿弥陀仏書状類のうち) 鎌倉時代 京都・長楽寺	45	◇色紙金字阿弥陀経(蝶鳥経) 1巻 平安時代 神奈川・清浄光寺
23	◎安国上人書状 証阿弥陀仏宛 五月廿八日付 元弘3年(1333) 長野・金台寺		

- |    |                                    |    |  |
|----|------------------------------------|----|--|
| 46 | ◎二河白道図 鎌倉時代 奈良国立博物館                | 59 | □阿弥陀三尊像 鎌倉時代 千葉・本福寺                    |
| 47 | ○二河白道図 南北朝時代 神奈川・清浄光寺              | 60 | 空也上人立像 室町時代 神奈川・清浄光寺                   |
| 48 | 阿弥陀来迎図 (正面来迎) 室町時代 神奈川・清浄光寺        | 61 | 遊行上人縁起絵断簡 明治時代 個人蔵                     |
| 49 | 阿弥陀三尊来迎図 鎌倉時代 京都・金蓮寺※              | 62 | 鉦鼓 室町時代 神奈川県立歴史博物館                     |
| 50 | 持蓮華 (一遍所持) 鎌倉時代 神奈川・清浄光寺           | 63 | 宝珠文種子鉦架 桃山時代 神奈川県立歴史博物館                |
| 51 | □持蓮華 2柄 室町時代 永享4年(1432) 静岡・西光寺(磐田) | 64 | 阿弥陀種子蓮華文鉦架 江戸時代 神奈川県立歴史博物館             |
| 52 | ○十二光管(真教所持) 鎌倉時代 愛知・称名寺            | 65 | 阿弥陀位牌図鉦架支板 室町～桃山時代 神奈川県立歴史博物館          |
| 53 | 阿弥衣 永正18年(1521) 兵庫・興長寺             | 66 | 阿弥陀三尊図鉦架支板 室町～桃山時代 神奈川県立歴史博物館          |
| 54 | 阿弥衣 元龜2年(1570) 神奈川・清浄光寺            | 67 | 重要無形民俗文化財 跡部の踊念仏 2019年4月 長野・跡部踊り念仏保存会※ |
| 55 | 衾 文禄4年(1595) 神奈川・清浄光寺              |    |  |
| 56 | □阿弥陀三尊像 鎌倉時代 神奈川・来迎寺               |    |  |
| 57 | 菩薩立像 鎌倉時代 神奈川・無量光寺                 |    |  |
| 58 | □阿弥陀三尊像 鎌倉時代 千葉・善照寺                |    |  |

エ 「掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜」展

会 期：2月8日(土)～3月22日(日) ※1

主 催：神奈川県立歴史博物館

特 別 協 力：井伊直弼学問所埋木舎、専修大学、彦根城博物館、横浜能楽堂

後 援：彦根市、彦根市教育委員会、横浜市教育委員会、横浜市西区役所、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMヨコハマ、J:COM

展示資料件数：211件 (パネル展示、参考展示を含む)

入 場 者 数：2,087名 (有料1,292名、無料795名) ※2

担 当：主任学芸員 小井川 理、学芸員 武田周一郎、企画普及課長・学芸員 丹治雄一

概 要：横浜市西区掃部山公園には、幕末の大老で日米修好通商条約を締結し横浜開港を導いた井伊直弼の銅像が建つ。像は横浜開港から50年を経た明治42(1909)年に建立され、建立には旧彦根藩士で横浜正金銀行頭取を務めた相馬永胤が深く関与し、像の台座は横浜正金銀行本店本館(現神奈川県立歴史博物館)を設計した妻木頼黄が手がけた。2019年が銅像建立から110年目にあたることから、銅像建立の経緯や建立事業にかかわった人々の動向と、直弼の文化人としての事績、近代日本の中で揺れ動く直弼の評価、近現代の横浜で銅像が人々にどのように受け入れられていたのかといった視点から地域に残る資料に注目し、井伊直弼が開港の地横浜でどのように記憶されてきたのかを考察した。

関 連 行 事：・記念講演会①「井伊直弼と能・狂言」2月16日(日)

②「井伊直弼の近代」3月1日(日) ※3

・県博セミナー「井伊直弼と横浜」

2月15日、22日、3月7日、14日(土) ※3

・体験教室「直弼かるたに挑戦！」2月23日(日) ※3

・現地見学会①「直弼敬慕の地を巡る―一世田谷豪徳寺・狛江伊豆美神社―」

3月3日(火) ※3

②「妻木頼黄の設計を見る―横浜正金銀行本店本館・掃部山井伊直弼銅像台座―」3月13日(金) ※3

・特別茶席「直弼の茶道を知る―直弼流茶道・前田適水社中による茶席―」

3月7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日) ※3

・関連イベント「ひこにゃんがやってくる！」2月24日(月・祝)

・学芸員による展示解説

2月9日、16日、23日、3月1日、8日、15日(日) ※3

- ※1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、3月4日～22日は臨時休館。  
 ※2) 臨時休館により、入館者数は3月3日まで(22日間)の数値。  
 ※3) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、「直弼かるたに挑戦！」(2月23日)および3月に開催を予定していた関連行事を中止した。また3月以降のボランティアによる展示解説を中止した。

出品目録：(凡例) No.、指定、資料名、作者・製作・発行機関、年代、所蔵<所在地>

\*資料名の前に付した記号のうち、◎は重要文化財、□は区・市指定文化財を示す。

◆は写真パネル展示の資料である。

1	□井伊直弼銅像 藤田文蔵 明治40～41年(1907～08) 豪徳寺(東京)	18	故大老井伊直弼朝臣銅像保存会会則・請願書草稿 相馬永胤 明治44年(1911) 専修大学(相馬家文書)(東京)
2	建碑移文 発起人惣代武節貫治ほか 明治14年(1881) 9月 東沼波農業組合(滋賀)	19	掃部山銅像完成に際する園遊会の案内状 故井伊直弼銅像建設委員橋本正人ほか 明治42年(1909) 7月6日 個人
3	建碑規約 発起惣代 明治14年(1881) 9月 東沼波農業組合(滋賀)	20	掃部山公園の寄付についての通知状 伯爵井伊直忠 大正3年(1914) 12月 個人
4	◎公文録 上野公園内ニ井伊直弼ノ記念碑建設ヲ請フ件 太政官 明治16年(1883) 1月 国立公文書館	21	建碑委員総代ノ演述草稿 相馬永胤 大正4年(1915) 専修大学(相馬家文書)(東京)
参考	公文録(副本) 上野公園内ニ井伊直弼ノ記念碑建設ヲ請フ件 太政官 明治16年(1883) 1月 国立公文書館	22	◆ 藤田文蔵 女子美術大学歴史資料室(東京)
5	公文別録 故井伊直弼遺勲碑建設許否ノ件許可相成ラサルコトニ決シタル件 内閣 明治26年(1893) 11月25日 国立公文書館	23	ベートーベン胸像 藤田文蔵 女子美術大学歴史資料室(東京)
6	故井伊直弼公記念碑建設趣意広告 発起人井上勝彦ほか 明治20年代 埋木舎大久保忠直氏(彦根藩大久保家資料)(東京)	24	イコン 藤田文蔵 女子美術大学歴史資料室(東京) 参考 基督の一瞥 裏面解説文 加賀豊彦・木村靖 専修大学(相馬家文書)(東京)※ 参考 「逝ける彫刻界の二元老」(『中央美術』10号所収) 菊地鑄太郎 昭和9年(1934) 5月1日 個人 参考 「ラギーザ先生の事ども」(『アトリエ』11巻1号所収) 藤田文蔵 昭和9年(1934) 1月1日 個人
7	相馬永胤日記 相馬永胤 明治13～14年(1880～81) 専修大学(相馬家文書)(東京)	25	◆ 周布公平 明治42年(1909) 1月1日 国立国会図書館憲政資料室(周布公平関係文書)
8	相馬永胤日記 相馬永胤 明治15年(1882) 専修大学(相馬家文書)(東京)	26	◆ 相馬永胤 明治30年代 専修大学(相馬家文書)(東京)
9	相馬永胤日記 相馬永胤 明治39年(1906) 専修大学(相馬家文書)(東京)	27	◆ 相馬永胤 明治30年代 専修大学(相馬家文書)(東京)
10	相馬永胤日記 相馬永胤 明治40年(1907) 専修大学(相馬家文書)(東京)	28	◆ 相馬永胤 明治30年代 専修大学(相馬家文書)(東京)
11	相馬永胤日記 相馬永胤 明治41年(1908) 専修大学(相馬家文書)(東京)	29	◆ 相馬永胤 明治30年代 専修大学(相馬家文書)(東京)
12	相馬永胤日記 相馬永胤 明治42年(1909) 専修大学(相馬家文書)(東京)		
13	相馬永胤日記 相馬永胤 大正4年(1915) 専修大学(相馬家文書)(東京)		
◆	相馬永胤・大海原尚義 明治17年(1884) か 専修大学(相馬家文書)(東京)		
14	井伊直弼銅像除幕式報告 建設委員総代相馬永胤 明治42年(1909) 7月11日 専修大学(相馬家文書)(東京)		
15	横浜掃部山井伊直弼公銅像建設沿革 相馬永胤 明治42年(1909) 7月11日 専修大学(相馬家文書)(東京)		
16	故井伊直弼朝臣銅像除幕式之記 大鳥居正 明治42年(1909) 9月30日 神奈川県立図書館		
17	井伊大老銅像除幕式記念絵葉書 明治42年(1909) 7月 埋木舎大久保忠直氏(彦根藩大久保家資料)(東京)		

- 30 川島忠之助書簡 相馬永胤宛 川島忠之助 明治27年  
(1894) 6月8日 神奈川県立歴史博物館 (川島忠之助資料)
- 31 相馬永胤感謝状 中野喜三郎宛 横浜正金銀行 頭取 相馬永胤 明治37年(1904) 11月 神奈川県立歴史博物館
- 参考 新築落成式当日の記念写真 明治37年(1904) 8月8日 正友会 ※
- 32 妻木頼黄坐像 森鳳声か 大正5年(1916) 頃 神奈川県立歴史博物館
- 33 臨時建築部長室に於ける妻木博士 (『日本橋記念誌』所収) 安藤安編 明治44年(1911) 4月 神奈川県立歴史博物館
- 34 竣工当時の横浜正金銀行本店外観 横浜正金銀行 明治37年(1904) 神奈川県立歴史博物館
- 35 横浜正金銀行本支店建築写真アルバム 横浜正金銀行 明治41年(1908) 神奈川県立歴史博物館
- 36 横浜正金銀行建築要覧 横浜正金銀行 明治37年(1904) 神奈川県立歴史博物館
- 37 故井伊直弼朝臣銅像除幕式之記 (彦根) 小林兼三 明治44年(1910) 1月25日 埋木舎大久保忠直氏 (彦根藩大久保家資料) 〈東京〉
- 38 井伊直弼銅像写真(彦根) 精美館 明治44年(1910) 頃か 埋木舎大久保忠直氏 (彦根藩大久保家資料) 〈東京〉
- 参考 井伊大老銅像除幕式記念絵葉書 (横浜) 明治42年(1909) 埋木舎大久保忠直氏 (彦根藩大久保家資料) 〈東京〉
- 39 井伊直弼銅像 昭和24年(1949) 11月4日 彦根市 (彦根城内) 〈滋賀〉 ※
- 40 井伊直弼石膏像 明治～昭和時代 彦根市立城東小学校 〈滋賀〉 ※
- 41 井伊直弼銅像 明治時代 個人
- 42 井伊直弼画像 和歌賛「あふみの海…」 江戸時代 彦根城博物館 〈滋賀〉
- 43 井伊直弼画像 和歌賛「あふみの海…」 明治時代 埋木舎大久保忠直氏 (東京)
- 44 月に薄画賛「かすかなる…」 井伊直弼 江戸時代 埋木舎大久保忠直氏 (東京)
- 45 布袋画賛「空にすむ…」 井伊直弼 江戸時代 埋木舎大久保忠直氏 (東京)
- ◆ 大久保小膳 (章男・宗保) 埋木舎大久保忠直氏 (東京)
- 46 ◎井伊直弼書状 犬塚外記宛 井伊直弼 弘化2年(1845) 8月19日 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 47 ◎井伊直弼書状 三浦十左衛門宛 井伊直弼 嘉永4年(1851) 11月頃 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 48 ◎井伊直弼書状 撰専宛 井伊直弼 嘉永6年(1853) 6月晦日 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 49 ◎井伊直弼書状案 九条尚忠宛 井伊直弼 安政5年(1858) 6月27日 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 50 ◎高峰原明(妙) 禪師六転語之和歌草稿 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 51 ◎仏洲仙英書状 井伊直弼宛 仏洲仙英 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 52 ◎柳廼四附 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 53 ◎狂言草稿 安達女 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 54 ◎謡本草稿 筑摩江 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 55-1 ◎井伊直弼茶湯尋書 片桐宗猿宛 井伊直弼 嘉永2年(1849) 1月19日 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 55-2 ◎井伊直弼茶湯尋書 片桐宗猿宛 井伊直弼 嘉永2年(1849) 3月21日 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 55-3 ◎井伊直弼茶湯尋書 片桐宗猿宛 井伊直弼 安政4年(1857) 1月12日 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 56 ◎宗猿先生茶道聞書 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 57 炭組様之図下書 井伊直弼 江戸時代 埋木舎大久保忠直氏 (彦根藩大久保家文書) 〈東京〉
- 58 ◎披間之弁 井伊直弼 安政4年(1857) 10月 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 59 ◎茶湯一会集草稿 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 60 ◎茶湯一会集 井伊直弼 安政4年(1857) 6月頃 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 61 ◎閑夜茶話 井伊直弼 弘化元年(1844) 頃 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 62 ◎茶道と政道 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 63 ◎茶湯三言四句 井伊直弼 弘化2年(1845) 2月 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 64 ◎書跡「茶十徳」 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 65 寒雉写万代屋手取釜 西村道也 江戸時代 彦根城博物館 (井伊家伝来資料) 〈滋賀〉
- 66 漣風炉および下図 下図: 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (井伊家伝来資料) 〈滋賀〉
- 67 月次茶器 中村宗哲(8代) 江戸時代 個人
- 68 井伊直弼書状 上田成伴宛 赤絵金彩近江八景図盃洗下図添 井伊直弼 江戸時代 個人
- 69 ◎井伊直弼書状 安東貞信宛 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉

- 70 湖東焼金襴手雲鶴文茶碗 幸齋 江戸時代 彦根城博物館 (井伊家伝来資料) 〈滋賀〉
- 71 湖東焼金襴手芦雁図水指 鳴鳳 江戸時代 彦根城博物館 (井伊家伝来資料) 〈滋賀〉
- 72 湖東焼金襴手柳翡翠図建水 鳴鳳 江戸時代 彦根城博物館 (井伊家伝来資料) 〈滋賀〉
- 73 楽焼七種香合 井伊直弼 江戸時代 埋木舎大久保忠直氏 (東京)
- 74 鉦鞘花生 井伊直弼 安政3年(1856) 彦根城博物館 (井伊家伝来資料) 〈滋賀〉
- 75 竹花生 銘千とせの始 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (井伊家伝来資料) 〈滋賀〉
- 76 竹茶杓 銘ゆふ月 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 〈滋賀〉
- 77 竹茶杓 銘清友 井伊直弼 江戸時代 個人
- 78 象牙茶杓 筒銘半寸庵 伊佐幸琢(3代) 江戸時代 埋木舎大久保忠直氏 (東京)
- 79 ◎東都水屋帳 井伊直弼 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 80 ◎懐石附 江戸時代 彦根城博物館 (彦根藩井伊家文書) 〈滋賀〉
- 81 黒文字 宇津木宗洗所用 江戸時代 個人 (彦根藩宇津木家資料)
- 82 茶湯一会集写本 井伊直弼著 三浦義太郎写 江戸時代 彦根城博物館 (三浦十左衛門家文書) 〈滋賀〉
- 83 茶湯一会集写本 井伊直弼著 大久保宗保写 安政4年(1857)8月 埋木舎大久保忠直氏 (彦根藩大久保家文書) (東京)
- 84 十箇条写本 井伊直弼著 大久保宗保写 江戸時代 埋木舎大久保忠直氏 (彦根藩大久保家文書) (東京)
- 85 茶の湯道しるへ 江戸時代 埋木舎大久保忠直氏 (彦根藩大久保家文書) (東京)
- 86 茶之湯亭主心得并懐石次第写本 井伊直弼著 大久保宗保筆 江戸時代 埋木舎大久保忠直氏 (彦根藩大久保家文書) (東京)
- 87 茶事心おほへ 大久保宗保 江戸時代 埋木舎大久保忠直氏 (彦根藩大久保家文書) (東京)
- 88 井伊大老茶道談 中村勝麻呂編 箒文社刊 大正3年(1914)11月23日 神奈川県立図書館
- 89 東都茶会記 第一輯中巻 高橋義雄(箒庵) 箒文社刊 大正3年(1914) 慶應義塾図書館 (高橋箒庵文庫) (東京)
- ◆ 高橋義雄 慶應義塾福澤研究センター (東京)
- 90 茶会記 高橋義雄写 明治45年(1912)頃 慶應義塾図書館 (高橋箒庵文庫) (東京)
- 91 茶事尋書 高橋義雄写 明治45年(1912) 慶應義塾図書館 (高橋箒庵文庫) (東京)
- 92 湖東陶志 北村壽四郎著 大正元年(1912)頃 慶應義塾図書館 (高橋箒庵文庫) (東京)
- 93 井伊直弼公百回誕辰記念講演 高橋義雄(箒庵) 大正3年(1914)頃 慶應義塾図書館 (高橋箒庵文庫) (東京)
- 94 大正名器鑑 第一編 高橋義雄(箒庵)著 大正10年(1921) 慶應義塾図書館 (東京)
- 95 茶湯一会集 井伊直弼著 益田鈍翁諸言 大正12年(1923) 慶應義塾図書館 (高橋箒庵文庫) (東京)
- 96 □井伊直弼画像 井伊直安 明治~大正時代 豪徳寺 (東京)
- 97 皇国一新見聞誌 桜田上巳の雪 大蘇芳年 明治9年(1876) 神奈川県立歴史博物館 (丹波コレクション)
- 98 桜田門外浪士襲撃 歌川芳年 明治10年(1877)頃 神奈川県立歴史博物館 (丹波コレクション)
- 99 江水散花雪 歌川芳年 明治10年(1877)頃 神奈川県立歴史博物館 (丹波コレクション)
- 100 近世桜田の雪 歌川豊宣 明治17年(1884)頃 神奈川県立歴史博物館 (丹波コレクション)
- 101 日本花図絵 桜田上巳登城 尾形月耕 明治25年(1892) 神奈川県立歴史博物館 (丹波コレクション)
- 102 開国始末 島田三郎 明治21年(1888)3月20日 彦根市文化財課 〈滋賀〉
- 参考 直弼彦根ノ埋木舎ニ閑居スルノ図 (『開国始末』挿図) 野口小嶺 吾妻健三郎石版彫刻 明治21年(1888)3月20日 個人
- 103 島田三郎書簡 西村捨三宛 島田三郎 明治20年(1887)11月12日 専修大学 (相馬家文書) (東京)
- 104 相馬永胤書簡草稿 島田三郎宛 相馬永胤 明治20年(1887)11月17日 専修大学 (相馬家文書) (東京)
- ◆ 遠城謙道 個人
- 105 建白書草稿 遠城謙道 明治11年(1878) 彦根城博物館 〈滋賀〉
- ◆ 西村捨三銅像(部分) 大阪市港区(天保山公園) (大阪)
- ◆ 大東義徹 彦根市立図書館 〈滋賀〉
- 106 画賛「小家にも…」 遠城謙道 明治時代 個人
- 107 画賛「攻病尽…」 遠城謙道 明治時代 彦根城博物館 〈滋賀〉
- 108 遠城謙道書簡 大東義徹宛 遠城謙道 明治30年(1897)12月18日 彦根城博物館 〈滋賀〉
- 109 遠城謙道書簡 大東義徹宛 遠城謙道 明治33年(1910)3月16日 彦根城博物館 〈滋賀〉
- ◆ 日下部鳴鶴(東作) 彦根城博物館 〈滋賀〉
- 110 七言詩書幅「捷報号中…」 日下部鳴鶴 明治38年(1915) 彦根城博物館 〈滋賀〉
- 111 日下部東作書簡 大東国太郎宛 日下部東作 明治38年(1915)4月23日 彦根城博物館 〈滋賀〉
- 112 日下部東作書簡 大久保誠一郎宛 日下部東作 明治時代(年不明)10月19日 個人 (三居孫太夫家文書)
- 113 日下部東作書簡 相馬永胤宛 日下部東作 11月15日 専修大学 (相馬家文書) (東京)

- ◆ 遠城謙道師遺蹟碑 豪徳寺〈東京〉
- 114 井伊掃部頭直弼公五十年祭記念絵葉書 明治42  
(1909) 3月 彦根城博物館(岡島家伝来資料)〈東京〉
- 115 東京世田谷豪徳寺絵葉書 大正6年(1917) 彦根城博  
物館(岡島家伝来資料)〈東京〉
- 116 遠城謙道伝 佐成源五郎著 遠城兵造編 昭和9年  
(1934) 11月15日 個人
- 117 道話 自脩編 小町雄八著 小町茂再版 明治32年  
(1899) 6月10日 個人
- 118 □井伊直弼公敬慕碑 撰文:本居豊穎 書:久保恵鄰  
明治34年(1901) 12月 伊豆美神社〈東京〉※  
参考 井伊直弼公敬慕碑「開港碑」拓本 明治時代 個人  
参考 井伊直弼公敬慕碑台座拓本 現代 個人
- 119 井伊直弼公敬慕碑建築計画図 明治時代 個人
- 120 「開港碑」草稿および書状・書画貼り交ぜ 本居豊穎ほ  
か 明治32年(1899)頃 個人
- 121 「立誠而居敬」額 沖守固 明治17年(1884) 10月10日  
個人
- 122 少年読本第六編 井伊掃部頭 巖谷小波 明治32年  
(1899) 3月21日 個人
- 123 井伊大老と開港 中村勝麻呂 明治42年(1909) 7月3日  
神奈川県立歴史博物館
- 124 京浜所在銅像写真 第1輯 人見幾三郎 明治43年  
(1910) 5月25日 神奈川県立歴史博物館(橋忠助氏旧蔵  
美術資料群)
- 125 絵封筒 桜木町・掃部山・船出・棧橋・人力車 笠松紫  
浪筆 昭和時代 川崎・砂子の里資料館〈東京〉
- 126 彦根山由来記 中村不能斎(中村勝麻呂校訂) 明治43  
年(1910) 10月5日 個人
- 127 仏教史学 第1編第10号 明治45年(1912) 個人
- 128 真面目の人井伊大老(未定稿) 第1回 中村勝麻呂  
大正10年(1921) 神奈川県立公文書館
- 129 至誠之人 井伊大老 中村勝麻呂 大正10年(1921)  
10月23日 神奈川県立図書館
- 130 世界の平和を謀る井伊大老とハリス 北村壽四郎 昭和  
9年(1934) 7月17日 個人
- 131 横浜市史稿 地理編 横浜市役所 昭和7年(1932)  
11月26日 神奈川県立歴史博物館
- 132 掃部山公園井伊直弼銅像建設始末 横浜史料調査委員会  
昭和12年(1937) 2月 横浜市中央図書館
- 133 井伊大老銅像除幕問題ノ二 横浜史料調査委員会 昭和  
12年(1937) 4月 横浜市中央図書館
- 134 井伊直弼朝臣八十周年記念行事輯録 井伊直弼朝臣顕彰  
会 昭和15年(1940) 9月25日 個人
- 135 井伊大老 井伊直弼朝臣顕彰会 昭和15年(1940) 4月  
10日 個人
- 136 絵葉書 天定勝人 井伊直弼朝臣顕彰会 昭和15年  
(1940) 4月 埋木舎大久保忠直氏(彦根藩大久保家資  
料)〈東京〉
- 137 国定国史教科書中井伊大老に関する記事に付ての意見  
井伊直弼朝臣顕彰会 昭和17年(1942) 1月15日 彦根  
市文化財課(滋賀)
- 138 井伊大老史実研究会趣意書 井伊大老史実研究会 昭和  
23年(1948) 個人
- 139 花の生涯 舟橋聖一著 新潮社刊 昭和29年(1954)  
7月25日 個人
- 140 連続ラジオ小説「柳はみどり」「若き日の井伊直弼」  
台本 平山清郎作 日本短波放送 昭和30年(1955)  
個人
- 141 連続テレビドラマ「花の生涯」第8回台本 日本放送協  
会作成 昭和38年(1963) 個人
- 142 「花の生涯」石碑 昭和39年(1964) 彦根市(彦根城  
内)〈滋賀〉※
- 143 掃部山井伊直弼銅像絵葉書 明治～昭和時代 神奈川県  
立金沢文庫(楠山永雄コレクション)
- 参考 掃部山井伊直弼銅像絵葉書 明治～昭和時代 個人  
(宮崎恵之助コレクション)
- 144 関東大震災で動いた井伊直弼銅像(『大正十二年九月一  
日大震災写真帖』所収) 神奈川県 大正12年(1923)  
12月 神奈川県立歴史博物館
- 145 掃部山周辺を写したパノラマ写真(部分) 昭和2年  
(1927) 個人
- 146 大礼記念掃部山バザー記念写真帖 大礼記念掃部山バザ  
ー協会 昭和3年(1928) 7月 神奈川県立歴史博物館
- 147 神奈川県鳥瞰図 吉田初三郎 神奈川県観光連合会 昭  
和7年(1932) 神奈川県立歴史博物館 \*実物は2階  
展示室にて展示した。
- 148 神奈川県観光図絵 吉田初三郎 神奈川県観光連合会  
昭和9年(1934) 12月30日 神奈川県立歴史博物館
- 149 京浜・湘南連絡線開通記念パンフレット 京浜電気鉄道  
湘南電気鉄道 昭和6年(1931) 12月 神奈川県立歴史  
博物館
- 150 井伊直弼銅像前での集合写真(小坂小学校写真アルバ  
ム) 昭和14年(1939) 11月 鎌倉市立小坂小学校  
(東京)
- 151 崎陽軒御弁当掛紙 合名会社崎陽軒 昭和14年(1939)  
1月29日 神奈川県立金沢文庫(楠山永雄コレクショ  
ン)
- 参考 崎陽軒御弁当掛紙 合名会社崎陽軒 昭和15年(1940)  
4月7日 神奈川県立歴史博物館
- 152 崎陽軒鯛めし掛紙 株式会社崎陽軒 昭和時代 神奈川  
県立金沢文庫(楠山永雄コレクション)
- 参考 崎陽軒鯛めし掛紙 株式会社崎陽軒 昭和52年(1977)  
9月5日 神奈川県立歴史博物館
- 153 崎陽軒いなり寿し掛紙 株式会社崎陽軒 昭和52年  
(1977) 5月4日 神奈川県立歴史博物館
- 参考 崎陽軒シウマイ弁当掛紙 株式会社崎陽軒 昭和38年  
(1963) 9月20日 神奈川県立金沢文庫(楠山永雄コレ  
クション)

- 参考 彦根 湖城軒幕の内弁当掛紙 湖城軒 昭和時代 神奈川県立歴史博物館
- 154 浜じまんしおり 浜じまん株式会社 昭和時代 神奈川県立歴史博物館
- 155 横浜市電気局電車回数券 横浜市電気局 昭和戦前期 神奈川県立金沢文庫 (楠山永雄コレクション)
- 156 倒される井伊直弼銅像 昭和18年(1943) 横浜市史資料室 (横浜の空襲と戦災関連資料 久保庭精氏提供) ※
- 157 横浜歴史年表 横浜歴史年表編纂委員会 昭和26年(1951)9月30日 神奈川県立歴史博物館
- 158 開国百年記念井伊大老展図録 三越(東京日本橋) 昭和28年(1953)10月 個人
- 159 開国百年記念行事の実施書類綴 知事公室秘書課 昭和29年(1954) 神奈川県立公文書館
- 160 物故功労者功績書 横浜市役所ほか 昭和29年(1954)4月 個人
- 161 開国百年記念歴史展出品書類・会場図面 横浜市役所ほか 昭和29年(1954) 個人
- 162 開国百年記念歴史展招待状 横浜市・神奈川県・横浜商工会議所 昭和29年(1954)5月 個人
- 163 井伊直弼銅像除幕式・開港九十六年みなと祭祝賀式次第 昭和29年(1954) 個人
- 164 掃部山公園と井伊大老銅像の由来 昭和29年(1954) 個人
- 165 横浜市歌 昭和29年(1954) 個人
- 166 開国百年記念歴史展目録 横浜市・神奈川県・横浜商工会議所 昭和29年(1954) 個人
- 167 開国百年記念歴史展記念手拭い 横浜市・神奈川県・横浜商工会議所 松屋製 昭和29年(1954) 個人
- 168 掃部山銅像除幕式を伝える新聞記事 東京新聞 昭和29年(1954)6月2日 個人
- 169 開国百年祭記録写真 神奈川県広報課 昭和29年(1954) 神奈川県立公文書館 ※
- 170 井伊直弼銅像 慶寺丹長 昭和20年代 横浜市中央図書館
- 171 井伊直弼・浅野総一郎像模型 慶寺丹長 昭和20年代 横浜開港資料館
- 172 よい子の交通双六 横浜市警察本部・横浜市交通安全協会 昭和29年(1954)頃か 神奈川県立歴史博物館
- 173 日本開港百年記念切手 大蔵省印刷局 昭和33年(1958)5月10日 神奈川県立歴史博物館
- 174 日本開港百年記念切手初日カバー付色紙 昭和33年(1958)頃か 個人
- 175 西区虫の音を聞く会 令和元年(2019) ※
- 176 かもんやま薪能ポスター 第1回・第11回 昭和59年(1984)・平成6年(1994) 横浜市西区役所
- 177 お座敷列車「市民交流号」ヘッドマーク 昭和62年(1987) 横浜市西区役所
- 参考 横浜市西区のパンフレット 令和元年(2019) 横浜市西区役所
- 参考 西区虫の音を聞く会のプログラム 令和元年(2019) 横浜市西区役所

### (3) コレクション展

1階フリーゾーンにあるコレクション展示室において、常設展示では紹介しきれない館のコレクションの一部を、年1回程度展示している。(観覧料無料)

「桜井家文書 一戦国武士がみた戦争と平和」展

会 期：11月19日(火)～12月22日(日)

展示資料件数：31件

担 当：学芸員 渡邊 浩貴

概 要：当館所蔵の「桜井家文書」は、戦国大名北条氏(氏康・氏政・氏直期)の家臣であった桜井氏の家伝文書である。その内訳は、北条氏発給文書の中世文書11通、近世における越前藩主結城秀康・松平忠直等の発給文書18通と桜井氏自筆の覚書1通の合計30通からなり、各史料の保存状態は良好で、ウブなままで伝来した。そのため「桜井家文書」は、これまで文書様式や折式に関する研究が積み重ねられるとともに、現存する複数の藩主松平忠直の書状から、未詳部分の多い松平忠直の治世や初期越前藩の政治状況をも窺い知ることができる貴重な文書群である。当館では「桜井家文書」の近世文書分について、2017年度から2018年度にかけて保存と今後の公開に向けて修理を行ってきた。本展は、この修理事業の完了を記念して実施するものである。また「桜井家文書」全点を公開することで、中近世移行期という時代の転換期を生きた戦国武士桜井氏の、戦国大名北条氏時代から越前藩時代にわたる諸活動のあらましを示し、その上で桜井氏という一戦国武士の視点を通じ、戦争から平和へと移り変わる時代の変化をとらえることも企図している。本展と関連して常設展示室ではトピック展「関東足利氏—新収蔵史料の紹介—」(会期11月19日(火)～12月27日(金))も開催した。

- 関 連 行 事 : ・記念講演会「北条氏得宗の文書とその影響」12月22日(日)  
 ・講座「戦国武士の『就活』最前線!—『桜井家文書』を読む—」  
 11月23日(土・祝)  
 ・連続講座「地域史のための中世古文書入門—フィールドワーク事始め—」  
 11月30日、12月7日、14日、21日(土)  
 ・学芸員による展示解説  
 11月24日(日)、12月1日(日)、12月8日(日)、12月15日(日)同日2回、  
 12月21日(土)

出 品 目 録 : (凡例) No.、名称、員数、時代、所蔵

1	北条氏康書状	1通	切紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
2	北条氏政感状	1通	切紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
3	北条家朱印状	1通	縦紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
4	北条家朱印状	1通	縦紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
5	北条家朱印状	1通	縦紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
6	北条家朱印状	1通	縦紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
7	北条家朱印状	1通	折紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
8	北条家朱印状	1通	折紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
9	北条家朱印状	1通	縦紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
10	北条氏直感状	1通	切紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
11	北条氏直朱印状	1通	小切紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
参考	小田原合戦仕寄陣取図(複製)	1幅		戦国時代	神奈川県立歴史博物館(原品:山口県文書館(毛利文庫))
12	結城秀康知行宛行状	1通	縦紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
13	結城秀康知行宛行状	1通	縦紙	戦国時代	神奈川県立歴史博物館
14	越前藩年寄衆連署掟書	1通	縦紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
15	松平忠直知行宛行状	1通	縦紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
16	松平忠直知行宛行状	1通	縦紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
17	越前藩年寄衆連判覚書	1通	縦紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
18	松平忠直知行宛行状	1通	縦紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
19	松平忠直黒印状	1通	縦紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
20	松平忠直知行宛行状	1通	縦紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
21	松平忠直書状	1通	折紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
22	松平忠直書状	1通	折紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
23	松平忠直書状	1通	折紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
24	松平忠直書状	1通	折紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
25	松平忠直書状	1通	折紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
26	松平忠直書状	1通	折紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
27	松平忠直書状	1通	折紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
28	松平忠直書状	1通	折紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
29	松平忠直書状	1通	折紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館
30	我等はしりめぐり之覚	1通	継紙	江戸時代	神奈川県立歴史博物館

(4) その他の展示

- ア 特別陳列「古文書が語る富士山宝永噴火—神奈川県域の被災と復興—」展  
 会 期 : 1月7日(火) ~ 2月2日(日)  
 会 場 : 特別展示室  
 主 催 : 神奈川県立歴史博物館  
 展示資料件数 : 56件  
 入 場 者 数 : 4,483名  
 担 当 : 専門員 古宮 雅明

概 要：当館では2006年（平成18年）に特別展『富士山大噴火—宝永の「砂降り」と神奈川県—』を開催し、神奈川県内はもとより、全国各地から集めた多くの関係資料により宝永噴火の様相と深刻な被災状況、そしてそこからの復興過程を展示・紹介した。神奈川県域には深刻な被災状況とその後の困難な復興過程を窺うことのできる、なお多くの古文書や絵図などの資料が残されており、前回の特別展では展示できなかった資料も数多く存在する。またその後の調査研究で新たに見出した未紹介資料もある。本企画は前回特別展では紹介できなかった関連資料を紹介する事を趣旨とした。この趣旨から対象とする地域を神奈川県域に限定し、主に旧名主家に伝えられてきた古文書を中心とした展示構成とした。

関 連 行 事：・記念講演会「富士山宝永噴火の再現に挑む」1月19日(日)  
 ・連続講座「古文書解読講座—富士山宝永噴火の史料を読む—」  
 1月11日、18日、25日(土)  
 ・学芸員による展示解説  
 1月13日(月・祝)、2月1日(土)

出 品 目 録：(凡例) No.、名称、時代、所蔵(文書群名)

\*史料名は内容等を考慮して新たに付したものがあ。そのため既刊の資料所在目録等の史料名とは異なるものもある。

1 富士山噴火絵図并御徒歩目付見分書上写 宝永5年(1708)以降 神奈川県立歴史博物館	17 請取申手形之事 宝永5年(1708)5月27日 個人(都筑郡勝田村 関家文書)
2 宝永四年亥十一月砂大降記写 天保10年(1839) 寒川町文書館 (高座郡宮山村 皆川家文書)	18 砂降り被害ニ付訴訟の事 宝永5年(1708)閏1月 藤沢市文書館寄託 (高座郡羽鳥村 三嘴家文書)
3 苺一色村砂降り開発絵図 宝永6年(1709)5月19日 個人 (足柄上郡苺一色村 武井家文書)	19 砂降り被害ニ付救済願 宝永5年(1708)閏1月 藤沢市文書館寄託 (高座郡羽鳥村 三嘴家文書)
4 苺一色村砂ふり開発絵図 宝永6年(1709)6月 個人 (足柄上郡苺一色村 武井家文書)	20 御救金請取ニ付見分衆へ差上一札控 宝永5年(1708)3月3日 藤沢市文書館寄託 (高座郡羽鳥村 三嘴家文書) 21 砂埋り潰れ地書上雛形 宝永5年(1708) 藤沢市文書館寄託 (高座郡羽鳥村 三嘴家文書)
5 開発馬飼料麦種買代三色金割付連判帳 宝永5年(1708)3月～ 小田原市立図書館 (足柄上郡小船村 船津家文書)	22 羽鳥村悪水堀砂埋りニ付堀普請願 宝永5年(1708)4月 藤沢市文書館寄託 (高座郡羽鳥村 三嘴家文書)
6 宝永六年小舟村絵図 宝永6年(1709)5月 小田原市立図書館 (足柄上郡小船村 船津家文書)	23 羽鳥村岩砂埋書上 宝永4年(1707)12月 藤沢市文書館寄託 (高座郡羽鳥村 三嘴家文書)
7 (幕府より)申渡之覚 宝永5年(1708)1月 個人(都筑郡勝田村 関家文書)	24 (幕府より)申渡之覚 宝永5年(1708)1月 藤沢市文書館寄託 (高座郡羽鳥村 三嘴家文書)
8 御救金請取、百姓へ割渡しの證文 宝永5年(1708)6月1日 個人 (都筑郡勝田村 関家文書)	25 御救金馬飼料御金割帳 宝永5年(1708) 藤沢市文書館寄託 (高座郡西富村 青木四郎家文書)
9 勝田村池浚願書之写 宝永5年(1708)5月 個人(都筑郡勝田村 関家文書)	26 藤沢大川砂浚金割付帳 宝永5年(1708) 藤沢市文書館寄託 (高座郡西富村 青木四郎家文書)
10 請取申米之事 宝永5年(1708)3月27日 個人(都筑郡勝田村 関家文書)	27 西富岡村絵図 宝永5年(1708) 伊勢原市教育委員会(大住郡西富岡村 堀江家文書)
11 乍恐口上書ヲ以奉願上候事 宝永5年(1708)閏1月 個人(都筑郡勝田村 関家文書)	28 宝永五年砂御検分書上ケ帳 宝永5年(1708)3月～ 伊勢原市教育委員会 (大住郡西富岡村 堀江家文書)
12 御救金請取證文 宝永5年(1708)3月16日 個人(都筑郡勝田村 関家文書)	29 宝永五年子ノ二月扶持方御救麦之割帳 宝永5年(1708)2月15日 伊勢原市教育委員会 (大住郡西富岡村 堀江家文書)
13 御救金等請取に付一札 宝永5年(1708)3月18日 個人 (都筑郡勝田村 関家文書)	30 宝永五年砂積候ニ付用水堀浚扶持方割帳 宝永5年(1708) 伊勢原市教育委員会 (大住郡西富岡村 堀江家文書)
14 堀浚扶持駄賃請取證文 宝永5年(1708)3月28日 個人 (都筑郡勝田村 関家文書)	31 御救金馬飼料代割合帳 宝永5年(1708) 伊勢原市教育委員会 (大住郡西富岡村 堀江家文書)
15 御救金請取ニ付一札(下書き) 宝永5年(1708)3月 個人 (都筑郡勝田村 関家文書)	32 飢人扶持頂戴ニ付口上書 宝永5年(1708)6月4日
16 相渡申手形之事 宝永5年(1708)4月1日 個人(都筑郡勝田村 関家文書)	

- 伊勢原市教育委員会 (大住郡西富岡村 堀江家文書)
- 33 高役金上納之事 (宝永5年〔1708〕) 3月25日 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 34 荻原近江守酒匂川見分ニ付 (宝永5年〔1708〕) 5月19日 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 35 砂退未完了地分高役金免除願 (宝永5年〔1708〕) 5月17日 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 36 困窮に付夫食願 宝永5年(1708) 閏1月22日 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 37 相州塩海川通り川浚願 宝永5年(1708) 4月 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 38 領主倉橋内匠より夫食支給ニ付覚 宝永5年(1708) 閏1月15日 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 39 救済金の覚 (宝永5年〔1708〕) 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 40 御救金割付高書付 (宝永5年〔1708〕) 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 41 被下候御救金覚 (宝永5年〔1708〕) 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 42 幕府へ被害検願 (宝永4年〔1707〕カ) 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 43 領主倉橋内匠へ砂降り被害の見分願 宝永4年(1707) 12月 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 44 幕府へ見分の上田畑用水開発援助の願 宝永4年(1707) 12月 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 45 見分衆へ砂退け出精請書 宝永5年(1708) 閏1月5日 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 46 幕府代官へ救済願下書き 宝永5年(1708) 閏1月 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 47 田畑砂置場書 宝永5年(1708) 5月 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 48 見分衆へ開発状況報告 宝永5年(1708) 3月7日 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 49 幕府より地頭へ申渡覚(砂退督励指示) 宝永5年(1708) 1月16日 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 50 幕府より地頭へ申渡覚(高役金取立) 宝永5年(1708) 閏1月 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 51 (幕府より)申渡之覚 宝永5年(1708) 1月 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 52 御救金請取ニ付惣百姓連判手形 (宝永5年〔1708〕) 個人 (洵綾郡中里村 高橋家文書)
- 53 開発目論見お尋ニ付返答書 宝永5年(1708) 閏1月 秦野市教育委員会 (大住郡横野村 横野自治会共有文書)
- 54 領主野田氏へ嘆願書 宝永5年(1708) 閏1月 秦野市教育委員会 (大住郡横野村 横野自治会共有文書)
- 55 横野村開発状況書上 宝永5年(1708) 5月 秦野市教育委員会 (大住郡横野村 横野自治会共有文書)
- 56 横野村宝永六年年貢割付状 宝永6年(1709) 12月 秦野市教育委員会 (大住郡横野村 横野自治会共有文書)
- 57 金井嶋村御救金等割付帳 宝永5年(1708) 閏1月6日～ 神奈川県立公文書館寄託 (足柄上郡金井嶋村 瀬戸家文書)
- 58 御救金請取覚 宝永5年(1708) 4月 神奈川県立公文書館寄託 (津久井郡沢井村 石井家文書)
- 59 御救金請取につき一札 宝永5年(1708) 神奈川県立公文書館寄託 (鎌倉郡瀬谷村 岩崎家文書)
- 60 御救金請取につき覚 宝永5年(1708) 4月22日 神奈川県立公文書館寄託 (三浦郡木古庭村 伊東家文書)
- 61 丑ノ年御用村継書留覚 宝永6年(1709) 神奈川県立公文書館寄託 (足柄上郡瀬川村 井上家文書)
- 62 子丑寅卯辰迄御救金受取覚 宝永5年(1708)～正徳2年(1713) 神奈川県立公文書館寄託 (足柄上郡皆瀬川村 井上家文書)
- 63 相模川川普請願 宝永5年(1708) 6月 神奈川県立公文書館 (大住郡戸田村 小塩家文書)
- 64 正徳三(一七一三)年割付状 正徳3年(1713) 10月 神奈川県立公文書館 (大住郡戸田村 小塩家文書)
- 65 享保十四(一七二九)年割付状 享保14年(1729) 10月 神奈川県立公文書館 (大住郡戸田村 小塩家文書)
- 66 天明七(一七八七)年割付状 天明7年(1787) 10月 神奈川県立公文書館 (大住郡戸田村 小塩家文書)

イ 令和元年度かながわの遺跡展「縄文と弥生—時代と文化の転機を生きた人々—」

会 期：11月27日(水)～12月22日(日)

会 場：特別展示室

主 催：神奈川県教育委員会、神奈川県立歴史博物館、綾瀬市教育委員会

後 援：NHK 横浜放送局、読売新聞横浜支局、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、産経新聞社横浜総局、日本経新聞社横浜支局、東京新聞横浜支局、神奈川新聞社、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、ラジオ日本、TVK、FMヨコハマ、J:COM

展示資料件数：380件

入 場 者 数：5,013名

担 当：神奈川県教育局生涯学習部文化遺産課中村町駐在事務所 主事 小此木 健

概 要：縄文時代から弥生時代への移り変わりは、狩猟採集社会から稲作農耕社会へと変化を遂げる転機であり、歴史上の大きなターニングポイントであった。

神奈川県域をはじめとした関東地方や中部高地では、縄文時代中期に極大化した遺跡数は、後期を迎えると減少に転じ、後期後葉以降から晩期にかけて激減する。

その背景として、世界的な気候の寒冷化により植生が変化したことで食料資源が枯渇し、狩猟採集社会が行き詰まり、その窮状を打破すべく稲作を取り入れることで、歴史的な転換がはかられてきたとされてきた。

しかし近年、停滞あるいは衰退と評価されてきた縄文時代後・晩期の社会観を見直す動きが出てきている。後・晩期社会が寒冷化を積極的に利用し、植物質食料の多角化を図り、気候の変動に適応したことがわかってきたのである。このような視点から、変動する自然環境に適応した人々が縄文時代から弥生時代へと移り変わる時期をどのように暮らしたのかを探ることにした。

関連行事：・特別講演会

第1回「植物考古学からみた縄文・弥生移行期」12月1日(日)

第2回「縄文・弥生移行期の日本列島からみた神奈川の様相」12月15日(日)

・学芸員による展示解説

12月7日、21日(土)

出品目録：(凡例) No、資料名、出土遺跡名(所在地)、年代、所蔵

\*資料名の前に付した記号のうち、◎は重要文化財、○は府県指定文化財、□は市町村指定文化財を示す。

1-9 縄文土器(深鉢) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・堀之内2式 綾瀬市教育委員会	72 凹石 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市教育委員会
10-12 縄文土器(浅鉢) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・堀之内2式 綾瀬市教育委員会	73 縄文土器(深鉢) 宮久保遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・下北原式 神奈川県教育委員会
13・14 縄文土器(注口土器) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・堀之内2式 綾瀬市教育委員会	74 縄文土器(深鉢) 宮久保遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・堀之内1式 神奈川県教育委員会
15 縄文土器(鉢) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・堀之内2式 綾瀬市教育委員会	75 縄文土器(深鉢) 宮久保遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・堀之内2式 神奈川県教育委員会
16 磨製石斧埋納土器 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市教育委員会	76 縄文土器(深鉢) 宮久保遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・加曾利B2式 神奈川県教育委員会
17-23 埋納された磨製石斧 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市教育委員会	77 クルミ種実(5点) 宮久保遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
24 縄文土器(鉢) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期堀之内2式-加曾利B1式 綾瀬市教育委員会	78 トチノキ種実(14点) 宮久保遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
25・26 縄文土器(深鉢) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期堀之内2式-加曾利B1式 綾瀬市教育委員会	79 クルミ種実 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
27-29 縄文土器(深鉢) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・加曾利B1式 綾瀬市教育委員会	80 イヌガヤ種実 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
30-36 縄文土器(鉢) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・加曾利B1式 綾瀬市教育委員会	81 クリ種実 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
37 縄文土器(深鉢) 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期・加曾利B2式 綾瀬市教育委員会	82 トチノキ種実 真田・北金目遺跡群(平塚市) 縄文時代後期 平塚市教育委員会
38-46 石鏃 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市教育委員会	83-88 水場遺構から出土した木組部材 西富岡・向畑遺跡(伊勢原市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
47-60 打製石斧 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市教育委員会	89-93 第7号水場遺構から出土した杭 下宅部遺跡(東京都東村山市) 縄文時代後期 東村山市教育委員会
61-64 敲石 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市教育委員会	94 トチノキ種実 下宅部遺跡(東京都東村山市) 縄文時代後期 東村山市教育委員会
65-70 磨石 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市教育委員会	95 炭化物が付着した土器 下宅部遺跡(東京都東村山市) 縄文時代後期 東村山市教育委員会
71 石皿 上土棚南遺跡(綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市教育委員会	96 縄文土器(深鉢) 青山開戸遺跡(相模原市緑区) 縄文時代後期・清水天王山式 神奈川県教育委員会

- 97・98 縄文土器（深鉢） 青山開戸遺跡（相模原市緑区）  
縄文時代晩期・安行 3a 式 神奈川県教育委員会
- 99-115 石鏃 青山開戸遺跡（相模原市緑区） 縄文時代晩期  
神奈川県教育委員会
- 116 敲石 青山開戸遺跡（相模原市緑区） 縄文時代晩期  
神奈川県教育委員会
- 117・118 打製石斧 青山開戸遺跡（相模原市緑区） 縄文時  
代晩期 神奈川県教育委員会
- 119 浮線文土器（浅鉢） 荒海貝塚（千葉県成田市） 縄文時  
代晩期後半 早稲田大学・會津八一記念博物館
- 120 浮線文土器（浅鉢） 山武姥山貝塚（千葉県横芝町）  
縄文時代晩期後半 慶應義塾大学・民族学考古学研究室
- 121-128浮線文土器 山武姥山貝塚（千葉県横芝町） 縄文時  
代晩期後半 慶應義塾大学・民族学考古学研究室
- 129-135浮線文土器（浅鉢） 氷遺跡（長野県小諸市） 縄文  
時代晩期後半 國學院大學栃木学園参考館
- 136-140浮線文土器（鉢）氷遺跡（長野県小諸市） 縄文時代  
晩期後半 國學院大學栃木学園参考館
- 141-144浮線文土器（深鉢） 氷遺跡（長野県小諸市） 縄文  
時代晩期後半 國學院大學栃木学園参考館
- 145 浮線文土器（壺） 氷遺跡（長野県小諸市） 縄文時代晩  
期後半 國學院大學栃木学園参考館
- 146-149線文初現期に相当する土器 桂台遺跡（横浜市栄区）  
縄文時代晩期後半 明治大学博物館
- 150-153石鏃 桂台遺跡（横浜市栄区） 縄文時代晩期後半  
明治大学博物館
- 154 打製石斧 桂台遺跡（横浜市栄区） 縄文時代晩期後半  
明治大学博物館
- 155 浮線文土器 居村B遺跡（茅ヶ崎市） 縄文時代晩期後半  
茅ヶ崎市教育委員会
- 156 浮線文土器 湘南新道関連遺跡・大会原遺跡（平塚市）  
縄文時代晩期後半 神奈川県教育委員会
- 157・158 線文土器 中里遺跡（秦野市） 縄文時代晩期後半  
神奈川県教育委員会
- 159・160 浮線文土器 怒田上原遺跡（南足柄市） 縄文時代  
晩期後半 個人
- 161-165浮線文土器 内山尻尾遺跡（南足柄市） 縄文時代晩  
期後半 個人
- 166-220浮線文土器 杉田遺跡（横浜市磯子区） 縄文時代晩  
期後半 明治大学博物館
- 221 東海系土器 杉田遺跡（横浜市磯子区） 縄文時代晩期後  
半 明治大学博物館
- 222・223 西日本系土器 杉田遺跡（横浜市磯子区） 縄文時  
代晩期後半 明治大学博物館
- 224-243石鏃 杉田遺跡（横浜市磯子区） 縄文時代晩期後半  
明治大学博物館
- 244・245 打製石斧 杉田遺跡（横浜市磯子区） 縄文時代晩  
期後半 明治大学博物館
- 246-282浮線文土器 西之原遺跡（横浜市緑区） 縄文時代晩  
期後半 個人
- 283-287浮線文土器 西之原遺跡（横浜市緑区） 縄文時代晩  
期後半 横浜市歴史博物館
- 288-294石鏃 西之原遺跡（横浜市緑区） 縄文時代晩期後半  
横浜市歴史博物館
- 295 石匙 西之原遺跡（横浜市緑区） 縄文時代晩期後半  
横浜市歴史博物館
- 296-302浮線文土器 大源太遺跡（藤沢市） 縄文時代晩期後  
半 青山学院大学
- 303 東海系土器 大源太遺跡（藤沢市） 縄文時代晩期後半  
青山学院大学
- 304-306浮線文土器 池子遺跡群（逗子市） 縄文時代晩期後  
半 逗子市教育委員会
- 307-331浮線文土器 桂台北遺跡（横浜市栄区） 縄文時代晩  
期後半 横浜市埋蔵文化財センター
- 332-336浮線文土器 オオデラ遺跡（横浜市都筑区） 縄文時  
代晩期後半 横浜市歴史博物館
- 337・338 浮線文土器 菖蒲内開戸遺跡（秦野市） 縄文時代  
晩期後半 神奈川県教育委員会
- 339 アワの圧痕が残る土器 川尻遺跡（相模原市緑区） 縄文  
時代晩期後半 相模原市立博物館
- 340 アワの圧痕が残る土器 下大槻峯遺跡（秦野市） 縄文時  
代晩期後半 神奈川県教育委員会
- 341 キビの圧痕が残る土器 中里遺跡（秦野市） 縄文時代晩  
期後半 神奈川県教育委員会
- 342-373線文最末段階の土器 前川山王前遺跡（小田原市）  
縄文時代晩期後半 小田原市教育委員会
- 374-399変形工字文が施された土器 桂台北遺跡（横浜市栄区）  
弥生時代前期後半 横浜市埋蔵文化財センター
- 400-405条痕文土器 桂台北遺跡（横浜市栄区） 弥生時代前  
期後半 横浜市埋蔵文化財センター
- 406-414平行沈線が施された土器 桂台北遺跡（横浜市栄区）  
弥生時代前期後半 横浜市埋蔵文化財センター
- 415・416 縄文が施された土器 桂台北遺跡（横浜市栄区）  
弥生時代前期後半 横浜市埋蔵文化財センター
- 417・418 無文土器 桂台北遺跡（横浜市栄区） 弥生時代前  
期後半 横浜市埋蔵文化財センター
- 419-428浮線文直後段階の土器 前川向原遺跡第Ⅰ地点（小田  
原市） 弥生時代前期後半 小田原市教育委員会
- 429・430 打製石斧 前川向原遺跡第Ⅰ地点（小田原市）  
弥生時代前期後半 小田原市教育委員会
- 431 磨石 前川向原遺跡第Ⅰ地点（小田原市） 弥生時代前期  
後半 小田原市教育委員会
- 432-436変形工字文が施された土器 怒田上原遺跡（南足柄市）  
弥生時代前期後半 個人
- 437 条痕文土器 石神遺跡（茅ヶ崎市） 弥生時代前期後半  
茅ヶ崎市教育委員会
- 438-442浮線文系統の土器 石神遺跡（茅ヶ崎市） 弥生時代  
前期後半 茅ヶ崎市教育委員会
- 443-445石鏃 石神遺跡（茅ヶ崎市） 弥生時代前期後半  
茅ヶ崎市教育委員会

- 446 敲石 石神遺跡(茅ヶ崎市) 弥生時代前期後半 茅ヶ崎市教育委員会
- 447 削器 石神遺跡(茅ヶ崎市) 弥生時代前期後半 茅ヶ崎市教育委員会
- 448-451 磨石 石神遺跡(茅ヶ崎市) 弥生時代前期後半 茅ヶ崎市教育委員会
- 452 浮線文系統の土器 菖蒲内開戸遺跡(秦野市) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 453 条痕が施された土器 中里遺跡(秦野市) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 454-457 浮線文直後段階の土器 矢頭遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 458 打製石斧 矢頭遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 459-474 浮線文直後段階の土器 北原No.9 遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 475 敲石 北原No.9 遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 476 凹石 北原No.9 遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 477-483 磨石 北原No.9 遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 484-486 浮線文系統の土器 上村遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 487-501 条痕文土器 上村遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 502・503 打製石斧 上村遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 504-508 磨石 上村遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 509 台石 上村遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 510・511 石鏃 上村遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 512-521 石鏃 北原No.9 遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 522-533 獣骨(シカ) 桜山うつき野遺跡(逗子市) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 534-542 獣骨(イノシシ) 桜山うつき野遺跡(逗子市) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 543-547 石鏃 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 548-551 石鏃未成品 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 552 石錐 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 553・554 打製石斧 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 555 敲石 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 556・557 赤彩された土器 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 558-562 条痕文土器 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 563 浮線文系統の土器 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 564-566 変形工字文が施された土器 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 567 工字文が施された土器 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 568 平行沈線が施された土器 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 569 縄文が施された土器 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 570 炭化イネ 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 571 炭化アワ 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 572 炭化キビ 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 573 炭化トチノキ 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 574-583 穀物の圧痕が残る土器 中屋敷遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 昭和女子大学
- 584 穀物の圧痕が残る土器 矢頭遺跡(大井町) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 585-587 穀物の圧痕が残る土器 北原No.9 遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 588 穀物の圧痕が残る土器 菖蒲内開戸遺跡(秦野市) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 589 穀物の圧痕が残る土器 子易・大坪遺跡(伊勢原市) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 590 穀物の圧痕が残る土器 上村遺跡(清川村) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 591・592 穀物の圧痕が残る土器 平沢同明遺跡(秦野市) 弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 593 3号土器棺墓出土土器 新羽浅間神社遺跡(横浜市港北区) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 594-598 2号土器棺墓出土土器 新羽浅間神社遺跡(横浜市港北区) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 599 1号土器棺墓出土土器 新羽浅間神社遺跡(横浜市港北区) 弥生時代中期前半 神奈川県教育委員会
- 600 1号土器棺墓出土土器 新羽浅間神社遺跡(横浜市港北区) 弥生時代中期前半 神奈川県教育委員会
- 601 第1号土壙出土土器 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代中期前半 厚木市教育委員会
- 602・603 第2号土壙出土土器 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代前期後半 厚木市教育委員会
- 604・605 第3号土壙出土土器 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代中期前半 厚木市教育委員会

- 606 第4号土壙出土土器 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代前期後半 厚木市教育委員会
- 607-609第5号土壙出土土器 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代前期後半 厚木市教育委員会
- 610 第6号土壙出土土器(複製品) 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代中期前半 神奈川県立歴史博物館
- 611 第7号土壙出土土器 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代前期後半 厚木市教育委員会
- 612 第8号土壙出土土器 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代前期後半 厚木市教育委員会
- 613 第9号土壙出土土器 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代前期後半 厚木市教育委員会
- 614 弥生土器(壺) 菖蒲内開戸遺跡(秦野市) 弥生時代前期後半 神奈川県教育委員会
- 615 弥生土器(壺) 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代中期前半 厚木市教育委員会
- 616 弥生土器(壺) 霧ヶ丘遺跡(横浜市緑区) 弥生時代中期前半 横浜市埋蔵文化財センター
- 617・618 弥生土器 新町遺跡(平塚市) 弥生時代中期前半 平塚市教育委員会
- 619・620 弥生土器 桂台北遺跡(横浜市栄区) 弥生時代中期前半 横浜市埋蔵文化財センター
- 621 弥生土器 杉田遺跡(横浜市磯子区) 弥生時代中期前半 明治大学博物館
- 622 弥生土器 鼠坂遺跡(相模原市緑区) 弥生時代中期前半 神奈川県立歴史博物館
- 623-624弥生土器 河村城跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 625 打製石斧 河村城跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 626-630弥生土器 内山尻遺跡(南足柄市) 弥生時代中期前半 個人
- 631-642弥生土器 怒田上原遺跡(南足柄市) 弥生時代中期前半 個人
- 643-672弥生土器 堂山遺跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 673-681磨石 堂山遺跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 682-684敲石 堂山遺跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 685 凹石 堂山遺跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 686・687 磨製石斧 堂山遺跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 688-692打製石斧 堂山遺跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 693・694 剥片石器 堂山遺跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 695-703打製石斧(石鋏) 堂山遺跡(山北町) 弥生時代中期前半 山北町教育委員会
- 704-708打製石斧(石鋏) 及川宮ノ西遺跡(厚木市) 弥生時代中期前半 厚木市教育委員会
- 709・710□弥生土器 遠藤原遺跡(平塚市) 弥生時代中期前半 平塚市立土沢中学校
- 711 弥生土器 遠藤原遺跡(平塚市) 弥生時代中期前半 平塚市教育委員会
- 712 弥生土器 遠藤原遺跡(平塚市) 弥生時代中期前半 平塚市教育委員会
- 713 □弥生土器 中野大沢遺跡(相模原市緑区) 弥生時代中期前半 相模原市立博物館
- 714-717○弥生土器 三ヶ木遺跡(相模原市緑区) 弥生時代中期前半 神奈川県立津久井高等学校
- 718-721弥生土器 怒田上原遺跡(南足柄市) 弥生時代中期前半 南足柄市教育委員会
- 722-724縄文土器(安行3c式) 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会
- 725-727縄文土器(大洞C2式) 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会
- 728-772亀ヶ岡式土器(大洞A式) 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半 秦野市教育委員会
- 773-832浮線文土器 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半 秦野市教育委員会
- 833-845平行沈線が施された土器 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半 秦野市教育委員会
- 846-848西日本系の土器 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半 秦野市教育委員会
- 849-852東海系の土器 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半 秦野市教育委員会
- 853-859浮線文系統の土器 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半から弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 860-897変形工字文が施された土器 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半から弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 898-913縄文が施された土器 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半から弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 914-918条痕が施された土器 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半から弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 919-950さまざまな要素がみられる土器 平沢同明遺跡(秦野市) 縄文時代晩期後半から弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 951-953遠賀川系土器 平沢同明遺跡(秦野市) 弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 954 東海系の土器 平沢同明遺跡(秦野市) 弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 955 ○遠賀川系土器(壺) 平沢同明遺跡(秦野市) 弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 956-986条痕文土器 平沢同明遺跡(秦野市) 弥生時代前期後半 秦野市教育委員会
- 987-1018 条痕文土器 平沢同明遺跡(秦野市) 弥生時代中期前半 秦野市教育委員会

1019~1024 縄文が施された土器 平沢同明遺跡 (秦野市)  
 弥生時代中期前半 秦野市教育委員会

1025~1033 沈線が施された土器 平沢同明遺跡 (秦野市)  
 弥生時代中期前半 秦野市教育委員会

1034~1044○中里式土器 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1045○伊勢湾周辺の土器 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1046○尾張北部の土器 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1047~1050○瀬戸内東部の土器 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1051・1052○関東北部の土器 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1053○北陸の土器 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1054○中部の土器 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1055・1056○柱状片刃石斧 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1057~1063○扁平片刃石斧 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1064~1066○大型蛤刃石斧 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1067~1069○石鋏 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1070・1071○木製鋏 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1072炭化米 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1073筒形土偶 東正院遺跡 (鎌倉市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会

1074□中空土偶 上土棚南遺跡 (綾瀬市) 縄文時代後期 綾瀬市教育委員会

1075中空土偶 王子ノ台遺跡 (平塚市) 縄文時代後期 東海大学校地内遺跡調査団

1076中空土偶 菩提横手遺跡 (秦野市) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会

1077土偶頭部 平沢同明遺跡 (秦野市) 縄文時代晩期 秦野市教育委員会

1078土偶形容器頭部 平沢同明遺跡 (秦野市) 縄文時代晩期後半から弥生時代前期後半 秦野市教育委員会

1079○有髭土偶 中里遺跡 (小田原市) 弥生時代中期 小田原市教育委員会

1080◎土偶形容器 中屋敷遺跡 (大井町) 弥生時代前期後半 個人

1081◎土偶形容器に納められていた骨片 中屋敷遺跡 (大井町) 弥生時代前期後半 個人

ウ フリーゾーンにおけるパネル展示

(ア) 「かながわの近代建築」

概 要：神奈川県内には、現在も明治・大正・昭和戦前期に建てられた数多くの近代建築が残されている。これらの近代建築の多くは、横浜における開港場や居留地に由来する建築、湘南地域に幅広く分布する避暑・避寒のための別荘建築、海軍の軍都として発展した横須賀などに見られる軍事関連の建築、箱根を中心とした観光地に建てられた旅館やホテル建築、京浜工業地帯の一角を占める横浜・川崎の臨海部の工場建築という、五つの要素に大別してとらえることができる。これは神奈川県内の近代建築の特色を表現しているだけでなく、神奈川県内の近代の歩みを考える上で重要な要素でもある。

本展示では、神奈川県内に現存する近代建築のうち、当館の建物である旧横浜正金銀行本店本館や「キングの塔」と通称される神奈川県庁本庁舎をはじめとする24棟の建物を取り上げ、その魅力を紹介した。

会 期：通年

会 場：1階 フリーゾーン 廊下

展示資料点数：25点 (番外のマップを含む)

出 品 目 録：(いずれも写真パネル) (凡例) No.、名称、所在地、竣工年月

番外 かながわの近代建築MAP(神奈川県内の近代建築のうち60棟を地図上に示し、各建物の写真と概要データを紹介したものの。)	3	旧新港埠頭煉瓦二号倉庫(横浜赤レンガ倉庫2号館)	横浜市中区新港	1911年(明治44)5月
1 旧横浜正金銀行本店本館(神奈川県立歴史博物館)	4	旧三井物産横浜支店(三井物産横浜ビル)	横浜市中区日本大通1号ビル	1911年(明治44)8月、2号ビル-1927年(昭和2)
2 神奈川県庁舎(神奈川県庁本庁舎)	5	旧開港記念横浜会館(横浜市開港記念会館)	横浜市中区本町	1917年(大正6)6月
3 横浜市中区南仲通				1904年(明治37)7月
4 横浜市中区日本大通				1928年(昭和3)10月

- |  |   |
|--|---|
| <p>6 旧川崎銀行横浜支店(日本興亜馬車道ビル) 横浜市中区弁<br/>天通 1922年(大正11)</p> <p>7 旧生糸検査所(横浜第2合同庁舎) 横浜市中区北仲通<br/>1926年(大正15)2月</p> <p>8 ホテルニューグランド本館 横浜市中区山下町 1927年<br/>(昭和2)11月</p> <p>9 旧横浜商工奨励館(横浜情報文化センター) 横浜市中区日<br/>本大通 1929年(昭和4)4月</p> <p>10 旧三井銀行横浜支店(三井住友銀行横浜支店) 横浜市中区<br/>本町 1931年(昭和6)3月</p> <p>11 旧横浜英国総領事館(横浜開港資料館旧館) 横浜市中区日<br/>本大通 1931年(昭和6)</p> <p>12 横浜税関本関庁舎 横浜市中区海岸通 1934年(昭和9)<br/>3月</p> <p>13 横浜郵船ビル(日本郵船歴史博物館) 横浜市中区海岸通<br/>1936年(昭和11)10月</p> <p>14 旧内田家住宅(外交官の家) 横浜市中区山手町 1910年<br/>(明治43)</p> <p>15 旧英国総領事公邸(横浜市イギリス館) 横浜市中区山手<br/>町 1937年(昭和12)</p> | <p>16 旧大倉精神文化研究所(横浜市大倉山記念館) 横浜市港<br/>北区大倉山 1932年(昭和7)4月</p> <p>17 福住旅館金泉楼・萬翠楼 足柄下郡箱根町湯本 1877年<br/>(明治10)・1878年(明治11)</p> <p>18 富士屋ホテル本館 足柄下郡箱根町宮ノ下 1891年(明<br/>治24)</p> <p>19 旧日本爆発物製造株式会社支配人執務室(旧海軍火薬廠将<br/>校クラブ、旧横浜ゴム平塚製造所記念館) 平塚市浅間町<br/>1912年(明治45)頃</p> <p>20 旧木下邸 中郡大磯町大磯 明治時代末期</p> <p>21 旧近藤邸 藤沢市鵠沼東(同市内より移築) 1925年(大<br/>正14)</p> <p>22 旧華頂家住宅主屋(旧華頂宮邸) 鎌倉市浄明寺 1929年<br/>(昭和4)</p> <p>23 旧藤沢ゴルフ倶楽部クラブハウス(神奈川県立体育センタ<br/>ー食堂) 藤沢市善行 1932年(昭和7)</p> <p>24 旧前田家別邸(鎌倉文学館本館) 鎌倉市長谷 1936年(昭<br/>和11)8月</p> |
|--|---|

(イ) 「写真で見る馬車道の歴史」

概 要：馬車道。本町4丁目の交差点から吉田橋までのわずか500メートルほどの通りであるが、歌謡曲でも歌われたヨコハマを代表する道路のひとつである。幕末横浜開港とともに生まれ、港と市街地を結ぶ往来として発展し、明治4(1871)年の地図には「馬車道」の名前が記されている。輸出入の品々を運んだ荷馬車や外国人などが乗った馬車が通行していたことから「馬車道」とよばれ、多くの人たちが往来し、さまざまな商店が建ち並ぶ一方、貿易商社や金融機関が軒を並べる通りでもあった。馬車道150年の歩みを写真パネルで紹介した。

会 期：通年

会 場：1階 フリーゾーン 廊下

展示資料点数：11点

出 品 目 録：(いずれも写真パネル) (凡例) No.、名称(作者)、時代、所蔵・写真提供者

- |  |  |
|--|--|
| <p>1 横浜一覽之真景(部分) 橋本玉蘭齋(五雲亭)貞秀 明治<br/>4年(1871) 所蔵 神奈川県立歴史博物館</p> <p>2 横浜吉田橋通繁盛之図 歌川国輝(二代) 山本平吉版<br/>明治3年(1870) 所蔵 神奈川県立歴史博物館</p> <p>3 (絵葉書)横浜正金銀行 明治末 所蔵 神奈川県立歴史<br/>博物館</p> <p>4 (絵葉書)明治時代の馬車道 明治末 所蔵 神奈川県立<br/>歴史博物館</p> <p>5 (絵葉書)横浜震災実況 横浜正金銀行付近の惨状 大正<br/>12年(1923) 所蔵 神奈川県立歴史博物館</p> <p>6 空襲で焼け野原になった馬車道 昭和20年(1945) 写真<br/>提供 アメリカ国立公文書館</p> | <p>7 オート三輪が走る馬車道 昭和35年(1960) 写真提供<br/>神奈川新聞社</p> <p>8 東宝会館(現リッチモンドホテル) 昭和34年(1959)<br/>写真提供 神奈川新聞社</p> <p>9 国際仮装行列の仮面ライダー 昭和48年(1973) 写真提<br/>供 神奈川新聞社</p> <p>10 馬車道まつりパレード 昭和51年(1976) 写真提供<br/>馬車道商店街協同組合</p> <p>11 馬車道で歌うピンクレディー 昭和52年(1977) 写真提<br/>供 馬車道商店街協同組合</p> |
|--|--|

エ フリーゾーン等における「馬車道を描く日曜画家展作品」展示

(ア) 「馬車道を描く日曜画家展 歴代金賞作品展」

概 要：昭和55年度から始められた「馬車道を描く日曜画家展」の歴代金賞受賞作品を、当館会議室に展示した。なお、令和元年度の第40回において、当館角田主任学芸員が審査員の一人として協力した。

会 期：10月31日(木)～11月6日(水)

会 場：1階 会議室

主 催：馬車道商店街協同組合、神奈川県立歴史博物館

展 示 点 数：合計38点(第2回(昭和56年度)～第39回(平成30年度)の金賞作品)

(イ) 「第40回馬車道を描く日曜画家展 入賞作品展」

概 要：馬車道商店街「にぎわい振興事業」の一環として開催している「馬車道を描く日曜画家展」が40回の節目を迎えたことを記念し、当商店街地区の一員でもある当館を展示場所として、第40回の入賞作品(金賞1点、銀賞1点、銅賞3点)を展示した。

会 期：1月7日(火)～2月2日(日)

会 場：1階 エントランスホール

主 催：馬車道商店街協同組合

展 示 点 数：合計5点

(5) 教育普及・学習支援事業

広く県民の学習ニーズに応えるべく学習の機会を提供し、博物館で行う講座・講演会や各種行事などへの参加を通して、神奈川県の歴史・文化や文化財についての知識・関心を深めることを目的として実施した。

ア 講座

県民に展示内容や文化財への興味関心を持ってもらい、より深い理解を得られるよう、県博セミナーをはじめとした次の講座を実施した。

(ア) 【県博セミナー】生涯学習課主管の県立社会教育施設公開講座。連続4回程度、有料(各回1,000円、全回申込者を優先するが、定員に達しない場合は各回毎に単独受講可能。14:00～16:00)

I期

テーマ：「二祖上人と遊行の美術」(定員70名 応募者66名〈単回を含む事前申込者〉)

概 要：特別展「真教と時衆」に関連し、時宗の思想・美術について専門家が語る。

会 場：地下講堂

・第1回 10月19日(土) (受講者46名)

「時宗の信仰と彫像」館長 薄井 和男

・第2回 11月2日(土) (受講者42名)

「時宗絵巻の制作意図をめぐって」成城大学教授 相澤 正彦 氏

・第3回 11月9日(土) (受講者42名)

「二祖他阿真教の思想—その生涯と伝道—」大正大学専任講師 長澤 昌幸 氏

※担当(普及担当)：主任学芸員 小井川 理 (非常勤学芸員 市野 悦子)

II期

テーマ：「井伊直弼と横浜」(定員70名 応募者109名〈単回を含む事前申込者〉)

概 要：特別展「井伊直弼と横浜」に関連し、井伊直弼と近代、そして横浜とのつながりについて、多角的な視点で語る。

会 場：地下講堂

・第1回 2月15日(土) (受講者61名)

「茶人井伊直弼の〈発見〉」主任学芸員 小井川 理

- ・第2回 2月22日(土) (受講者54名)  
「近代における旧彦根藩士たちの社会的動向—相馬永胤を中心に—」  
専修大学 大学史資料室長 瀬戸口 龍一 氏
- ・第3回 3月7日(土) 【中止】  
「妻木頼黄と直弼銅像台座」企画普及課長・学芸員 丹治 雄一  
※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。
- ・第4回 3月14日(土) 【中止】  
「横浜が記憶する直弼」学芸員 武田 周一郎  
※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。  
※普及担当：非常勤学芸員 濱本 明海

(イ) 【県博講座】学芸員らによる連続講座。(無料、ただし初回受講日のみ常設展観覧券が必要、14:00～16:00)

a テーマ：「江戸内湾における新田開発」

(定員70名 応募78名 〈単回を含む事前申込者〉)

概要：18世紀後半に川崎の池上幸豊が手掛けた3ヶ所の新田開発について紹介。

会場：地下講堂

- ・第1回 9月8日(日) (受講者66名)  
「池上新田の開発」学芸部長 望月 一樹
- ・第2回 9月15日(日) (受講者57名)  
「池上幸豊の新田開発地見立て」学芸部長 望月 一樹
- ・第3回 9月22日(日) (受講者61名)  
「帷子川河口域の新田開発」学芸部長 望月 一樹
- ・第4回 9月29日(日) (受講者66名)  
「横浜新田と太田屋新田」学芸部長 望月 一樹

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子

b テーマ：「古代神奈川の郡の役所」

(定員70名 応募205名 〈単回を含む事前申込者〉)

概要：国の史跡にも指定された橘樹郡衙跡と高座郡衙をはじめ、現在県内で見つかっている古代の郡の役所跡4つを中心に、古代の神奈川の最前線の研究を紹介。

会場：地下講堂

- ・第1回 1月12日(日) (受講者62名)  
「古代の郡の成立と行政」藤沢市郷土歴史課 荒井 秀規 氏
- ・第2回 1月19日(日) (受講者62名)  
「郡の役所とその周辺」学芸部長 望月 一樹
- ・第3回 2月2日(日) (受講者57名)  
「武蔵国橘樹郡衙の様相—国史跡・橘樹官衙遺跡群—」川崎市教育委員会 栗田 一生 氏
- ・第4回 2月9日(日) (受講者59名)  
「相模国高座郡衙の様相—国史跡・下寺尾官衙遺跡群—」茅ヶ崎市教育委員会 大村 浩司 氏

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子

イ 特別展等関連行事(特別展等のテーマに沿った内容の講演会等の実施)

(ア) 特別展「横浜開港160年 横浜浮世絵」

a 記念講演会(無料、ただし特別展観覧券が必要)

「私と横浜」

開催日：1回目5月12日(日) 14:00～15:30 (定員70名 応募者123名 受講者74名)

2回目5月12日(日) 16:00～17:30 (定員70名 応募者91名 受講者56名)

概要：(公社)川崎・砂子の里資料館館長で浮世絵コレクター、斎藤文夫氏が横浜や自身の横浜浮世絵コレクションなどについて語る。

講 師：(公社)川崎・砂子の里資料館 館長 斎藤 文夫 氏

※担当(普及担当)：主任学芸員 桑山 童奈(主査 大島 理加)

b 連続講座(無料、ただし初回受講日のみ特別展観覧券が必要)

「横浜浮世絵とはなにか」(全4回)

(定員70名 応募者239名(単回を含む事前申込者))

・第1回 5月11日(土)(受講者66名)

「横浜浮世絵誕生前夜の浮世絵」主任学芸員 桑山 童奈

・第2回 5月25日(土)(受講者61名)

「横浜浮世絵の世界」(公社)川崎・砂子の里資料館 学芸員 小池 満紀子 氏

・第3回 6月8日(土)(受講者53名)

「浮世絵に描かれた欧米ファッション」東京家政大学博物館 学芸員 三友 晶子 氏

・第4回 6月22日(土)(受講者58名)

「横浜浮世絵にみる都市横浜の形成」企画普及課長・学芸員 丹治 雄一

※担当(普及担当)：主任学芸員 桑山 童奈(非常勤学芸員 豊田 倫子)

c 体験型イベント(無料、子ども向け、申込不要)

体験教室「GW!博物館で遊んで学ぼう！」

開催日：5月4日(土・祝)11:00~16:00(受講者143名)

5月5日(日・祝)11:00~16:00(受講者139名)

5月6日(月・休)11:00~16:00(受講者116名)

概 要：摺り体験、塗り絵、双六、ワークシートに自由にチャレンジして、楽しみながら横浜浮世絵を学ぶ。

協 力：藤沢市藤澤浮世絵館 学芸員 益田 亮助 氏、大江 昭子 氏

※普及担当：非常勤学芸員 濱本 明海

d 現地見学会(無料、ただし特別展観覧券が必要)

「横浜浮世絵の場所を巡る」(一般向け)各回定員25名

開催日：5月15日(水)13:00~16:00(応募者64名 受講者26名)

6月5日(水)13:00~16:00(応募者98名 受講者28名)

概 要：横浜浮世絵に描かれた場所が現在どのようになっているか、絵画と実際の様子を見比べて横浜浮世絵により親しむための見学会。

講 師：主任学芸員 桑山 童奈

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子

(イ)特別展「北からの開国—海がまもり、海がつかない日本—」

a 記念講演会

「江戸時代後期日露関係の歴史的意義」(無料、ただし特別展観覧券が必要)

開催日：8月4日(日)14:00~16:00(定員70名 応募者195名 受講者77名)

概 要：18世紀末から19世紀初めの日本とロシアの接触・交渉・紛争が、江戸時代後期の日本の歴史にどのような意義をもったのか考察する。

講 師：東京大学 名誉教授 藤田 覚 氏

※担当(普及担当)：主任学芸員 嶋村 元宏(非常勤学芸員 濱本 明海)

b 連続講座「近世後期における“海”」(無料、ただし初回受講日のみ特別展観覧券が必要)

(全5回、各回定員70名 応募者203名 14:00~16:00)

・第1回 7月20日(土)(受講者65名)

「近世後期における北方へのまなざし」主任学芸員 嶋村 元宏

・第2回 7月27日(土)(受講者61名)

「近世後期の漂流民・漂流記と蘭学者」開成高等学校 教諭 松本 英治 氏

- ・第3回 8月3日(土) (受講者 68名)  
「近世後期における洋式軍事技術の導入と展開—高島流砲術の創始から用兵・造砲・軍制の改革へ—」 横浜薬科大学教授 梶 輝行 氏
- ・第4回 8月24日(土) (受講者 58名)  
「近世後期の江戸湾防備と忍藩・地域」 行田市郷土博物館 学芸員 澤村 怜薫 氏
- ・第5回 8月31日(土) (受講者 56名)  
「近世後期の日露関係史とアイヌモシリ —「蝦夷図」にみる認識と対抗—」 大阪人権博物館学芸員・国際日本文化研究センター客員准教授 吉村 智博 氏

概要：特別展「北からの開国」と同時代の日本と海外の関係を、展示内容から少し離れた視点から語ることでプラスアルファの「知」を提供。”海”が自然の要害から異国と日本を結ぶ路となった近世後期を対象に、専門の研究者が多角的に論じる。

※担当 (普及担当)：主任学芸員 嶋村 元宏 (非常勤学芸員 市野 悦子)

c 体験型イベント (無料、子ども向け、申込不要)

(a) 「展示を見て海を学ぼう」

開催日：会期中 (7月13日(土)～9月1日(日))

概要：特別展に関連した子ども向け展示。江戸時代の後期に開国通商を求めて日本に来航したロシアとの関係を中心に、日本の歴史にとって、海がどのような役割を持っていたのかを自分自身で考えてもらえるような内容。展示の理解を深めるため特製ワークブックを作成した。

ワークブック配布数：470部

※担当 (普及担当)：主任学芸員 嶋村 元宏 (非常勤学芸員 豊田 倫子)

(b) 「海の日イベント」

開催日：7月15日(月・祝) 11:00～11:40、15:00～15:40

概要：特別展及び子ども向け展示「展示を観て海を学ぼう」を活用し、日本の歴史にとって重要な役割を果たした「海」についてワークブックを用いて学び、考える企画。

参加者：17名

※担当 (普及担当)：主任学芸員 嶋村 元宏 (非常勤学芸員 豊田 倫子)

d 現地見学会 (無料)

「大人の遠足 三浦半島のお台場をたどる」

① 5月23日(木) 9:30～12:00 (久里浜～浦賀)

定員 25名 応募者 49名 受講者 29名

② 5月23日(木) 13:30～16:00 (観音崎)

定員 25名 応募者 45名 受講者 30名

概要：特別展「北からの開国」出展資料『近海見分之図』に描かれた、三浦半島に設置された台場(砲台)跡を中心に、当時の江戸湾防備の状況を専門家の案内により見学する。

講師：東海大学 講師 神谷 大介 氏

※担当 (普及担当)：主任学芸員 嶋村 元宏 (非常勤学芸員 濱本 明海)

(e) 特別展「時宗二祖上人七百年御遠忌記念 真教と時衆」

a 記念講演会 (無料、ただし特別展観覧券が必要)

「時宗の美術」

開催：10月26日(土) 14:00～16:00 (定員 70名 応募者 116名 受講者 64名)

概要：時宗の特色ある深紅のあり方を、信仰の対象である彫刻や絵画、祖師の像、「遊行」にかかわる工芸品など多彩な寺宝から紐解く。

講師：東北大学 名誉教授 有賀 祥隆 氏

※担当 (普及担当)：主任学芸員 小井川 理 (主査 大島 理加)

b 体験型イベント（無料、ただし特別展観覧券が必要）

【中止】公演「跡部の踊り念仏」

開催日：10月12日（土）11：00～12：00（定員60名 応募者69名）

概要：一遍が踊り念仏を初めて修した長野県佐久市跡部地区に伝わる踊り念仏（国指定重要無形民俗文化財）の公演。

演者：跡部踊り念仏保存会（長野県佐久市）

※担当（普及担当）：主任学芸員 小井川 理（非常勤学芸員 豊田 倫子）

※台風19号の影響により中止（10月12日、13日臨時休館）

c 現地見学会

「時宗総本山清浄光寺（遊行寺）を歩く」（無料、ただし遊行寺宝物館観覧料が必要）

開催日：10月24日（木）13：30～16：00（定員50名 応募者105名 受講者49名）

概要：国の登録有形文化財である清浄光寺の建造物と境内を見学するとともに、特別展「真教と時衆」の第一会場である遊行寺宝物館で開催中の展示を特別見学する。

会場：時宗総本山清浄光寺（遊行寺）

講師：遊行寺宝物館 館長 遠山 元浩 氏 他

※担当（普及担当）：主任学芸員 小井川 理（非常勤学芸員 市野 悦子）

(r) 特別展「掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜」

a 記念講演会（無料、ただし特別展観覧券が必要 各回定員70名）

(a) 「井伊直弼と能・狂言」2月16日（日）14：00～16：00（応募者70名 受講者50名）

概要：「武家式楽」とされた能は社交に欠かせない嗜みの一つで、井伊直弼も例外ではなく、自ら能・狂言の曲も残している。武家と能楽との歴史を辿りながら、直弼と能・狂言との関わりを明らかにする。

講師：横浜能楽堂 芸術監督・明治大学大学院 兼任講師 中村 雅之 氏

※担当（普及担当）：主任学芸員 小井川 理（非常勤学芸員 市野 悦子）

(b) 【中止】「井伊直弼の近代」3月1日（日）14：00～16：00（応募者162名）

概要：井伊直弼の地元彦根や横浜に残る資料から、直弼に光を当てたひとびとが行った多様な活動や取組みを紹介し、近現代史の中の直弼について考える。

講師：彦根井伊家18代当主 井伊 直岳氏

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

※担当（普及担当）：主任学芸員 小井川 理（非常勤学芸員 濱本 明海）

b 体験型イベント（無料、ただし高校生以上の参加者は特別展観覧券が必要）

(a) 【中止】子ども向け「直弼かるたに挑戦！」

開催日：2月23日（日）13：30～15：30（定員20名 応募者5名）

概要：井伊直弼の生涯と事績をわかりやすく紹介した「直弼かるた（彦根城博物館作成）」に解説付きで挑戦し、特別展を見学。

講師：主任学芸員 小井川 理

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

※普及担当 非常勤学芸員 豊田 倫子

(b) 【中止】特別茶席「直弼の茶道を知る—直弼流茶道・撰草庵流 前田滴水社中による茶席—」

（定員 各回20名）（無料、ただし特別展観覧料及び茶菓代700円が必要）

開催日：3月7日（土）10：00～、11：00～、14：00～、15：00～（応募者97名）

3月8日（日）10：00～、11：00～、14：00～、15：00～（応募者79名）

3月14日（土）10：00～、11：00～、14：00～、15：00～（応募者74名）

3月15日（日）10：00～、11：00～、14：00～、15：00～（応募者79名）

概要：茶の湯に造詣の深かった井伊直弼から相伝を与えられ「宗泉」の茶名を授かった彦根藩士奥野藤兵衛を祖とする撰草庵流の立礼式茶席。横浜で直弼流茶道を伝える前田滴水氏の解説付き。

講師：撰草庵流宗家 前田 滴水 氏

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

※担当（普及担当）：主任学芸員 小井川 理（非常勤学芸員 豊田 倫子）

c 現地見学会（無料）

(a) 【中止】「直弼敬慕の地を巡る―一世田谷豪徳寺・狛江伊豆美神社―」

開催日：3月3日（火）10:00～15:00（定員25名 応募者66名）

概要：井伊家の江戸における菩提寺であり直弼の墓のある豪徳寺と、明治34年に建てられた直弼敬慕碑のある伊豆美神社を中心に、学芸員の案内により見学する。

講師：主任学芸員 小井川 理

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子

(b) 【中止】「妻木頼黄の設計を見る―横浜正金銀行本店本館・掃部山井伊直弼像台座―」

開催日：3月13日（金）13:30～16:00（定員25名 応募者46名）

概要：ともに近代建築の巨匠妻木頼黄によって設計された掃部山井伊直弼銅像台座と横浜正金銀行本店本館（現神奈川県立歴史博物館）。特別展とともに、建築として残る妻木の設計を見学し、近代横浜と井伊直弼とを結ぶ建築の縁を学ぶ。

講師：企画普及課長・学芸員 丹治 雄一

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

※普及担当：非常勤学芸員 濱本 明海

d その他（無料）

「ひこにゃんがやってくる！」

開催日：2月24日（月・祝）14:00～14:30

概要：彦根藩の2代目藩主・井伊直孝に縁（ゆかり）のある1匹の白猫をモデルにした彦根市のキャラクター「ひこにゃん」が、特別展の応援に来館。

※担当（普及担当）：主任学芸員 小井川 理（主査 大島 理加）

(e) コレクション展「桜井家文書―戦国武士がみた戦争と平和―」

a 記念講演会「北条氏得宗の文書とその影響」（無料、ただし常設展の観覧券が必要）

開催日：12月22日（日）14:00～16:00（定員70名 応募者125名 受講者58名）

概要：執権北条氏の得宗・時頼の発給文書を取り上げ、また同時期の鶴岡社別当隆弁の文書を考察して、鎌倉権力の性格を考える。

講師：筑波大学 名誉教授 山本 隆志 氏

※担当（普及担当）：学芸員 渡邊 浩貴（非常勤学芸員 市野 悦子）

b 講座「戦国武士の『就活』最前線！―『桜井家文書』を読む―」

（無料、ただし常設展の観覧券が必要）

開催日：11月23日（土・祝）10:30～12:00（定員70名 応募者95名 受講者65名）

概要：当館所蔵の「桜井家文書」を読み解き、戦国の争乱期のある武士の体験により、戦国武士のリアルな世界に迫る。

講師：学芸員 渡邊 浩貴

※普及担当：主査 大島 理加

c 連続講座「地域史のための中世古文書入門―フィールドワーク事始め―」

（無料、ただし初回受講日のみ常設展の観覧券が必要）

(全4回 各回定員30名 応募者136名 10:30~12:00)

- 開催日：第1回11月30日(土) 「いろいろな中世文書」(受講者25名)  
第2回12月7日(土) 「体験 和綴じをやってみよう！」(受講者18名)  
第3回12月14日(土) 「体験 拓本をとってみよう！」(受講者22名)  
第4回12月21日(土) 「地図上フィールドワーク 武士本拠をさがせ！」

(受講者20名)

概要：和綴じ、拓本、図上フィールドワークなどの体験を通じて、古文書や地域資料に親しむ講座。

講師：学芸員 渡邊 浩貴、非常勤資料整理員 吉澤 智恵子(第2回のみ)

※普及担当：非常勤学芸員 瀨本 明海

- d 体験コーナー「君も戦国武将！わくわく古文書できるかな？」(無料、子ども向け、申込不要)

開催日：11月19日(火)~12月22日(日)9:30~17:00

概要：コレクション展に体験コーナーを設置。古文書の折り方、封の仕方、印(模造スタンプ)を押す体験を通して古文書の様式や特徴について学ぶ。

※担当(普及担当)：学芸員 渡邊 浩貴(非常勤学芸員 豊田 倫子)

- (カ) 令和元年度かながわの遺跡展「縄文と弥生一時代と文化の転機を生きた人々」

- a 特別講演(無料、ただし常設展の観覧券が必要)

- ・1回目「植物考古学から見た縄文・弥生移行期」

開催日：12月1日(日)14:00~16:00(定員70名 応募者227名 受講者76名)

概要：縄文・弥生移行期の最新の研究成果を届ける全3回の講座の1回目。

講師：明治大学 黒耀石研究センター 客員研究員 佐々木 由香 氏

- ・2回目「縄文・弥生移行期の日本列島からみた神奈川の様相」

開催日：12月15日(日)14:00~16:00(定員70名 応募者289名 受講者73名)

概要：縄文・弥生移行期の最新の研究成果を届ける全3回の講座の2回目。

講師：東京大学大学院人文社会系研究科 教授 設楽 博己 氏

- (キ) 特別陳列「古文書が語る富士山宝永噴火—神奈川県域の被災と復興—」

- a 記念講演会「富士山宝永噴火の再現に挑む—いま富士山が噴火したら!?!—」

(無料、ただし初回受講日のみ常設展の観覧券が必要)

開催日：1月19日(日)10:00~12:00(定員70名 応募者149名 受講者63名)

概要：1707年に発生した富士山宝永噴火について、歴史記録から噴火の様子を解明し、シミュレーションにより再現する最近の研究について紹介する。

講師：神奈川県温泉地学研究所 主任研究員 萬年 一剛

※担当(普及担当)：専門員 古宮 雅明(非常勤学芸員 瀨本 明海)

- b 連続講座「古文書読解講座—富士山宝永噴火の史料を読む—」(全3回)

(無料、ただし初回受講日のみ常設展の観覧券が必要 応募者141名(単回を含む事前申込者)定員50名)

開催日：1月11日(土)14:00~16:00(受講者43名)

1月18日(土)14:00~16:00(受講者36名)

1月25日(土)14:00~16:00(受講者39名)

概要：特別陳列にて展示された史料(古文書)から数点を取り上げ、富士山の噴火の経緯と神奈川県域の被災と復興の様子を読み解く。

講師：専門員 古宮 雅明

※普及担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

ウ 学芸員による展示解説

特別展・特別陳列等の担当学芸員による展示解説。自由参加を原則とする。

展覧会名	開催日	時間	会場	解説者	受講者(名)
特別展 「横浜開港160 年 横浜浮世 絵」	4月28日(日)	13:30~14:15	展示室	主任学芸員 桑山 童奈	42
	4月29日(月・祝)				33
	5月2日(木・休)				52
	5月4日(土・祝)				47
	5月5日(日・祝)				54
	5月6日(月・振休)				45
	5月19日(日)				58
	5月26日(日)	37			
	6月1日(土)	11:00~11:45			31
	6月2日(日)	13:30~14:15			45
	6月9日(日)				43
	6月11日(火)				40
	6月16日(日)				52
	6月23日(日)		地下講堂		87
小計					666
特別展 「北からの開国 —海がまもり、 海がつかない日 本—」	7月13日(土)	13:30~14:30	展示室	主任学芸員 嶋村 元宏	37
	7月14日(日)				28
	7月15日(月・祝)				31
	7月16日(火)				24
	7月17日(水)				29
	7月18日(木)				28
	7月19日(金)				24
	7月25日(木)				21
	7月31日(木)	24			
	8月12日(月・振休)	51			
	8月18日(日)	28			
	8月24日(土)	10:00~11:00			25
	8月30日(金)	13:30~14:30			36
小計					386
特別展 「時宗二祖上人 七百年御遠忌記 念 真教と時 衆」	10月6日(日)	13:30~14:30	展示室	主任学芸員 小井川 理 学芸員 神野 祐太 橋本 遼太	38
	10月13日(日)				台風19号による臨 時休館の為中止
	10月20日(日)				82
	10月27日(日)				35
	11月10日(日)	10:00~11:00			26
小計					181
コレクション展 「桜井家文書— 戦国武士がみた 戦争と平和—」	11月24日(日)	13:30~14:15	展示室	学芸員 渡邊 浩貴	38
	12月1日(日)	13:00~13:45			24
	12月8日(日)	13:30~14:15			20
	12月15日(日)				50
	12月15日(日)	16:00~16:45			24
	12月21日(土)	15:00~15:45			32
小計					188

特別陳列 「古文書が語る 富士山宝永噴火 —神奈川県域の 被災と復興—」	1月13日(月・祝)	13:30~14:00	展示室	専門員 古宮 雅明	88
	2月1日(土)				90
小計					178
特別展 「掃部山銅像建 立110年 井伊 直弼と横浜」	2月9日(日)	13:30~14:30	展示室	主任学芸員 小井川 理 学芸員 武田 周一郎	36
	2月16日(日)	10:00~11:00			21
	2月23日(日)	13:30~14:30			26
	3月1日(日)	10:00~11:00			新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館に伴い中止
	3月8日(日)	13:30~14:30			
	3月15日(日)				
小計					83
かながわの遺跡 展「縄文と弥生 —時代と文化の 転機を生きた 人々—」	12月7日(土)	13:30~14:30	展示室	小此木 健 (文化遺産課)	76
	12月21日(土)				73
小計					149
合計					1,831

#### エ ミュージアムトーク「今月の逸品」

常設展展示資料より毎月逸品をピックアップし、学芸員が解説を行う。

(申込不要、無料、ただし常設展観覧券が必要、毎月第三水曜日 14:00~15:00)

開催月	逸品テーマ	開催日	解説者	受講者(名)
4月	「さまざまな講」	4月17日(水)	三浦 麻緒	18
5月	「土屋宗直軍忠状」	5月15日(水)	渡邊 浩貴	23
6月	「複製の仏像をじっくりみる」	6月19日(水)	神野 祐太	20
7月	「川崎市鳥瞰図にみる川崎のにぎわい」	7月17日(水)	武田 周一郎	18
8月	「日本列島最大級！縄文時代の『あたま』—土器の装飾？土偶？—」	8月21日(水)	千葉 毅	16
9月	「葛飾北斎が描いたかながわ」	9月18日(水)	桑山 童奈	13
10月	「陣中見舞いにお抹茶を」	10月16日(水)	梯 弘人	6
11月	「旧横浜正金銀行本店本館に使用された神奈川県産建築用石材「白丁場石」	11月20日(水)	丹治 雄一	13
12月	「虎溪三笑図」	12月18日(水)	橋本 遼太	20
1月	「大山の木地師」	1月22日(水)	新井 裕美	8
2月	「ペリー来航絵巻」	2月19日(水)	嶋村 元宏	16
3月	「関八州大絵図」	3月18日(水)	根本 佐智子	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館に伴い中止
合計				171

#### オ その他の行事

(ア) 建物見学会(無料、ただし常設展観覧券が必要 各回定員25名)

国の重要文化財である当館旧館部分について、学芸員が案内、解説する企画。

a 「旧横浜正金銀行本店本館見学会Ⅰ」

開催日：4月14日(日) ①10:30~12:00(応募者46名 受講者24名)

②14:00~15:30(応募者30名 受講者24名)

講 師：主任学芸員 丹治 雄一

※普及担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

b 「旧横浜正金銀行本店本館見学会Ⅱ」

開催日：9月23日(月・祝) ①10:30~12:00(応募者28名 受講者25名)

②14:00~15:30(応募者27名 受講者18名)

講 師：企画普及課長・学芸員 丹治 雄一

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子

c 「旧横浜正金銀行本店本館見学会Ⅲ 旧横浜正金銀行本店本館と横浜の銀行建築をめぐる」

開催日：11月16日(土) 13:30~16:00(応募者52名 受講者21名)

概 要：横浜には当館をはじめとして、多くの銀行建築が現存している。それらのほとんどは現在では銀行と別用途に転用されているが、現在でも横浜関内地区の歴史的町並みを形作る重要な建物である。国際貿易港横浜の歩みとともにあったこれらの建物をめぐる。

行 程：旧横浜正金銀行本店本館(神奈川県立歴史博物館)→旧川崎銀行横浜支店(損保ジャパン日本興亜馬車道ビル)→旧安田銀行横浜支店(東京芸術大学大学院)→旧第一銀行横浜支店(旧横浜銀行本店別館 ヨコハマ創造都市センター)→旧川崎第百銀行横浜支店(旧三菱銀行横浜支店)→旧横浜銀行集会所(横浜銀行協会)→旧三井銀行横浜支店(三井住友銀行横浜支店)→旧露亜銀行横浜支店(ラ・バンク・ド・ロア)

講 師：企画普及課長・学芸員 丹治 雄一

※普及担当：非常勤学芸員 濱本 明海

d 「旧横浜正金銀行本店本館見学会Ⅳ」

開催日：12月11日(水) ①10:30~12:00(応募者17名 受講者14名)

②14:00~15:30(応募者20名 受講者18名)

講 師：企画普及課長・学芸員 丹治 雄一

※普及担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

(イ) 講座・現地見学会「岩石・石材から見た横浜の近代建築と近代化遺産」

開催日：9月16日(月・祝) 10:00~15:00(定員25名 応募者66名 受講者25名)

概 要：当館建物(旧横浜正金銀行本店)や周辺の近代建築・近代化遺産でどのような石材が使用されているのかを、横浜の地形や地質にさかのぼって考え体感する、県立生命の星・地球博物館と当館学芸員による共同企画。

講 師：県立生命の星・地球博物館 情報資料課長・学芸員 山下浩之、同主任学芸員 田口公則、当館 企画普及課長・学芸員 丹治雄一

※普及担当：非常勤学芸員 濱本明海

(ウ) 博物館入門講座(無料、ただし初回受講日のみ常設展の観覧券が必要、連続2回、各回定員70名)

受講者の博物館利用がより豊かなものになることを目指し、当館の様々な活動や学芸員の仕事について、講義・見学・体験を交えて紹介する。

・第1回 9月21日(土) 13:00~16:00(応募者50名・受講者45名)

講義名：講義と見学「神奈川県立歴史博物館を知ろう」 企画普及課長・学芸員 丹治 雄一

・第2回 9月28日(土) 13:00~16:00(応募者56名・受講者48名)

講義名：・講義「実録!学芸員の日常」学芸員 武田 周一郎、学芸員 渡邊 浩貴

・ワーク「これを押さえればグッと面白くなる!資料の見方」

①「地図編」 学芸員 武田 周一郎

②「古文書編」 学芸員 渡邊 浩貴

※普及担当：非常勤学芸員 濱本 明海

(エ) ミュージアムコンサート

- a 「浦賀ウインドオーケストラによる吹奏楽『七夕』演奏会」(無料、ただし常設展観覧券が必要)  
日 時：7月7日(日) 14:30～15:30 (定員70名 参加者61名)  
演奏者：浦賀ウインドオーケストラ  
概 要：音楽を通して当館に親しむ機会とする。県内で活動する吹奏楽バンドによるコンサートを当日受付で実施。

※担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

- b 「クラシック・ヨコハマ2019 ミュージアムコンサート in 神奈川県立歴史博物館」  
(無料、ただし常設展もしくは特別展観覧券が必要)

日 時：11月10日(日) 14:00～15:00 (定員70名 応募者67名 参加者48名)

演奏者：福島 さゆり 氏、浜松 笑美 氏、後藤 詩絵 氏、栗林 愛理 氏

(ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン修了生)

概 要：「クラシック・ヨコハマ2019」(クラシック・ヨコハマ推進委員会、毎日新聞社、横浜市主催)の一環として、室内楽(木管四重奏)を実施。

※担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

(オ) その他

「横浜本町郵便局による風景印押印イベント」(無料)

開催日：11月3日(土・祝) 10:00～16:30

協 力：横浜本町郵便局

※担当：学芸員 神野 祐太

カ 子ども・青少年向け教育普及事業

(ア) 博物館体験教室

- a 「干支(えと)の張り子を作ろう」(無料、子ども向け)

開催日：12月22日(日) 13:30～15:30 (定員15名 応募者16名 受講者14名)

概 要：令和2年の干支、ねずみの張り子制作を通して、昔の暦に使われる干支や張り子の技法を学ぶ機会とする。

講 師：非常勤学芸員 三浦 麻緒

※普及担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

(イ) 「学んで楽しむ はくぶつかん」(自由参加)

内 容：展示資料から出題したワークシートを配布。参加者には回答と記念品を配布。

開催期間：4月2日(火)～翌年3月31日(日)開催日数235日間(ミュージアム・ミッション開催期間、無料観覧日、および新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館期間〔3/4～31〕)等を除く)

参加者：701名

(常設展バージョン562名、特別展「横浜浮世絵」バージョン70名、コレクション展「桜井家文書」バージョン69名)

※担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

(ウ) ミュージアム・ミッション2019

内 容：2003年からはじまった地域連携イベントが元になっており、みなとみらい・関内・山手地区にある博物館を巡っていく夏期の子どもの向け事業。クイズ等の課題(ミッション)をクリアしながら巡る事で、博物館に親しむ機会を創出することをねらいとしたもの。

開催期間：7月20日(土)～8月31日(土)

開催館園：(7館) 大佛次郎記念館、神奈川近代文学館、JICA 横浜 海外移住資料館、ニュースパーク (日本新聞博物館)、野毛山動物園、放送ライブラリー、当館

対 象：中学生以下の子ども (ただし行事への参加は誰でも可)

参 加 者：全体1,616名(自由参加)

関連行事：どきどき！野毛山動物園裏側見学ツアー

内 容：ミュージアム・ミッション2019の参加者プレゼントとして、野毛山動物園のバックヤード見学を行った。

見学施設：野毛山動物園

参加資格：ミッションを5つ以上クリアした中学生以下の子どもとその保護者

参 加 費：無料

日 時：10月20日(日)11:00～12:00 (応募者親子6名 参加者親子7名)

14:00～15:00 (応募者親子10名 参加者親子7名)

※担当：非常勤学芸員 市野 悦子

キ 学校連携事業の状況

(ア) 小・中・高等学校及び特別支援学校等の利用状況

	県 内											
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		県内合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	2	242	1	258	6	337	0	0	0	0	9	837
5月	0	0	21	697	2	14	0	0	0	0	23	711
6月	1	10	19	630	1	64	0	0	0	0	21	704
7月	1	156	4	36	5	19	0	0	1	13	11	224
8月	0	0	20	232	17	222	0	0	1	10	38	464
9月	1	95	3	89	3	13	2	22	0	0	9	219
10月	3	180	3	19	1	22	1	9	0	0	8	230
11月	24	1,985	8	165	2	17	0	0	0	0	34	2,167
12月	5	267	4	72	1	16	2	26	0	0	12	381
1月	4	304	15	469	1	2	0	0	0	0	20	775
2月	1	10	2	18	3	41	1	16	0	0	7	85
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	42	3,249	100	2,685	42	767	6	73	2	23	192	6,797

	県 外											
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		県外合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	0	0	8	77	15	377	0	0	0	0	23	454
5月	1	42	23	238	15	465	0	0	1	80	40	825
6月	0	0	13	371	3	21	0	0	0	0	16	392
7月	1	16	1	109	1	12	0	0	0	0	3	137
8月	0	0	8	111	5	19	0	0	0	0	13	130
9月	0	0	8	147	0	0	0	0	0	0	8	147
10月	4	155	3	45	1	61	0	0	0	0	8	261
11月	2	95	13	368	9	376	0	0	0	0	24	839
12月	0	0	4	60	2	49	0	0	0	0	6	109
1月	0	0	11	315	2	69	0	0	0	0	13	384
2月	0	0	6	176	1	1	0	0	0	0	7	177
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	308	98	2,017	54	1,450	0	0	1	80	161	3,855

	令和元(平成31)年度総計		平成30年度総計		平成29年度総計		平成28年度総計		平成27年度総計		
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
4月	32	1,291	0	0			44	1,331	34	994	
5月	63	1,536	93	2,233			88	2,710	96	2,875	
6月	37	1,096	31	867					40	1,120	
7月	14	361	11	53					26	416	
8月	51	594	10	54					5	23	
9月	17	366	19	378					16	375	
10月	16	491	19	775					35	1,832	
11月	58	3,006	42	2,568					35	2,019	
12月	18	490	15	603					13	783	
1月	33	1,159	25	1,016					29	1,333	
2月	14	262	30	1,495					34	1,448	
3月	※0	※0	6	222					26	431	
合計	353	10,652	301	10,264				132	4,041	389	13,649

※令和2年3月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、3月4日から31日まで臨時休館。

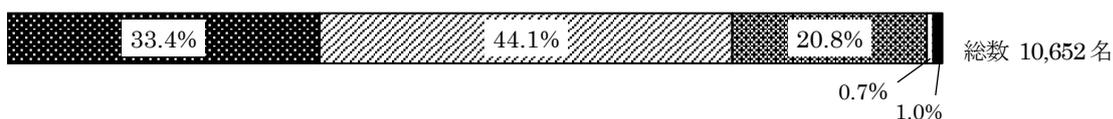
### 来館児童・生徒の県内外の内訳

■ 県内 ■ 県外



### 来館児童・生徒の校種別内訳

■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校 ■ 特別支援学校 ■ その他



#### (イ) 当館の利用目的

(単位：校数)

	利用目的	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
県内	教科学習(社会科等)	17 (43%)	0 (0%)	3 (23%)	2 (33%)
	総合的な学習の時間	6 (15%)	13 (38%)	4 (31%)	0 (0%)
	学校行事(遠足等)	17 (43%)	21 (62%)	6 (46%)	4 (67%)
	その他(部活動等)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	合計	40	34	13	6
県外	教科学習(社会科等)	0 (0%)	1 (4%)	2 (13%)	0 (0%)
	総合的な学習の時間	0 (0%)	1 (4%)	2 (13%)	0 (0%)
	学校行事(遠足等)	7 (100%)	22 (92%)	9 (60%)	0 (0%)
	その他(部活動等)	0 (0%)	0 (0%)	2 (13%)	0 (0%)
	合計	7	24	15	0

※事前連絡校による統計

※義務教育学校、中等教育学校は課程により分類

#### (ウ) 学校の博物館利用の状況

(単位：校数)

校種	事前準備			博物館活用			利用形態			付帯施設利用		
	事前連絡校	下見来館	電話打合せ	ボランティア解説	ワークシート活用	特別依頼	全員一斉	グループ	その他	駐車場	講堂・会議室	その他
小学校	47	36	11	16	30	3	41	6	0	5	25	2
中学校	58	17	41	7	1	6	4	52	2	0	13	9
高等学校	28	5	23	3	0	8	8	16	4	0	6	8
特別支援学校	6	5	1	1	1	1	6	0	0	0	0	0
合計	139	63	76	27	32	18	59	74	6	5	44	19

※事前連絡校による統計

※「ワークシート活用」＝館提供のワークシートを活用して見学。

※「特別依頼」＝学芸員による館の概要説明や建物の解説など。

※付帯施設利用の「その他」＝ライブラリーの利用、エントランスでのチェックポイント設置など。

## (エ) ボランティア、学芸員等による解説依頼へのテーマ別対応状況 (単位：延べ校数)

依頼テーマ	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他
テーマ1 さがみの古代に生きた人びと	3	1	0	0	0
テーマ2 都市鎌倉と中世びと	4	2	1	0	1
テーマ3 近世の街道と庶民文化	1	0	1	0	0
テーマ4 横浜開港と近代化	12	6	1	1	1
テーマ5 現代の神奈川と伝統文化	1	0	0	0	1
特別展示・その他 (含む専門解説)	0	0	2	0	0

## (オ) インターンシップ等への対応状況

インターンシップ及び職場体験は、高校生・中学生を対象とし、自主的に望ましい勤労観、職業観及び職業に関する知識や技術に触れ、自己の個性を理解して、進路選択ができる能力及び態度を身につけることを目的とする。

当館では、高校生を対象として複数日にわたり、博物館の役割や学芸員の仕事について紹介し、実際に資料を扱う就業体験的なものと、主に中学生を対象として「博物館の役割・仕事」「博物館で働く人」といったテーマで座学と見学、インタビュー等を行う職場体験を実施している。

## a 高校生のインターンシップ

複数日にわたり博物館の業務・学芸員の仕事についての概要説明、施設の見学、就業体験等を実施

・日 時 7月23日(火)～25日(木) 9:00～17:00

・参加者 星槎高等学校 多摩高等学校 相模向陽館高等学校 3校 4名

・内 容 7月23日(火) ガイダンス、館内見学、講義、企画普及業務補助

24日(水) 学芸員業務(収蔵資料整理業務)体験

25日(木) 情報資料課・企画普及課業務、展示解説体験、4日間のまとめ

## b 中学生・高校生の職場訪問、職場見学

博物館の業務・学芸員の仕事についての概要説明を行い、施設見学、インタビュー等を実施。

- 4月19日(金) 東京都立葛飾総合高等学校 2年生 5名
- 7月26日(金) 捜真女学院中学校 3年生 1名
- 8月4日(日) 捜真女学院中学校 3年生 1名
- 11月8日(金) 横浜市立樽町中学校 2年生 7名
- 11月15日(金) 逗子市立逗子中学校 2年生 4名
- 11月29日(金) 横浜市立泉が丘中学校 2年生 2名
- 1月23日(木) 横浜市立汐見台中学校 2年生 6名

## (カ) 「小・中学生の歴史学習に関連した展示資料」「歴史学習に対応した主な展示資料」の提供

小・中学生向けの「小・中学生の歴史学習に関連した展示資料」と、小学校及び中学校教員向けの「歴史学習に対応した主な展示資料」を引き続きホームページに掲載するとともに、下見に来館した教員へ配付するなど、展示の内容を紹介する資料として活用した。

## (キ) ワークシートの作成と活用

小学生の見学用に「けんぱく見学シート」を作成し、ホームページに掲載したところ、活用する学校が多く、課題を持って見学するうえで効果的であった。年度途中で、より楽しみながら見学できるよう小学校3・4年生向けの「けんぱくクイズ」及び小学校5・6年生から中学生向けの「けんぱくミッション」を追加してホームページへ掲載した。

(ク) 教員対象の研修の実施

a 「教員のための博物館講座」の開催

I 「教科書だけでは学べない神奈川の歴史」

日 時 7月30日(火) 10:00~16:00

受講者 26名

内 容 博物館資料の教材化

講 師 主任学芸員 嶋村 元宏

II 「県立歴史博物館を体感する ～博物館の役割と利活用～」

日 時 8月7日(水) 10:00~16:00

受講者 31名

内 容 講義I『博物館の役割と活動』

講義II『歴史博物館の建物と展示』

講義III『特別展の開催と見どころ』

講 師 企画普及課長・学芸員 丹治 雄一、主任学芸員 嶋村元宏

b 社会体験研修の実施

日 時 8月1日(木)・2日(金) 9:00~17:45 一部参加者は7日(水)

参加者 9名

内 容 8月1日(木) ガイダンス、館内見学、企画普及課業務、情報資料課業務

2日(金) 学芸員業務(博物館資料の調査と整理) 体験

7日(水) 教員のための博物館講座

(ケ) 出張講座

休館中の学校連携の一環として開始した、当館学芸員が講師となり県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に出張して講義をする「出張講座」を再開後も継続して実施した。

日付	学校名	講座名	概要	講師名	対象学年 授業時限数 受講者数
5月7日 (火)	湘南白百合 学園中学校	博物館・学 芸員の仕事	博物館という施設とそこで資料 に関わる様々な仕事をしている 学芸員について、体験に基づき 解説した。	主任学芸員 丹治 雄一	中2 1時限 182名
6月7日 (金)	横浜女学院 中学校	日本の工業 化の歩み	近現代史の日本の工業化の歴史 について、具体的な産業を事例 として話した。	企画普及課長 ・学芸員 丹治 雄一	中3 4時限 98名
6月21日 (金)	相模原市立 上鶴間小学 校	「かながわ」 と「工芸」② 真葛焼	横浜で生まれ世界を魅了したや きもの・真葛焼について、その歴 史や特徴、作品としての魅力に ついて解説した。	主任学芸員 小井川 理	小4 2時限 107名
9月19日 (木)	横須賀市立 田戸小学 校	考古学の魅 力	考古学とは何か。どのような楽 しさがあるのかを、身近な遺跡 や遺物などを通して紹介した。	学芸員 千葉 毅	小6 1時限 96名
9月20日 (金)	川崎市立 宿河原小学 校	江戸時代の 浮世絵の話	江戸時代の美術、浮世絵につい て、その歴史、木版画の技術、題 材、浮世絵師の魅力などを解説 した。	主任学芸員 桑山 童奈	小6 2時限 130名

10月15日(火)	小田原市立早川小学校	日本の開国と異文化交流	ペリー来航、横浜開港など、日本の開国過程や、幕末明治期における異文化交流の諸相について、アクティブラーニング形式で講義を行った。	主任学芸員 嶋村 元宏	小6 1時限 29名
10月16日(水)・17日(木)	横浜女学院中学校	江戸時代の東海道	江戸時代(元禄3年・1690年)に作られた東海道の絵地図(「東海道分間絵図」)をパソコン上に再現し、江戸時代の東海道や旅の様子を学んだ。	専門員 古宮 雅明	中2 2時限 120名
10月31日(木)	川崎市立中野島小学校	江戸時代の暮らし	学校のある地域の江戸時代の様子や、人々はどのような暮らしをしていたのか学び、現在との比較でその移り変わりを考えた。	学芸部長 望月 一樹	小6 2時限 148名
12月9日(月)・12日(木)	フェリス女学院高等学校	中世の美術(絵画)	室町時代の山水や花鳥の絵に、室町文化のすがたを探り、室町文化への理解を深めた。	学芸員 橋本 遼太	高2 2時限 33名
12月17日(火)	フェリス女学院高等学校	近現代の日本美術と社会	横浜開港、関東大震災、東京オリンピックや大阪万博などをトピックに、美術から社会の成り立ちを考える授業を行った。	主任学芸員 角田 拓朗	高1 3時限 180名
1月16日(木)	横浜女学院中学校	日本の開国と異文化交流	ペリー来航、横浜開港など、日本の開国過程や、幕末明治期における異文化交流の諸相について、アクティブラーニング形式で講義を行った。	主任学芸員 嶋村 元宏	中2 4時限 125名
合 計					24時限 1,248名

(2) 大学団体利用

授業内容等の専門性を高めるため、当館の常設展または特別展等を見学。学芸員による解説を行う。

【受入実績】

	来館日	大学名	人数(名)
1	6月9日(日)	清泉女子大学	23
2	6月16日(日)	二松学舎大学	9
3	6月21日(金)	國學院大學大学院	7
4	7月31日(火)	日本女子大学	10
5	10月8日(火)	慶應義塾大学	10
6	10月20日(日)	日本女子大学	3
7	10月20日(日)	学習院大学	22
合 計			84

## (6) ミュージアムライブラリー

県民の学習活動を支援する場として、1階フリーゾーンにミュージアムライブラリーを設置している。図書、情報システム端末（デジタルミュージアム用）などがあり、展示を中心とした神奈川の歴史や文化について学ぶことが出来る。

職員が1名以上常駐し、質問等を受け付けるなど、生涯学習の場として広く利用されるように運営している。（図書、情報システムの内容についてはそれぞれの項目に記載）

令和元年度の利用者総数は、12,614名で、フリーゾーンを含めた入館者に対する比率は11.8%である。

### ア 閲覧用座席数

16席、来館者用情報システム端末：2台

### イ 利用者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
小学生	82	113	65	106	336	88	78	176	171	53	39	1	1,308
中学生	6	224	84	24	40	24	6	70	14	55	13	0	560
高校生	27	11	5	21	16	9	14	13	6	7	2	0	131
大学生	12	13	24	3	11	27	21	9	2	8	6	0	136
一般成人	469	727	595	446	755	513	627	1,053	684	361	318	13	6,561
65歳以上	286	502	437	268	260	258	370	460	384	329	324	22	3,900
生徒引率	0	0	0	0	0	17	0	0	1	0	0	0	18
合計	882	1,590	1,210	868	1,418	936	1,116	1,781	1,262	813	702	36	12,614
開館日数(日)	24	28	25	25	28	23	25	25	22	22	25	2	274
1日平均	36.8	56.8	48.4	34.7	50.6	40.7	44.6	71.2	57.4	37.0	28.1	18.0	46.0

### ウ 利用形態

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
図書閲覧	287	637	433	292	395	257	294	315	270	323	270	14	3,787	
情報システム端末	13	91	18	26	15	10	12	15	10	17	6	0	233	
各種照会※	143	216	186	147	246	133	179	188	136	129	121	3	1,827	
コピー	(件数)	5	21	22	20	31	18	32	25	24	26	17	0	241
サービス	(枚数)	10	228	165	119	418	157	321	735	391	260	325	0	3,129

※写真資料の特別利用手続、ポスター掲出・チラシ配架依頼、周辺施設の所在地に関する照会などへの対応

## (7) 普及印刷物

### ア 図録

- ・特別展図録「横浜開港160年 横浜浮世絵」平成31年4月26日発行
- ・特別展図録「北からの開国ー海がまもり、海がつかない日本ー」令和元年7月8日発行
- ・特別展図録「時宗二祖上人七百年御遠忌記念 真教と時衆」令和元年9月7日発行
- ・特別展図録「掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜」令和2年2月7日発行

### イ 広報印刷物

- ・特別展「横浜開港160年 横浜浮世絵」ポスター・チラシ
- ・特別展「北からの開国ー海がまもり、海がつかない日本ー」ポスター・チラシ
- ・特別展「時宗二祖上人七百年御遠忌記念 真教と時衆」ポスター・チラシ
- ・特別展「掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜」ポスター・チラシ
- ・コレクション展「桜井家文書ー戦国武士がみた戦争と平和ー」及び

特別陳列「古文書が語る富士山宝永噴火—神奈川県域の被災と復興—」ポスター・チラシ  
 ・「催し物のご案内（2020年4月～2021年3月）」

ウ 神奈川県立歴史博物館だより

『神奈川県立歴史博物館だより』VOL. 25 No. 1 通巻211号 令和元年5月30日 (2,000部)

『神奈川県立歴史博物館だより』VOL. 25 No. 2 通巻212号 令和元年8月20日 (2,000部)

『神奈川県立歴史博物館だより』VOL. 25 No. 3 通巻213号 令和元年12月10日 (2,000部)

エ ワークブック

特別展『北からの開国—海が守り、海がつかない日本—』(500部)

(8) ボランティアの活動

平成9年度から登録を開始した博物館ボランティアは、平成30年度実施の応募者選考の結果、令和元年4月から新たに11名が活動を開始し、既登録者77名と併せて88名となった。内訳は、展示解説ボランティアが76名、行事補助ボランティアが12名である。

なお平成14年度から活動期間を5年間としているが、平成24～27年度登録者（第16～19期生）については休館期間分を延長し、7年間の活動期間となる。平成30年度末で任期満了となった16期生は17名だが、うち8名には、人員不足を補うため今年度1年間の活動延長をいただいている。さらに、この延長中の16期生8名および令和元年度末で任期満了の17期生16名に対して、令和2年度末までの活動の(再)延長を依頼し、16期生5名、17期生9名から了承を得た。

ア 活動状況及び実績

展示解説ボランティアは、常設展展示解説のほか、特別展開催中には1日2回の定時解説(11時、15時)を行っている。行事補助ボランティアは、子ども向け行事等の指導補助をはじめ、受付や案内など、学習支援事業の補助を行っている。ボランティア会は、幹事会(各曜日班から2名の幹事を選出)を組織し、月1回、館側の担当者と様々な調整や、情報の交換を行なっている。また、年3回『ボランティアニュース』を編集・発行しているほか、自主的に館外研修を企画・実施している。

平成30年度から、解説ボランティア各班から2名の代表を選出し「ボランティア解説マニュアル」のアップデート作業を行っていたが、令和元年度中に完成し、新たな「解説マニュアル」を作成した。このマニュアルの作成に当たっては、各分野の学芸員が助言を行った。

(ア) 活動日数及び人数(3月4日(水)から新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による休館)

月	活動日数(日)	延べ活動人数(名)
4	24	286
5	28	345
6	25	287
7	25	293
8	28	317
9	23	261
10	25	282
11	25	291
12	19	226
1	22	239
2	25	296
3	2	17
合計	271	3,140

(イ) 年代別・男女別人数等

年代	男	女	計
20	0	1	1
30	1	0	1
40	0	0	0
50	1	6	7
60	18	20	38
70	33	8	41
合計	53	35	88
平均年齢	68.9	64.4	67.1

(ウ) 曜日別ボランティア数(展示解説ボランティアのみ)

火曜班：13名、水曜班：12名、木曜班：14名、金曜班：14名、土曜班：10名、日曜班：13名  
計76名

(エ) 行事補助ボランティア 12名

イ 博物館入門講座(各回 定員70名)

受講者の博物館利用がより豊かなものになることを目指し、当館の様々な活動や学芸員の仕事について、講義・見学・体験を交えて紹介する。これまでこの講座は、当館でのボランティア活動を希望する方に対しては基礎学習の場として位置づけており、講座の受講をボランティア応募の条件としていた。本年は、より募集の間口を広げるため、本講座の受講を応募の条件とはしなかったものの、当館の活動や常設展示について等、講座内容はボランティア活動をする上での基礎知識として役立つものであり、ボランティア希望者には受講をすすめた。また、講座終了後には令和2年度から活動する博物館ボランティアの募集説明会を行った。

- ・第1回 9月21日(土) 13:00～16:00(応募者50名・受講者45名)  
講義と見学「神奈川県立歴史博物館を知ろう」 企画普及課長・学芸員 丹治 雄一
- ・第2回 9月28日(土) 13:00～16:00(応募者56名・受講者48名)  
講義「実録!学芸員の日常」 学芸員 武田 周一郎、学芸員 渡邊 浩貴  
ワーク「これを押さえればグッと面白くなる!資料の見方」
  - ①「地図編」 学芸員 武田 周一郎
  - ②「古文書編」 学芸員 渡邊 浩貴

※普及担当：非常勤学芸員 濱本 明海

ウ 専門研修

翌年度の新規採用ボランティアを対象として、展示解説に必要な当館の常設展示に関する知識や、資料の保存、教育普及活動について、その内容を知ってもらうために実施する。

日時：令和2年2月2日・9日・16日・23日、3月1日・8日・15日、各日曜日10:00～15:00

(2月2日のみ16:00まで)

※3月1日・8日・15日実施分は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により次年度に延期して実施予定。

エ その他の研修

(ア) 特別展勉強会

各特別展開催にあたり、展示解説に備えるため、解説に必要な図録や資料を配布するとともに、展示資料について担当学芸員が解説する実地勉強会を行った。

(イ) フォローアップ研修

常設展示等解説のフォローアップとして、以下のテーマで研修講座を実施した。

実施日	テ ー マ
9月14日(土)	後北条氏の興亡と治世について
10月12日(土)	当館建物のボランティア解説について
1月11日(土)	グラフィックパネル「奈良・平安時代、交通路・役所・主要寺院」について
2月15日(土)	関東足利氏について

### (9) 博物館実習生の受入れ

「神奈川県立歴史博物館博物館実習生受け入れ要領」に基づき、見学実習と実務実習を受入れた。

#### ア 見学実習

当館の概要(歴史・施設・組織・展示や事業概要など)について説明した後、展示室、バックヤード等の見学を行う。

#### 【受入れ実績】

	来館日	大 学 名	人 数 (名)
1	5月25日(土)	関東学院大学	12
2	5月31日(日)	日大通信教育部	11
3	6月2日(日)	大正大学	9
4	6月16日(日)	神奈川大学	8
5	8月8日(木)	東海大学	12
6	9月16日(日)	日本女子大学	9
7	10月27日(日)	日本女子大学	52
8	10月27日(日)	東海大学	32
9	11月16日(土)	青山学院大学	32
10	11月17日(日)	二松学舎大学	14
11	11月29日(金)	京都造形芸術大学	41
合 計			232

#### イ 実務実習

博物館運営に関わる業務及び教育普及事業についてと、学芸部の資料の取り扱いや整理の方法などについて学ぶ6日間とした。

○応 募 数：26 大学33名

○受 入 数：15 大学15名

○実 受 入 数：14 大学14名

○実受入大学名：学習院大学、関東学院大学、実践女子大学、昭和女子大学、清泉女子大学、大正大学、帝京大学、東京女子大学、日本大学、日本女子大学、目白大学、立正大学、立命館大学、龍谷大学  
(1大学につき1名)

#### 【実習内容】

	日 付	内 容
第1日目	9月11日(水)	ガイダンス・当館の概要、館内見学、当館のボランティアについて、学校連携について、教育普及の実践について(説明)
第2日目	9月12日(木)	ボランティアの解説体験、情報システムと写真資料、写場見学・撮影体験、環境と資料保存の実践

第3日目	9月13日(金)	考古資料の取り扱い方(展示と梱包)、民俗資料の取り扱い方と調査について
第4日目	9月18日(水)	美術資料(平面的及び立体的な資料)の取り扱い方と調査について
第5日目	9月19日(木)	歴史資料(江戸時代の古文書と近代史資料)の取り扱い方と調査について
第6日目	9月20日(金)	博物館の広報とデザイン、教育普及の実践と発表

## 6 資料

### (1) 条例・規則

#### ア 神奈川県立の博物館条例

〔 昭和 41 年 10 月 7 日  
条例第 43 号 〕

最終改正 平成 28 年 10 月 21 日条例第 77 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、神奈川県立の博物館の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)に基づき、次のとおり神奈川県立の博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

名 称	位 置	目 的
神奈川県立歴史博物館	横浜市中区南仲通 5 丁目 60 番地	神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。
神奈川県立生命の星・地球博物館	小田原市入生田 499 番地	地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。

(職員)

第 3 条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料の納付)

第 4 条 博物館に展示している博物館資料を観覧する者(以下「観覧者」という。)は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。ただし、公開の施設に展示している博物館資料の観覧については、この限りでない。

2 前項本文の規定にかかわらず、特別な企画の展覧会を開催する場合の観覧料は、神奈川県教育委員会(以下「教育委員会」という。)がその都度定めることができる。

3 教育委員会は、第 1 項本文及び前項に規定する観覧料を納めた者に観覧券を交付するものとする。

4 観覧者(別表備考 2 に規定する者を除く。)は、入館する際に、前項に規定する観覧券又はこれに代わるものとして教育委員会が認めたものを提出し、又は提示しなければならない。

(観覧料の減免)

第 5 条 前条第 1 項本文及び第 2 項の規定にかかわらず、教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、観覧料を減免することができる。

(1) 教育委員会が開催する行事に参加する者

(2) 教育課程に基づく教育活動として入館する高校生(学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号。別表備考において「法」という。)第 1 条に規定する高等学校及び中等教育学校の後期課程並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者という。別表において同じ。)並びに児童及び生徒の引率者

(3) その他教育委員会が適当と認めた者

(観覧料の不還付)

第 6 条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が災害その他特別の事情により還付するのを適当と認めたときは、この限りでない。

(資料の特別利用)

第 7 条 博物館資料を学術上の研究のため特に利用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(利用の制限)

第 8 条 教育委員会は、博物館の利用者が次の各号のいずれかに該当する場合には、その利用を制限することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 他の利用者に著しく迷惑をかけるおそれがあると認めるとき。

(3) 施設、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めるとき。

(4) その他教育委員会が必要と認めるとき。

(委任)

第 9 条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

## 附 則

この条例は、公布の日から起算して6月をこえない範囲内で教育委員会規則で定める日から施行する。（昭和41年11月18日教育委員会規則第8号で、同41年11月21日から施行。ただし、第4条から第9条までの規定の施行期日にあつては昭和42年3月22日とし、第10条の規定の施行期日にあつては昭和42年4月1日とする。）

(略)

## 附 則(平成28年10月21日条例第77号)

この条例は、平成28年12月1日から施行する。

別表(第4条関係)(抄)

区 分		個 人		20人以上の団体	
神奈川県立歴史博物館	20歳以上65歳未満の者 (学生及び高校生を除く。)	1人につき	300円	1人につき	250円
	20歳未満の者(高校生を除く。)	同	200円	同	150円
	学生(65歳以上の者を除く。)	同	200円	同	150円
	65歳以上の者 高 校 生	同	100円	同	100円

備考 1 学生とは、法第1条に規定する大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校並びに法第134条第1項に規定する各種学校に在学する者をいう。

2 学齢に達しない者並びに法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

## イ 神奈川県立の博物館組織規則

昭和41年11月18日  
教育委員会規則第10号

最終改正 平成18年3月31日教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(部等の設置)

第2条 神奈川県立の博物館に、次の部及び課を置く。

管理課

企画情報部

企画普及課

情報資料課

学芸部

(管理課の事務)

第3条 管理課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 公印に関する事。
- (2) 文書の收受、発送、保存、閲覧等に関する事。
- (3) 個人情報の開示、訂正、利用停止等に関する事。
- (4) 人事に関する事。
- (5) 財産の管理及び館内の秩序の維持に関する事。
- (6) 予算の経理に関する事。
- (7) 観覧料の徴収に関する事。
- (8) 物品の調達及び処分に関する事。
- (9) 寄贈品の受納並びに寄託品の受納及び返納に関する事。
- (10) その他他部課の主管に属しない事。

第4条 削除

(企画普及課の事務)

第5条 企画普及課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館活動の企画及び調整に関する事。
- (2) 博物館活動の普及及び広報に関する事。
- (3) 博物館活動に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関する事。
- (4) 他の博物館その他教育、学術又は文化に関する施設、団体等との連絡、協力及び情報の交換に関する事。

(情報資料課の事務)

第6条 神奈川県立歴史博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 人文科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの運用に関すること。

2 神奈川県立生命の星・地球博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 自然科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの総合的企画及び調整並びに運用に関すること。

(学芸部の事務)

第7条 学芸部においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館資料の収集、製作、整理、保管、展示、解説及び指導に関すること。
- (2) 博物館資料の専門的及び技術的な調査研究に関すること。

(委任)

第8条 この規則の施行に関し必要な事項は、神奈川県教育委員会教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。

(略)

附 則(平成18年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

## ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則

〔 昭和41年11月18日  
教育委員会規則第9号 〕

最終改正 平成28年11月29日教育委員会規則第23号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の利用等に関し必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 次に掲げる神奈川県教育委員会の権限は、神奈川県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に委任する。

- (1) 神奈川県立の博物館条例(昭和41年神奈川県条例第43号。以下「条例」という。)第4条第2項の規定により観覧料を定めること。
- (2) 条例第4条第3項の規定により観覧券を交付すること。
- (3) 条例第4条第4項の規定により観覧券に代わるものを認めること。
- (4) 条例第5条の規定により観覧料を減免すること。
- (5) 条例第6条ただし書の規定により観覧料の還付を認めること。
- (6) 条例第7条の規定により利用を承認すること。
- (7) 条例第8条の規定により利用を制限すること。

(休館日等)

第3条 神奈川県立歴史博物館及び神奈川県立生命の星・地球博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「国民の祝日等」という。)に当たるときを除く。)
- (2) 国民の祝日等の翌日(土曜日、日曜日又は国民の祝日等に当たるときを除く。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで
- (4) その他教育長が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、臨時に博物館を開館することができる。

(開館時間等)

第4条 開館時間は、次のとおりとする。

名 称	開 館 時 間
神奈川県立歴史博物館	午前9時30分から午後5時まで。ただし、午後4時30分以降は、入館することができない。
神奈川県立生命の星・地球博物館	午前9時から午後4時30分まで。ただし、午後4時以降は、入館することができない。

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(観覧券の様式)

第5条 条例第4条第3項に規定する観覧券は、神奈川県立歴史博物館にあつては第1号様式とし、神奈川県立生命の星・地球博物館にあつては第2号様式とする。

(観覧料の減免申請)

第6条 観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書を教育長に提出し、観覧料減免承認書の交付を受けなければならない。

(観覧料の還付申請)

第7条 観覧料の還付を受けようとする者は、観覧料還付申請書に観覧券を添えて教育長に提出し、観覧料還付承認書の交付を受けなければならない。

(資料の特別利用)

第8条 条例第7条の規定により博物館資料の特別利用の承認を受けようとする者は、特別利用承認申請書を教育長に提出し、特別利用承認書の交付を受けなければならない。

(利用の方法)

第9条 博物館を利用する者は、博物館の管理上必要な事項を守り、職員の指示に従わなければならない。

(資料の館外貸出し)

第10条 次に掲げるものは、教育長の承認を受けて博物館資料の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (3) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (5) その他教育長が適当と認めるもの

2 前項の規定による承認を受けようとするものは、館外貸出承認申請書を教育長に提出し、館外貸出承認書の交付を受けなければならない。

(館外貸出しの期間)

第11条 博物館資料の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育長は、特に必要があると認めるときは、これを延長することができる。

2 前項の館外貸出しの期間は、博物館が当該博物館資料を引き渡した日から起算してその返還を受ける日までの日数により算定するものとする。

3 教育長は、館務の都合により必要があるときは、博物館資料の館外貸出しの期間中であつても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(館外貸出しをした資料の利用方法)

第12条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を、承認を受けた利用の目的又は場所以外の目的又は場所で、利用してはならない。

(資料滅失等の届出)

第13条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を滅失し、又は損傷したときは、直ちに資料滅失(損傷)届出書を教育長に提出しなければならない。

(寄託を受けた資料の利用の制限)

第14条 寄託を受けた博物館資料の館外展示及び館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行なうことができない。

(委任)

第15条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。ただし、第2条から第9条までの規定は、昭和42年3月22日から施行する。

(略)

附 則(平成28年11月29日教育委員会規則第23号)

この規則は、平成28年12月1日から施行する。

## (2) 利用案内

- 1 名称 : 神奈川県立歴史博物館 (Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History)
- 2 所在地 : 横浜市中区南仲通 5-60 〒231-0006
- 3 電話 : 045-201-0926(代表)
- 4 F A X : 045-201-7364
- 5 ホームページ : <http://ch.kanagawa-museum.jp/>
- 6 交通 : みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分、  
横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩5分、JR「桜木町駅」「関内駅」から徒歩8分、
- 7 休館日 : 月曜日(ただし、祝日の場合は開館)、資料整理休館日、年末年始
- 8 観覧料 : ○常設展
  - ・20歳以上(学生を除く) : 300円(250円) ( )内は20名以上の団体
  - ・20歳未満及び学生 : 200円(150円)
  - ・高校生及び65歳以上 : 100円(100円)
  - ・中学生以下及び障害者手帳等をお持ちの方は無料○特別展
  - ・常設展とは別料金となり、金額は展示ごとに別途定める。○コレクション展
  - ・無料
- 9 団体見学 : 事前にご連絡ください。
- 10 地図



神奈川県立歴史博物館年報 令和元年度

令和2(2020)年12月8日

編集・発行 〒231-0006

横浜市中区南仲通5-60

神奈川県立歴史博物館

本書の無断転載を禁ず

ISSN 1346-6127

Kanagawa Kenritsu Rekishi Hakubutsu-kan

Nen-po

*Annual Report of the Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History*

*(2019.4~2020.3)*

**Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History**

**Naka-ku, Yokohama, Kanagawa, JAPAN**